

# 米に関するマンスリーレポート

(平成27年10月6日公表)

農林水産省

## 【お知らせ】

- 米の現物取引市場の状況を掲載しました。【P. 13】
  - 平成27年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況を掲載しました。【P. 45】
  - 加工用米及び新規需要米の取組状況等に平成27年産米の状況を追加しました。【P. 51】
  - 参考として、野菜等の需給情報を掲載しました。【P. 73】
- 農林水産省では、米に関する各種情報を皆さまにお伝えできるよう「米に関するメールマガジン」を発刊しております。
- 当該メールマガジンにご登録いただくことにより、農林水産省が毎月公表している「相対取引価格・数量」「契約・販売状況」「民間在庫の推移」などの情報に加え、米に係る各種資料について、公表後、直ちにメールでお知らせいたします。
- 当該メールマガジンの配信につきましては、農林水産省ホームページからご登録ください。
- 【メールマガジン配信登録】**
- 農林水産省ホーム>報道広報>メールマガジン
- (URL) <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

## 【本資料の目的】

本レポートは、米に関する価格動向や需給動向に係るデータを集約・整理し、毎月定期的に公表することによって、需給動向を適切に反映した米取引に資することを目的としています。

## 【利用上の注意】

1. 本レポートは、原則として公表2営業日前までの公表資料を反映しています。
2. 本レポートは、今後、必要に応じて項目の追加・削除などの内容を変更することがあります。

(本資料に関する問合せ先)

政策統括官付農産企画課

担当者：企画班 加藤

米穀需給班 佐々木、川本、川口

代表：03-3502-8111（内線4975）

ダイヤルイン：03-6738-8973

FAX：03-6738-8976

# 今月号のトピックス

## 【米取引関係者の判断(DI)(平成27年9月)(米穀機構による調査)】

主食用米の需給動向は、前月より「締まっている」「(将来)締まる」、米価水準は、前月より「米価水準が高い」「米価水準が高くなる」との見方が強まった。

1  
ページ

## 【相対取引価格・数量(平成27年8月)】

全銘柄平均価格は11,928円/60kgで、前月からほぼ横ばい。

6  
ページ

## 【米の先物価格の推移】

10月2日の米の先物取引価格(東京コメ)は、先月に比べ1,340円/60kg(10月限)~860円/60kg(2月限)上昇。

10  
ページ

## 【契約・販売状況(平成27年8月末)】

26年産米の集荷数量は344万ト。集荷数量に対する契約比率は95%、販売比率は79%。

13  
ページ

## 【民間在庫の推移(平成27年8月末)】

平成27年8月末の出荷及び販売段階における民間在庫は112万トン。

16  
ページ

## 【平成27年産水稻の作付面積及び

### 9月15日現在における作柄概況】

主食用作付見込面積は、前年産に比べ6万8千ha減少し、1万3千haの超過達成。作況指数は100で平年並み。

43  
ページ

# 目 次

I	米取引関係者の判断（米穀機構による調査、平成27年9月）	1
II	集出荷・卸段階の動向	
1	価格情報	
(1)	相対取引価格・数量（速報）	6
①	相対取引価格・数量（平成26年産米、産地品種銘柄別、平成27年8月分）	
②	相対取引価格の推移（平成26年産米、主な産地品種銘柄）	
③	相対取引価格（年産別）	
(2)	米の先物取引価格の推移	10
(3)	業者間取引の状況	11
①	日本コメ市場（随時取引の結果）	
②	日本コメ市場・クリスタルライス（取引会の結果）	
③	（株）加工用米取引センターの取引結果	
④	（株）日本農産情報の取引結果	
⑤	米の現物市場の状況	
2	契約・販売情報	
(1)	産地別契約・販売状況（速報）	15
(2)	産地別事前契約数量	17
3	在庫情報	
(1)	全国段階の民間在庫の推移 （うるち米、平成21年7月末～平成27年8月末）（速報）	18
(2)	26・27年産の産地別民間在庫の推移 （うるち米、平成27年7月末～平成27年8月末）（速報）	21
(3)	25・26年産の産地別民間在庫の推移 （うるち米、平成26年7月末から27年6月末）（速報）	29
III	小売・消費段階の動向	
(1)	消費者物価指数の推移	37
(2)	小売物価統計の推移	38
(3)	小売価格の推移（POSデータ）	39
(4)	購入数量の推移（家計調査）	41
(5)	米の消費動向（米穀機構による調査）	42
IV	生産段階の動向	
(1)	平成27年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況	45
(2)	水稻作付面積及び収穫量等の年次別推移（全国）	49
(3)	水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、 10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の年次別推移	49

(5) 加工用米及び新規需要米の取組状況等	5 1
① 加工用米の生産量	
② 新規需要米の用途別認定状況	
③ 加工用米・新規需要米等の取組状況（平成27年産、都道府県別）	
(6) 水稲うるち玄米の検査結果	5 3
V 飼料用米の推進、飼料用米の需要量等	
(1) 飼料用米のマッチングの取組状況、 配合飼料メーカーへの飼料用の供給等	5 4
(2) 飼料用米の需要量について	5 5
VI 主食用米等の需給見通し（平成27年7月の米の基本指針）	
(1) 民間流通における6月末在庫の推移	5 8
(2) 主食用米等の需要実績の推移	5 8
(3) 平成27年7月から平成28年6月の主食用米等の需給見通し	5 9
(4) 政府備蓄米の在庫状況	5 9
(5) 平成27年産米の生産数量目標（全国）	5 9
・ 平成27年産米の都道府県別の生産数量目標等	6 0
VII 備蓄米及びMA米の動向	
(1) 国内産政府備蓄米の買入予定数量及び買入入札の結果	6 1
① 平成27年産政府備蓄米の都道府県別優先枠及び買入入札の結果	
② 国内産備蓄米の買入入札の結果（落札結果）（平成23～26年産）	
(2) MA米（一般・SBS）の動向	6 3
① MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）	
② 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果（平成27年度）	
③ SBS輸入米の見積合わせ結果（平成27年度）	
(参考1) 米の安定取引研究会報告書の概要	6 5
(参考2) 最近の米をめぐる状況（資料「米をめぐる状況について」（抜粋）	6 6
(参考3) 平成26年産ナラシ対策の支払実績（平成27年7月31日現在）	6 7
(参考4) 麦・大豆の需要情報	6 8
(1) 27年産麦の産地別銘柄別入札結果	
(2) 26年産大豆の産地別銘柄別入札結果	
(参考5) 野菜等の需給情報	7 3

米穀機構が公表している米取引関係者の判断に関する調査(平成27年9月分)によると、主食用米の需給動向は、前月に比べ現状判断が8ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断が12ポイント増加し、前月より「締まっている」「(将来)締まる」との見方が強まった。

米価水準は、現状判断が8ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断が1ポイント増加し、前月より「米価水準が高い」「米価水準が高くなる」との見方が強まった。

## I 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、平成27年9月分)

〔○ 米取引関係者に対して、需給動向や価格水準などの取引動向に関するアンケートを実施し、その結果をD Iとして算出したものである(詳細はP 5)を参照)〕

### 1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

#### ①主食用米の需給動向

##### (ア) 現状判断D I

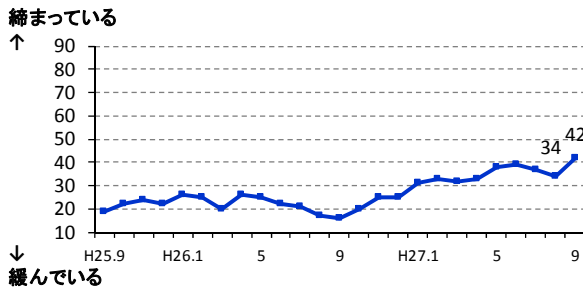
前月からの増減 +8 (今月の数値 42)

##### (イ) 見通し判断D I(向こう3ヶ月)

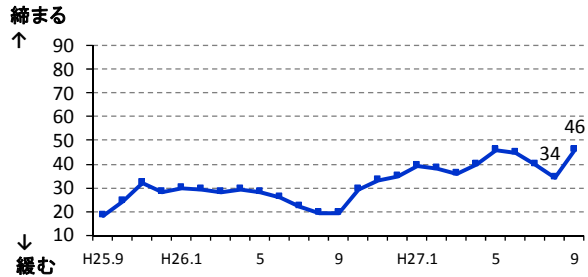
前月からの増減 +12 (今月の数値 46)

〔※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。〕

①-ア 国内の主食用米の“現在の需給動向”について、どう考えていますか。(全体)



①-イ 国内の主食用米の“向こう3ヶ月の需給動向”について、どうなると考えていますか。(全体)



#### ②主食用米の米価水準

##### (ア) 現状判断D I

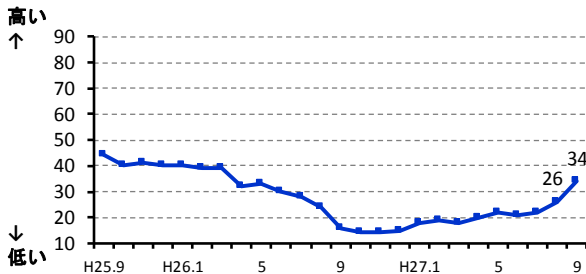
前月からの増減 +8 (今月の数値 34)

##### (イ) 見通し判断D I(向こう3ヶ月)

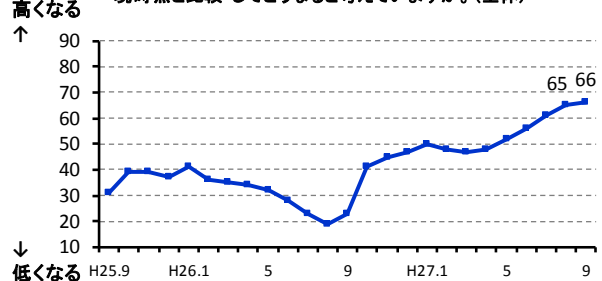
前月からの増減 +1 (今月の数値 66)

〔※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。〕

②-ア 国内の主食用米の“現在の米価水準”について、どう考えていますか。(全体)



②-イ 国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。(全体)



### ③ 取引関係者が①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H26.10	8%	29%	3%	39%	6%	12%	3%
H26.11	9%	31%	8%	34%	14%	3%	2%
H26.12	3%	30%	5%	39%	12%	10%	2%
H27.1	3%	25%	6%	41%	17%	7%	1%
H27.2	2%	31%	5%	38%	16%	8%	1%
H27.3	2%	29%	3%	41%	17%	8%	1%

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H27.4	1%	26%	4%	41%	20%	6%	3%
H27.5	2%	26%	8%	37%	16%	9%	3%
H27.6	4%	25%	8%	37%	17%	7%	3%
H27.7	8%	22%	11%	39%	13%	3%	3%
H27.8	8%	20%	17%	42%	6%	4%	3%
H27.9	16%	14%	14%	42%	6%	4%	4%

## 2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

### ①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### (ア) 今月の販売数量に関する現状判断D I

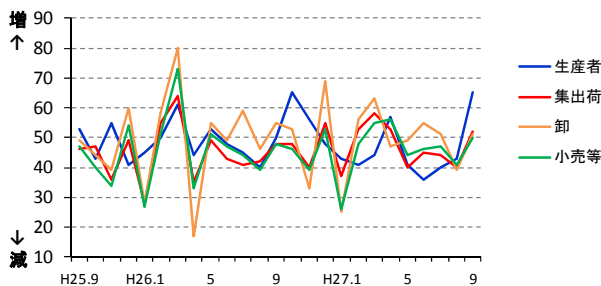
##### a. 先月との比較

生産者	： 前月からの増減	+22	(今月の数値	65)
集出荷	： 前月からの増減	+12	(今月の数値	52)
卸	： 前月からの増減	+12	(今月の数値	51)
小売等	： 前月からの増減	+9	(今月の数値	50)

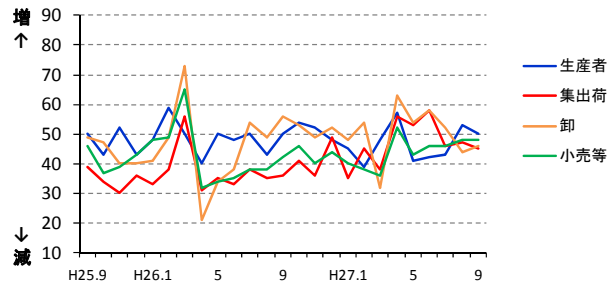
##### b. 前年同月との比較

生産者	： 前月からの増減	-3	(今月の数値	50)
集出荷	： 前月からの増減	-2	(今月の数値	45)
卸	： 前月からの増減	+2	(今月の数値	46)
小売等	： 前月からの増減	±0	(今月の数値	48)

①-ア-a 貴社の「今月」の主食用米の「販売数量」について、「先月と比較」するといかがですか。



①-ア-b 貴社の「今月」の主食用米の「販売数量」について、「前年同月と比較」するといかがですか。



#### (イ) 来月の販売数量に関する見通しD I

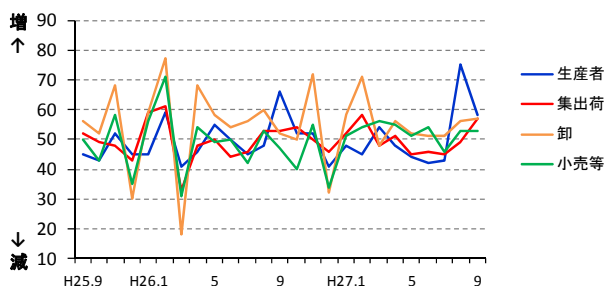
##### a. 今月との比較

生産者	： 前月からの増減	-17	(今月の数値	58)
集出荷	： 前月からの増減	+8	(今月の数値	57)
卸	： 前月からの増減	+1	(今月の数値	57)
小売等	： 前月からの増減	±0	(今月の数値	53)

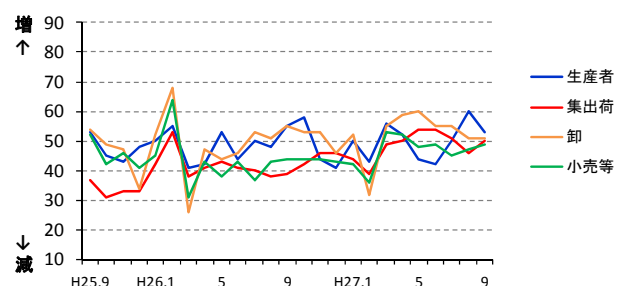
##### b. 前年同月との比較

生産者	： 前月からの増減	-7	(今月の数値	53)
集出荷	： 前月からの増減	+4	(今月の数値	50)
卸	： 前月からの増減	±0	(今月の数値	51)
小売等	： 前月からの増減	+2	(今月の数値	49)

①-イ-a 貴社の「来月」の主食用米の「販売数量」について、「今月と比較」してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の「来月」の主食用米の「販売数量」について、「前年同月と比較」してどうなると考えていますか。



## ②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

### (ア) 今月の価格に関する現状判断 D I

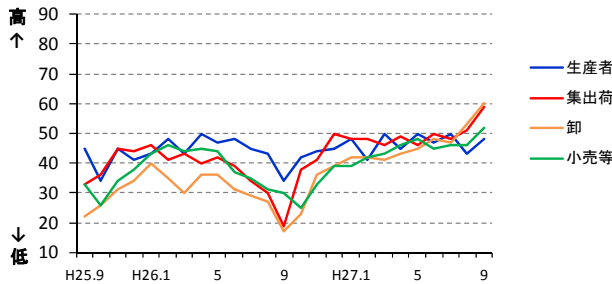
#### a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	+5	(今月の数値	48)
集出荷：前月からの増減	+8	(今月の数値	59)
卸：前月からの増減	+7	(今月の数値	60)
小売等：前月からの増減	+6	(今月の数値	52)

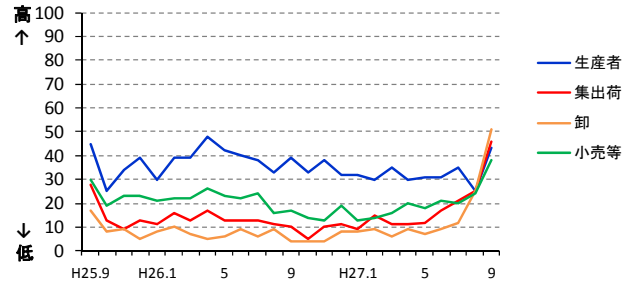
#### b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	+18	(今月の数値	43)
集出荷：前月からの増減	+21	(今月の数値	46)
卸：前月からの増減	+26	(今月の数値	51)
小売等：前月からの増減	+14	(今月の数値	38)

②-ア-a 貴社の“今月”の主食用米の“価格”について、“先月と比較”するといかがですか。



②-ア-b 貴社の“今月”の主食用米の“価格”について、“前年同月と比較”するといかがですか。



### (イ) 来月の価格に関する見通し D I

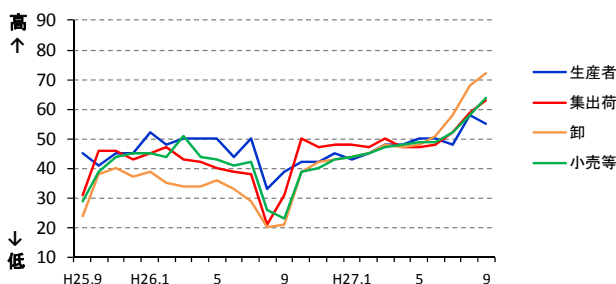
#### a. 今月との比較

生産者：前月からの増減	-3	(今月の数値	55)
集出荷：前月からの増減	+4	(今月の数値	63)
卸：前月からの増減	+4	(今月の数値	72)
小売等：前月からの増減	+6	(今月の数値	64)

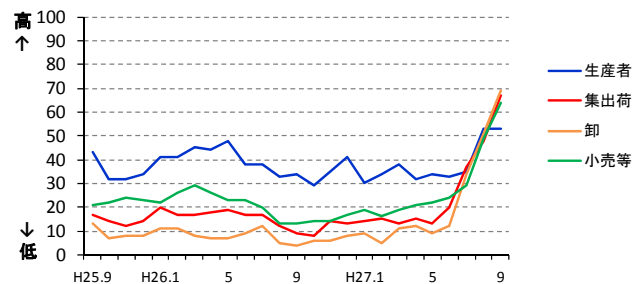
#### b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	±0	(今月の数値	53)
集出荷：前月からの増減	+19	(今月の数値	67)
卸：前月からの増減	+18	(今月の数値	69)
小売等：前月からの増減	+15	(今月の数値	64)

②-イ-a 貴社の“来月”の主食用米の“価格”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の“来月”の主食用米の“価格”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。





### ③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来) 多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来) 少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### (ア) 今月の在庫量に関する現状判断D I

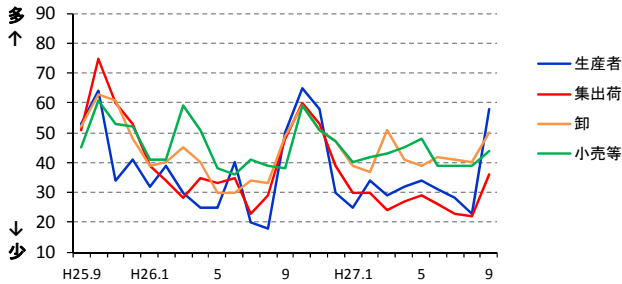
##### a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	+35	(今月の数値	58)
集出荷：前月からの増減	+14	(今月の数値	36)
卸：前月からの増減	+10	(今月の数値	50)
小売等：前月からの増減	+5	(今月の数値	44)

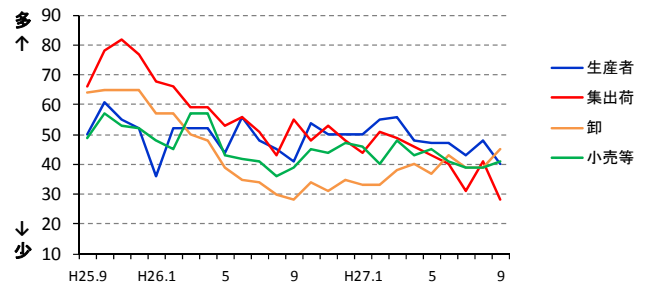
##### b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	-8	(今月の数値	40)
集出荷：前月からの増減	-13	(今月の数値	28)
卸：前月からの増減	+6	(今月の数値	45)
小売等：前月からの増減	+2	(今月の数値	41)

③-ア-a 貴社の“今月”の主食用米の“在庫量”について、“先月と比較”するといかがですか。



③-ア-b 貴社の“今月”の主食用米の“在庫量”は、“前年同月と比較”するといかがですか。



#### (イ) 来月の在庫量に関する見通しD I

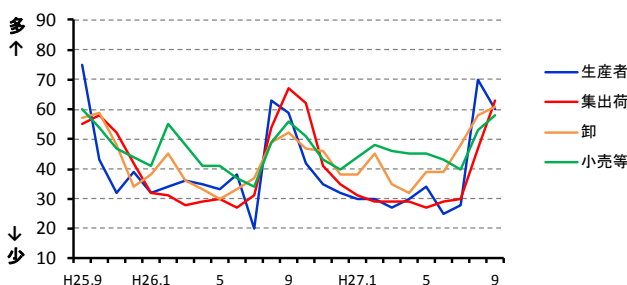
##### a. 今月との比較

生産者：前月からの増減	-10	(今月の数値	60)
集出荷：前月からの増減	+16	(今月の数値	63)
卸：前月からの増減	+3	(今月の数値	61)
小売等：前月からの増減	+5	(今月の数値	58)

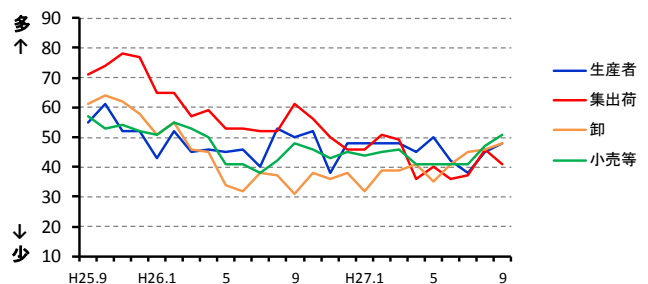
##### b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	+3	(今月の数値	48)
集出荷：前月からの増減	-5	(今月の数値	41)
卸：前月からの増減	+2	(今月の数値	48)
小売等：前月からの増減	+4	(今月の数値	51)

③-イ-a 貴社の“来月”の主食用米の“在庫量”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の“来月”の主食用米の“在庫量”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



《アンケート方法等》

○調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答

○調査方法：電子メールを利用したアンケート調査

○調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の145客体

○有効回答数：114客体

生産者・・・・・・・・・・10  
集出荷業者／団体・・・・・・・・26  
卸売業者（主に主食用米）・・・・27  
小売業者／中食・外食業者・・・・34  
その他・・・・・・・・・・17

※「その他」は以下の業者です。  
・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者  
・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

（DIの算出例）

問：国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

- 平成26年産米の平成27年8月分の全銘柄平均価格は11,928円/60kgとなり、前月からほぼ横ばい。
- なお、前月と比較が出来る54銘柄のうち、青森まっしぐら、茨城コシヒカリなど26銘柄で価格が上昇。

## II 集出荷・卸段階の動向

### 1 価格情報

#### (1) 相対取引価格・数量（速報）

##### ① 相対取引価格・数量（平成26年産米、産地品種銘柄別、平成27年8月分）

相対取引価格・数量（北海道から栃木まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 26年産米 (27年8月) ①	数量 26年産米 (27年8月) ②	参 考							
				価格				数量			
				26年産米 (27年7月) ③	対前月比 ①/③	25年産米 (26年8月) ④	対前年比 ①/④	26年産米 (27年7月) ⑤	対前月比 ②/⑤	25年産米 (26年8月) ⑥	対前年比 ②/⑥
北海道	ななつぼし	12,439	3,605	12,473	100%	14,245	87%	5,373	67%	3,292	110%
北海道	きらら397	11,474	232	11,136	103%	14,265	80%	1,283	18%	696	33%
北海道	ゆめぴりか	16,099	1,041	16,521	97%	17,665	91%	3,186	33%	1,256	83%
青森	まっしぐら	9,870	2,441	9,714	102%	12,241	81%	2,657	92%	2,522	97%
青森	つがるロマン	9,617	3,398	9,614	100%	12,490	77%	5,394	63%	2,628	129%
岩手	ひとめぼれ	10,467	5,450	10,832	97%	12,379	85%	4,058	134%	6,146	89%
岩手	あきたこまち	-	-	10,835	-	13,556	-	107	-	1,897	-
岩手	いわてっこ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城	ひとめぼれ	11,024	5,494	12,021	92%	13,499	82%	7,631	72%	5,313	103%
宮城	ササニシキ	10,606	1,460	11,319	94%	-	-	483	302%	-	-
宮城	まなむすめ	9,778	394	10,920	90%	-	-	418	94%	-	-
秋田	あきたこまち	11,650	9,724	11,545	101%	12,159	96%	15,267	64%	18,326	53%
秋田	ひとめぼれ	10,327	1,149	10,410	99%	13,469	77%	683	168%	283	406%
秋田	めんこいな	9,644	574	9,566	101%	12,507	77%	384	149%	511	112%
山形	はえぬき	10,932	5,203	10,843	101%	13,485	81%	6,591	79%	14,556	36%
山形	つや姫	17,175	648	17,138	100%	16,723	103%	1,104	59%	204	318%
山形	ひとめぼれ	11,073	456	11,128	100%	13,783	80%	1,911	24%	670	68%
福島	コシヒカリ(中通り)	9,456	270	9,599	99%	13,384	71%	321	84%	952	28%
福島	コシヒカリ(会津)	11,094	1,114	10,971	101%	14,845	75%	1,376	81%	115	969%
福島	コシヒカリ(浜通り)	-	-	10,210	-	-	-	156	-	-	-
福島	ひとめぼれ	9,703	640	9,656	100%	13,047	74%	254	252%	215	298%
福島	あきたこまち	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城	コシヒカリ	11,639	6,478	11,298	103%	12,112	96%	2,984	217%	3,063	211%
茨城	あきたこまち	-	-	10,853	-	-	-	214	-	-	-
茨城	ゆめひたち	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木	コシヒカリ	11,504	3,435	11,483	100%	12,230	94%	6,973	49%	4,428	78%
栃木	あさひの夢	8,319	219	-	-	12,133	69%	-	-	224	98%
栃木	なすひかり	10,227	140	9,680	106%	-	-	853	16%	-	-

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。

3 価格に含む消費税は、平成26年4月分から8%で算定している。

4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以东（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。

5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。

6 全銘柄平均価格（次々頁）は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定。

7 ④及び⑥は前年産の価格、数量である。

8 次々頁にある「全銘柄平均価格（出回りから8月まで）」は、平成26年産米の出回りから翌年8月までの平均価格。「25年産米の全銘柄平均価格（年産平均）」は、25年産米の出回りから平成26年10月までの平均価格。

9 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。

相対取引価格・数量(群馬から兵庫まで)

(単位:円/玄米60kg税込、玄米トン)

産地	品種銘柄	価格 26年産米 (27年8月) ①	数量 26年産米 (27年8月) ②	参 考							
				価 格				数 量			
				26年産米 (27年7月) ③	対前月比 ①/③	25年産米 (26年8月) ④	対前年比 ①/④	26年産米 (27年7月) ⑤	対前月比 ②/⑤	25年産米 (26年8月) ⑥	対前年比 ②/⑥
群馬	あさひの夢	8,280	1,396	8,334	99%	10,475	79%	1,029	136%	1,283	109%
群馬	ゴロピカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉	彩のかがやき	10,018	936	-	-	14,244	70%	-	-	410	228%
埼玉	コシヒカリ	10,672	961	-	-	15,130	71%	-	-	326	295%
埼玉	キヌヒカリ	9,443	953	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉	コシヒカリ	12,242	474	12,197	100%	11,129	110%	777	61%	2,700	18%
千葉	ふさこがね	9,810	395	9,752	101%	9,733	101%	560	71%	319	124%
千葉	ふさおとめ	10,251	105	10,260	100%	10,593	97%	662	16%	328	32%
山梨	コシヒカリ	15,137	342	15,539	97%	17,821	85%	347	99%	377	91%
山梨	あさひの夢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野	コシヒカリ	12,931	1,093	13,044	99%	13,365	97%	712	154%	1,424	77%
長野	あきたこまち	10,618	588	11,633	91%	8,806	121%	241	244%	547	107%
静岡	コシヒカリ	13,489	153	13,462	100%	15,110	89%	190	81%	386	40%
静岡	あいちのかおり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡	キヌヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟	コシヒカリ(一般)	15,190	2,736	15,220	100%	16,738	91%	6,310	43%	4,915	56%
新潟	コシヒカリ(魚沼)	19,617	831	20,316	97%	21,748	90%	857	97%	1,438	58%
新潟	コシヒカリ(岩船)	15,827	473	15,868	100%	17,177	92%	147	322%	258	183%
新潟	コシヒカリ(佐渡)	15,709	168	15,956	98%	17,178	91%	155	108%	445	38%
新潟	こしいぶき	11,014	523	11,085	99%	14,257	77%	1,206	43%	1,303	40%
富山	コシヒカリ	12,340	1,466	12,606	98%	13,653	90%	1,343	109%	1,010	145%
富山	てんたかく	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川	コシヒカリ	-	-	12,542	-	14,018	-	426	-	2,150	-
石川	ゆめみつほ	10,106	1,079	10,317	98%	12,985	78%	1,122	96%	965	112%
福井	コシヒカリ	-	-	-	-	14,260	-	-	-	256	-
福井	ハナエチゼン	-	-	11,169	-	13,177	-	764	-	224	-
岐阜	ハツシモ	13,209	136	10,556	125%	-	-	711	19%	-	-
岐阜	コシヒカリ	-	-	12,160	-	15,230	-	436	-	157	-
岐阜	あきたこまち	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知	あいちのかおり	10,517	712	11,187	94%	11,947	88%	643	111%	2,281	31%
愛知	コシヒカリ	-	-	-	-	11,168	-	-	-	866	-
愛知	大地の風	-	-	-	-	13,886	-	-	-	185	-
三重	コシヒカリ(一般)	-	-	12,111	-	-	-	119	-	-	-
三重	コシヒカリ(伊賀)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重	キヌヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀	コシヒカリ	-	-	-	-	13,361	-	-	-	741	-
滋賀	キヌヒカリ	-	-	-	-	12,834	-	-	-	122	-
滋賀	日本晴	-	-	10,974	-	-	-	247	-	-	-
京都	コシヒカリ	-	-	13,092	-	-	-	308	-	-	-
京都	キヌヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	コシヒカリ	-	-	-	-	15,306	-	-	-	406	-
兵庫	キヌヒカリ	-	-	-	-	14,032	-	-	-	284	-
兵庫	ヒノヒカリ	-	-	12,940	-	13,471	-	195	-	186	-

注：本表の注意点は前頁の脚注を参照

相対取引価格・数量(奈良から鹿児島まで)

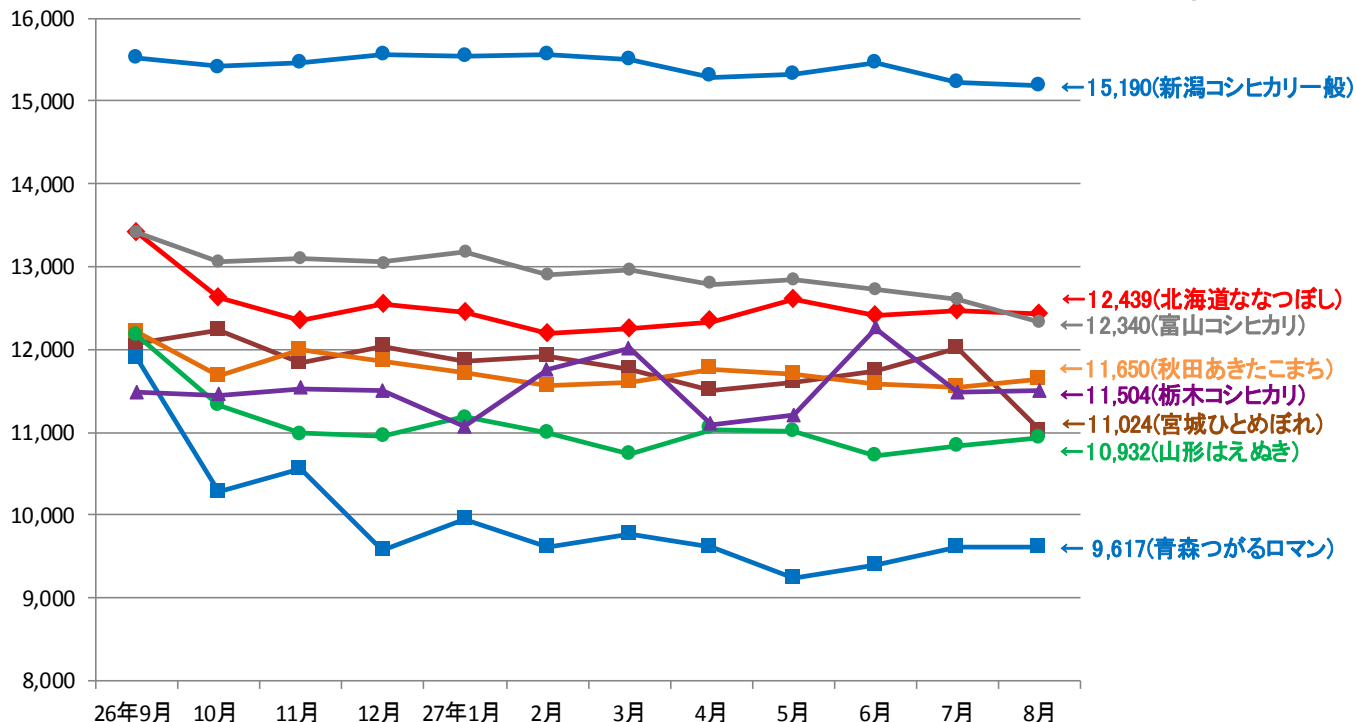
(単位:円/玄米60kg税込、玄米トン)

産地	品種銘柄	価格 26年産米 (27年8月) ①	数量 26年産米 (27年8月) ②	参 考							
				価格				数量			
				26年産米 (27年7月) ③	対前月比 ①/③	25年産米 (26年8月) ④	対前年比 ①/④	26年産米 (27年7月) ⑤	対前月比 ②/⑤	25年産米 (26年8月) ⑥	対前年比 ②/⑥
奈良	ヒノヒカリ	11,050	607	10,841	102%	15,216	73%	649	94%	423	143%
奈良	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取	コシヒカリ	-	-	-	-	11,989	-	-	-	204	-
鳥取	ひとめぼれ	-	-	-	-	10,777	-	-	-	288	-
島根	コシヒカリ	13,653	130	13,663	100%	16,650	82%	221	59%	279	47%
島根	きぬむすめ	-	-	10,183	-	-	-	130	-	-	-
島根	ハナエチゼン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山	アケボノ	-	-	-	-	12,550	-	-	-	607	-
岡山	あきたこまち	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山	ヒノヒカリ	-	-	-	-	12,556	-	-	-	164	-
広島	コシヒカリ	11,621	761	12,156	96%	14,512	80%	791	96%	216	352%
広島	あきろまん	-	-	11,851	-	-	-	473	-	-	-
広島	ヒノヒカリ	-	-	11,536	-	-	-	128	-	-	-
山口	コシヒカリ	-	-	-	-	14,681	-	-	-	314	-
山口	ひとめぼれ	-	-	11,507	-	12,451	-	239	-	106	-
山口	ヒノヒカリ	-	-	-	-	13,512	-	-	-	140	-
徳島	コシヒカリ	10,260	287	-	-	10,870	94%	-	-	240	120%
徳島	キヌヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川	ヒノヒカリ	10,960	1,439	10,835	101%	13,838	79%	1,702	85%	1,310	110%
香川	コシヒカリ	11,764	437	11,667	101%	13,997	84%	865	51%	479	91%
愛媛	コシヒカリ	-	-	-	-	14,673	-	-	-	154	-
愛媛	ヒノヒカリ	-	-	-	-	11,135	-	-	-	123	-
愛媛	あきたこまち	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡	ヒノヒカリ	12,268	244	12,249	100%	14,966	82%	2,025	12%	886	28%
福岡	夢つくし	14,232	230	13,970	102%	16,557	86%	1,390	17%	779	30%
佐賀	夢しずく	11,580	693	11,554	100%	14,776	78%	1,403	49%	218	318%
佐賀	さがびより	12,325	402	12,480	99%	14,777	83%	506	79%	585	69%
佐賀	ヒノヒカリ	11,107	226	11,198	99%	13,846	80%	345	66%	160	141%
長崎	にこまる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本	ヒノヒカリ	12,350	1,313	12,357	100%	14,616	84%	1,602	82%	1,183	111%
熊本	森のくまさん	12,096	117	13,572	89%	15,308	79%	200	59%	189	62%
熊本	コシヒカリ	13,548	139	13,489	100%	15,390	88%	425	33%	194	72%
大分	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分	ひとめぼれ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎	コシヒカリ	-	-	-	-	15,551	-	-	-	117	-
宮崎	ヒノヒカリ	12,390	168	12,152	102%	-	-	254	66%	-	-
鹿児島	ヒノヒカリ	12,914	185	12,850	100%	14,876	87%	333	56%	246	75%
鹿児島	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島	あきほなみ	13,357	115	13,348	100%	15,384	87%	107	107%	123	93%
<b>全銘柄平均価格、合計数量</b>		<b>11,928</b>	<b>77,786</b>	11,949	99.8%	13,684	87.2%	103,828	74.9%	104,162	74.7%
全銘柄平均価格(出回日から8月まで)		12,002	25年産米の全銘柄平均価格(年産平均)			14,341	83.7%				

注：本表の注意点は前々頁の脚注を参照

## ② 相対取引価格の推移（平成26年産米、主な産地品種銘柄）

（単位：円/玄米60kg、税込）

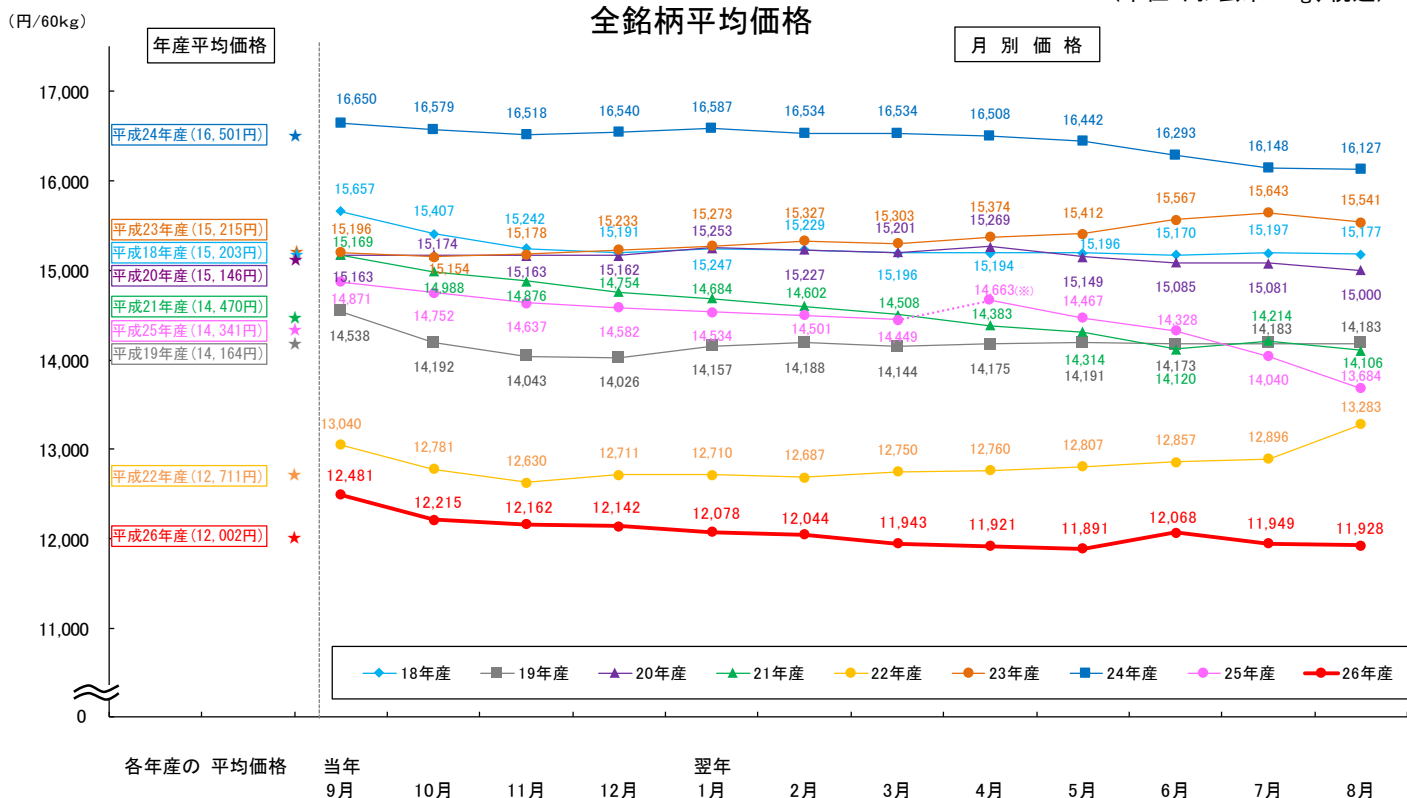


資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：相対取引価格に関する留意点については、6頁①表の脚注を参照。

## ③ 相対取引価格（年産別）

（単位：円/玄米60kg、税込）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：価格には、運賃、包装代、消費税相当額（8%。ただし、25年産の26年3月分以前は5%）が含まれている。

注2：グラフの左側は各年産の平均価格（注3）、右側は月ごとの価格の推移。

注3：平均価格とは、当該年産の出回りから翌年10月（26年産は翌年8月）までの通年平均。

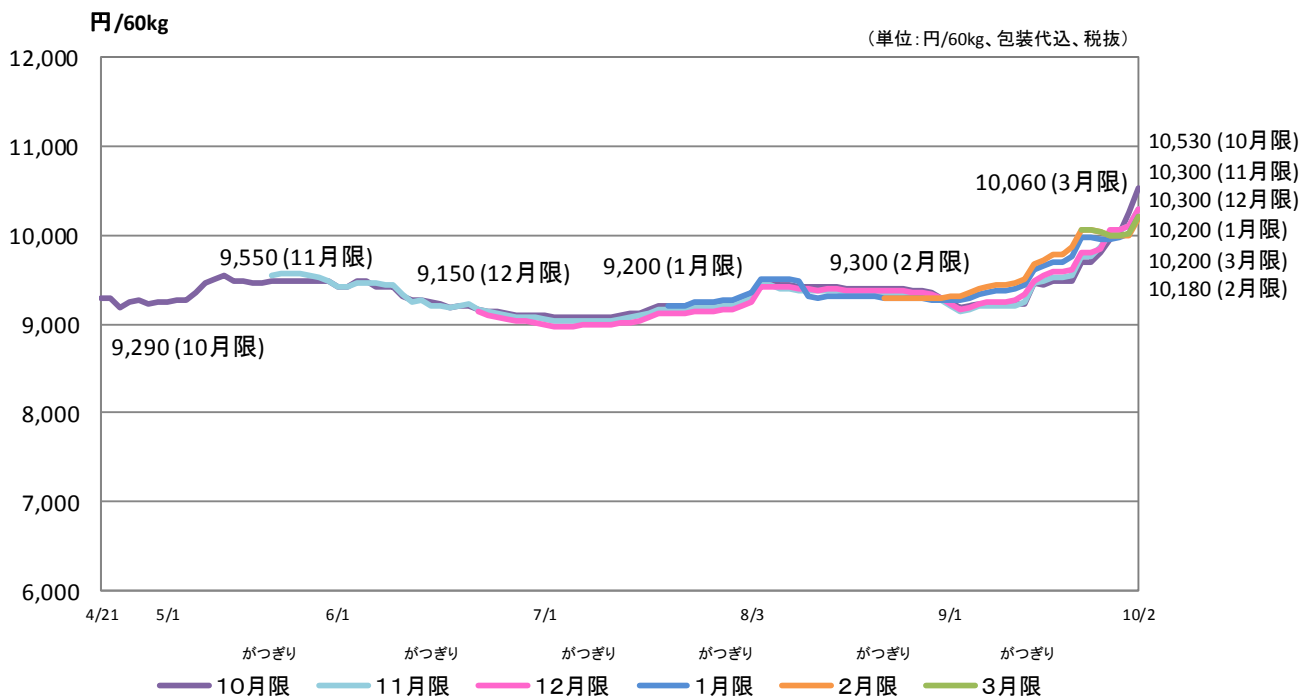
注4：これ以外の留意点については、6頁①表の脚注を参照。

10月2日の米の先物取引価格は、先月(9月2日)に比べ終値で、東京コメが1,340円/60kg(10月限)～860円/60kg(2月限)、大阪コメが1,140円/60kg(10月限)～810円/60kg(2月限)上昇。

## (2) 米の先物取引価格の推移

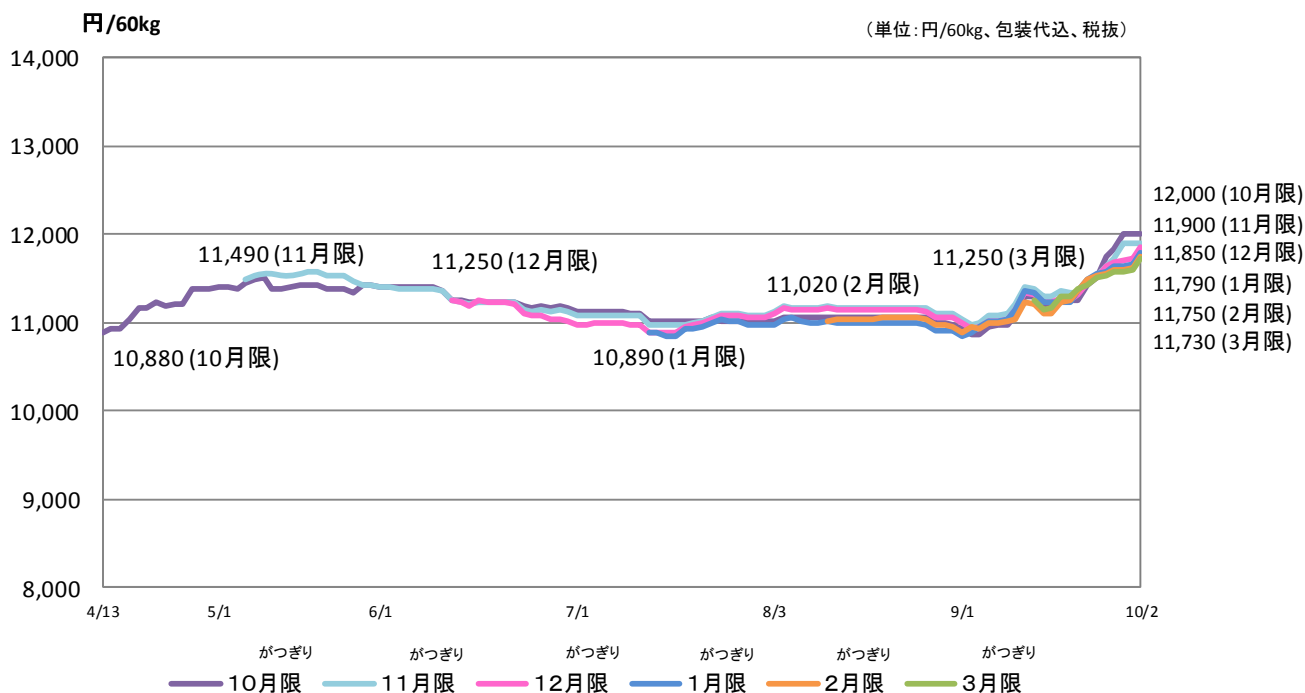
税抜価格

### ①東京コメ



### ②大阪コメ

税抜価格



(3) 業者間取引の状況

税抜価格

① 日本コメ市場 (随時取引の結果)

○ 価格は、主にスポット取引の価格であり、相当期間にわたり安定的に行う取引の価格とは性格を異にするので利用に当たっては注意が必要。

(関東到着基準、1等、包装代込、税抜、円/60kg)

年産・産地銘柄	9月下旬	10月上旬	10月下旬	11月上旬	11月下旬	12月上旬	12月下旬	1月上旬	1月下旬	2月上旬	2月下旬
26年産 青森つがるロマン	-	-	-	-	-	-	9,272	9,208	9,138	9,175	9,095
26年産 秋田あきたこまち	-	10,699	10,564	10,774	10,845	-	10,803	-	10,769	-	10,636
26年産 福島中通コシヒカリ	-	8,931	-	-	-	-	-	9,478	9,845	-	9,944
26年産 栃木コシヒカリ	-	9,838	-	-	-	10,463	-	-	-	10,653	-
26年産 茨城コシヒカリ	9,353	9,732	9,693	9,750	9,875	10,300	10,309	10,265	10,502	-	10,586
26年産 新潟一般コシヒカリ	-	14,693	14,000	-	-	-	-	14,457	14,553	-	14,490

年産・産地銘柄	3月上旬	3月下旬	4月上旬	4月下旬	5月上旬	5月下旬	6月上旬	6月下旬	7月上旬	7月下旬	9月下旬
26年産 青森つがるロマン	9,094	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26年産 宮城ひとめぼれ	-	-	-	10,407	-	-	-	-	-	10,510	-
26年産 秋田あきたこまち	10,560	10,561	10,572	10,539	10,557	10,600	-	-	10,733	10,869	-
26年産 福島中通コシヒカリ	10,022	9,768	-	-	-	-	-	-	-	10,836	-
26年産 栃木コシヒカリ	-	-	-	-	-	11,094	-	-	-	-	-
26年産 茨城コシヒカリ	10,380	10,586	-	11,043	-	-	-	10,587	10,846	-	-
26年産 新潟一般コシヒカリ	14,547	14,572	14,500	14,575	-	-	14,414	-	-	-	-
27年産 秋田あきたこまち	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11,724
27年産 茨城コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11,463

出典： 日本コメ市場株式会社HP

- 注： 1 随時取引とは、取引日を限定せずに、ファックス、電話、IT等によって行う取引である。  
 2 上記価格は、日本コメ市場(株)の取引における成約価格を取引数量により加重平均したものである。  
 3 上期は、1日から15日まで、下期は、16日から月末までを示す。  
 4 「-」に関しては、成約数量が日本コメ市場の内部規程で定める基準を満たさなかったため非公表。

② 日本コメ市場・クリスタルライス(取引会の結果)  
(主たる銘柄の成約状況)

税抜価格

(関東到着基準、1等、包装代込、税抜、円/60kg、トン)

年産・産地銘柄	平成26年度												平成27年度						
	第3回 8月21日		第4回 9月18日		第5回 10月22日		第6回 12月11日		第7回 1月15日		第8回 2月25日		第1回 4月23日		第2回 7月17日		第3回 8月20日		
	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	
26年産 青森まっくら	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8,700	60	8,819	60	-	-	-	-	
26年産 青森つがるロマン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9,460	24	-	-	
26年産 秋田あきたこまち	-	-	11,283	73	10,510	62	10,770	66	10,750	112	10,666	84	10,546	93	10,865	121	-	-	
26年産 宮城ひとめぼれ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10,700	26	
26年産 茨城コシヒカリ	10,019	78	9,309	32	10,020	180	10,345	134	10,602	108	10,576	318	11,095	48	10,932	88	10,300	72	
26年産 群馬あさひの夢	-	-	-	-	-	-	8,337	281	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
26年産 千葉あきたこまち	9,300	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
26年産 千葉ふさおとめ	9,167	40	8,914	102	8,950	36	9,388	53	9,528	53	9,625	24	9,226	25	-	-	-	-	
26年産 新潟一般コシヒカリ	-	-	14,578	30	13,900	24	14,250	24	14,571	84	14,585	48	14,604	71	14,250	17	14,058	21	
27年産 茨城コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10,861	182
27年産 茨城あきたこまち	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10,500	24
27年産 千葉ふさおとめ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10,134	38
成約米穀の平均価格(加重平均)	10,732	658	10,839	515	9,970	955	10,012	1,133	10,394	1,175	10,575	1,061	11,210	931	10,879	679	10,999	755	

出典： 日本コメ市場株式会社HP

- 注： 1 取引会における取引は、原則毎月、東京、大阪及び福岡において開催される取引会において入札により行われるものである。  
 2 価格は、取引における成約価格を取引数量により加重平均したものである。  
 3 「-」は、同社のホームページにおいて非公表を示す。



### ③ (株) 加工用米取引センターの取引結果 (27年産米)

#### 【平成27年産】

税抜価格

(単位:成約数量・トン、成約価格・円/60kg(包装代込み・税抜き))

取引日	産地、銘柄	等級	成約数量	成約価格
平成27年 8月11日	三重あきたこまち(主食用)	1等	12	11,500

資料: (株)加工用米取引センターHP

- 注: 1 すべて玄米60kg当たりの価格。  
 2 商品形態は、玄米30kg紙袋である。ただし、売側・買側の合意があった場合には、フレコンも可とされている。  
 3 成約価格は、着地持込価格。

### ④ (株) 日本農産情報の取引結果 (27年産米)

#### 【平成27年産】

税抜価格

(成約価格・円/60kg、包装代込み、税抜き)

産地、銘柄	平成27年 7月末	8月末	9月末
北海道ななつぼし			12,400
北海道ゆめびりか			13,900
秋田あきたこまち			11,600
山形はえぬき			11,000
山形ヒメノモチ			15,000
福島中通ひとめぼれ			10,600
茨城コシヒカリ		11,000	11,400
茨城あきたこまち		10,400	10,800
栃木あさひの夢			10,300
千葉コシヒカリ		11,300	
千葉ふさこがね		9,800	
千葉ふさおとめ		9,900	10,500
千葉あきたこまち		10,300	
千葉ヒメノモチ			14,700
新潟コシヒカリ(一般)			14,600
新潟こしいぶき			11,300
富山コシヒカリ(近畿着)			13,300
福井ハナエチゼン		11,100	
三重コシヒカリ(近畿着)		11,900	
三重あきたこまち(近畿着)		11,400	
島根ハナエチゼン(近畿着)		11,200	
徳島コシヒカリ(近畿着)		12,500	
高知2等コシヒカリ(近畿着)		12,100	
宮崎コシヒカリ(近畿着)	13,500	13,300	
鹿児島コシヒカリ(近畿着)		12,800	

資料: (株)日本農産情報HP

注: 特にことわりの無い場合は、価格は1口10トン以上の1等東京着値基準で、消費税抜き中卸価格。

⑤ 米の現物市場の状況

	(株)日本農産情報 (昭和54年～)	日本コメ市場(株) (平成9年～)	(株)加工用米取引センター (平成23年～)
取引形態	<p>○ ホームページ上で売り注文、買い注文を随時掲載(1時間毎に更新)。</p> <p>注文が成立した場合の流れは以下の通り。</p> <p>① 買い手はまず日本農産情報あてに代金を振り込み。</p> <p>② 日本農産情報は買い手からの入金確認後、売りに手に発送を依頼。</p> <p>③ 買い手は商品受取後、日本農産情報に納品を伝達。その後日本農産情報は売り手の速やかに代金を振り込み。</p>	<p>① 東京・大阪・福岡の3会場において1～2ヶ月に一度程度開催される取引会における入札取引(日本コメ市場・クリスタルライスの共催)</p> <p>② 電話・FAX・IT等により成立する随時取引</p> <p>の2形態で行われており、会員間取引が原則。</p>	<p>① 加工用米取引センターのホームページ上で数量と価格を付して取引(枚数・価格による匿名取引)</p> <p>② 電話等において仲介・斡旋を行うことにより成立する随時取引</p> <p>の2形態で行われており、会員間取引が原則。</p>
取扱数量	○年間取扱高は約400万俵(24万トン)。	○年間取扱高は約3万トン(平成25年度)。 ○取引会1回当たりの上場数量は4千～1万3千トン程度、落札数量は400～1,200トン程度(平成25年度実績:取引会を計7回開催)。	○年間取扱高は約2千トン(平成26年度)。
参加者数	○全国約3,000社(組合含む)。	○1回当たりの参加は50～80卸(70～100名程度)。 ○会員数約200社。	○参加会社数21社。
参加条件	○利用には取引口座の開設が必要。	①日本コメ市場(株)の会員であること(入会金:50万円) ②米穀機構との債務保証契約を締結すること が必要。保証がない場合は前金制度で取引。	○原則として登録会員のみとし、非会員は登録会員を通じて売買が可能(入会費5万円、年会費2万円)。 ○会員になるには、米穀取扱い業者の資格を有し、年間60トン以上の取扱いを行っていることが必要。
公表	○成約状況(銘柄及び成約価格)については、市場概況としてホームページや業界紙に掲載。	○成約状況(銘柄及び成約価格)については、市場概況としてホームページや業界紙に掲載。	○成約状況(銘柄及び成約価格)については、市場概況としてホームページで公表。

	複数年産米コメ市場 (国産米使用推進団体協議会) (26年10月1日から開始)	中長期米仲介市場 (全国米穀販売事業共済協同組合) (27年7月1日から開始)	※参考:個別申込取引 (全農) (26年産から開始)
趣旨	○ 大型農業者が将来を見通して安心してコメ生産を行うとともに、需要者が安定的に原料米確保を行えるよう、複数年契約での取引を推進するための市場を創設。平成30年産までの間は斡旋業務を実施。	○ 既存のスポット的な取引の場とは異なる、年間を通じた中長期的な米の取引の場を開設。	○ 全農の相対基準価格の参考とするため、相対取引の手法の一つとして、26年8月以降、毎月1回を基本として「個別申込取引」を導入。
仕組み	○ 米政策の見直しの平成30年産を見据え、29年産までは試行期間として以下のとおり斡旋業務を行う。 ① 売り手構成員・買い手構成員は、希望する品名・数量・価格等を提示。 ② 「市場」は、売り手・買い手のそれぞれの条件を勘案し、引き合わせ、仲介。 ③ 両者が合意した場合には、その後の諸手続きは当事者間で実施。 ④ 斡旋業務は、(株)加工用米取引センターが、業務委託を受けて実施。	○ 年産・産地・銘柄・等級・受渡地・引取期限・包装・数量・価格等の取引条件を付した実物取引を仲介。 ○ 対象米穀は、翌月以降1ヶ月単位での引取期限が付された国産米。 ○ 取引参加者は、毎週金曜日までに翌週の取引の買注文及び売注文を出す。 ○ 買受者は米穀取引の都度、100円/60kgを(株)クリスタルライスに支払う。	○ 対象産地銘柄は全農各県本部の手挙げ。 ○ 全農は、取引先から購入希望数量と価格をセットで申し込みを受ける。 ○ 全農は、申し込み内容を各県本部に連絡し、各県本部は、価格の高いものから順に、各県本部の判断する価格まで成約させる。 ○ 取引先に積極的な参加を促進するため、契約価格は個別の成約価格にメリットを減じた価格とする。
取引単位	契約単位:原則100㌧以上 取引単位:1ロット12㌧	申込単位:原則100㌧以上 引取単位:原則12㌧以上	各県本部は、年間販売数量に応じて1回ごとの提示数量を判断。
参加条件・取引対象	○ 入会金及び年会費1万円を納め構成員として認められた以下の者(クローズされたコメ市場)。 ① 生産者:原則30ha以上の耕作面積。 ② 実需者、集荷業者、流通業者:原則として年間取扱数量が1,000㌧以上。3年間債務超過でないこと。	○ 以下のいずれかの要件を満たし、登録料1万円を納め、(株)クリスタルライスの登録を受けた者。 ① 原則として年間で500㌧以上の生産実績又は集荷実績がある者。 ② 原則として年間で1,000㌧以上の仕入実績がある者。 ※ 現在の参加登録者数 64 (9月24日現在)。	○全農と売買基本契約を締結している米穀卸売事業者等。
公表	○成約内容は、非公表。	○成約内容は、非公表。	○成約内容は、非公表。

- 平成26年産米の平成27年8月末現在の集荷数量は344万トン、契約数量は327万トン、販売数量は272万トン。
- 集荷数量に対する比率は、契約数量が95%（前月より+1ポイント）、販売数量が79%（前月より+7ポイント）。

## 2 契約・販売情報

### (1) 産地別契約・販売状況（速報）

平成26年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、平成27年8月末現在）

集荷・契約・販売数量（北海道から静岡まで）

	集荷数量	契約数量	契約比率	販売数量	販売比率
	① (玄米千ト)	② (玄米千ト)	②/①	③ (玄米千ト)	③/①
<b>北海道</b>	<b>397.8</b>	<b>386.1</b>	<b>97%</b>	<b>331.2</b>	<b>83%</b>
ななつぼし	167.1	165.2	99%	144.2	86%
きらら397	94.7	86.6	91%	71.4	75%
ゆめぴりか	69.2	68.8	99%	60.4	87%
<b>青森</b>	<b>169.4</b>	<b>159.3</b>	<b>94%</b>	<b>126.6</b>	<b>75%</b>
まっしぐら	109.4	107.8	98%	82.3	75%
つがるロマン	58.1	49.7	86%	42.6	73%
<b>岩手</b>	<b>149.6</b>	<b>141.6</b>	<b>95%</b>	<b>111.6</b>	<b>75%</b>
ひとめぼれ	117.9	110.1	93%	84.2	71%
あきたこまち	20.6	20.5	100%	18.8	92%
いわてっこ	5.2	5.2	100%	3.6	70%
<b>宮城</b>	<b>216.3</b>	<b>184.6</b>	<b>85%</b>	<b>133.0</b>	<b>61%</b>
ひとめぼれ	177.7	149.2	84%	109.5	62%
ササニシキ	12.7	9.9	78%	7.5	59%
まなむすめ	10.1	10.1	100%	5.3	53%
<b>秋田</b>	<b>303.7</b>	<b>264.9</b>	<b>87%</b>	<b>234.6</b>	<b>77%</b>
あきたこまち	243.3	216.9	89%	204.0	84%
めんこいな	13.9	11.1	80%	5.0	36%
ひとめぼれ	27.4	23.1	84%	16.4	60%
<b>山形</b>	<b>242.8</b>	<b>210.5</b>	<b>87%</b>	<b>171.5</b>	<b>71%</b>
はえぬぎ	154.4	125.2	81%	93.8	61%
つや姫	32.2	31.1	96%	30.0	93%
ひとめぼれ	25.2	24.9	99%	21.0	83%
<b>福島</b>	<b>153.3</b>	<b>152.5</b>	<b>99%</b>	<b>123.9</b>	<b>81%</b>
コシヒカリ中通り	48.1	48.0	100%	40.3	84%
コシヒカリ会津	41.8	41.6	99%	32.8	78%
コシヒカリ浜通り	7.8	7.8	100%	6.2	80%
ひとめぼれ	34.5	34.2	99%	28.6	83%
あきたこまち	5.8	5.8	100%	4.9	84%

	集荷数量	契約数量	契約比率	販売数量	販売比率
	① (玄米千ト)	② (玄米千ト)	②/①	③ (玄米千ト)	③/①
<b>茨城</b>	<b>109.7</b>	<b>109.2</b>	<b>100%</b>	<b>87.6</b>	<b>80%</b>
コシヒカリ	84.3	84.0	100%	66.2	78%
あきたこまち	14.0	14.0	100%	11.7	83%
ゆめひたち	1.7	1.7	99%	1.6	94%
<b>栃木</b>	<b>184.0</b>	<b>176.4</b>	<b>96%</b>	<b>119.2</b>	<b>65%</b>
コシヒカリ	144.1	138.6	96%	98.1	68%
あさひの夢	23.7	22.8	96%	10.9	46%
なすひかり	10.3	9.4	91%	6.7	65%
<b>群馬</b>	<b>26.3</b>	<b>26.3</b>	<b>100%</b>	<b>19.7</b>	<b>75%</b>
あさひの夢	17.3	17.3	100%	12.1	70%
ゴロビカリ	1.2	1.2	100%	0.8	66%
<b>埼玉</b>	<b>28.5</b>	<b>28.1</b>	<b>99%</b>	<b>18.1</b>	<b>63%</b>
彩のかがやき	14.4	14.1	98%	10.3	71%
コシヒカリ	7.3	7.2	100%	4.4	61%
キヌヒカリ	1.8	1.8	98%	0.9	51%
<b>千葉</b>	<b>123.8</b>	<b>122.9</b>	<b>99%</b>	<b>105.1</b>	<b>85%</b>
コシヒカリ	63.4	62.5	99%	55.2	87%
ふさこがね	28.6	28.6	100%	23.4	82%
ふさおとめ	24.7	24.7	100%	19.4	79%
<b>東京</b>	-	-	-	-	-
<b>神奈川</b>	<b>2.4</b>	<b>2.3</b>	<b>93%</b>	<b>2.3</b>	<b>93%</b>
<b>山梨</b>	<b>5.9</b>	<b>4.5</b>	<b>76%</b>	<b>4.5</b>	<b>76%</b>
コシヒカリ	5.1	3.9	76%	3.9	76%
あさひの夢	0.3	0.1	54%	0.1	54%
<b>長野</b>	<b>69.9</b>	<b>69.6</b>	<b>100%</b>	<b>58.8</b>	<b>84%</b>
コシヒカリ	53.5	53.2	99%	45.2	85%
あきたこまち	9.5	9.5	100%	8.0	84%
<b>静岡</b>	<b>10.2</b>	<b>9.4</b>	<b>92%</b>	<b>9.4</b>	<b>92%</b>
コシヒカリ	6.6	6.4	97%	6.4	97%
あいちのおり	1.2	0.9	78%	0.9	78%
キヌヒカリ	0.5	0.4	92%	0.4	92%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）した数量である。

5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。

7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないもの。

集荷・契約・販売数量(新潟から沖縄まで)

	集荷数量	契約数量	契約比率	販売数量	販売比率
	①	②		③	
	(玄米千ト)	(玄米千ト)	②/①	(玄米千ト)	③/①
<b>新潟</b>	<b>292.4</b>	<b>290.8</b>	<b>99%</b>	<b>261.1</b>	<b>89%</b>
コシヒカリ一般	154.0	152.8	99%	137.9	90%
コシヒカリ魚沼	31.7	31.4	99%	30.4	96%
コシヒカリ岩船	13.8	13.8	100%	12.6	91%
コシヒカリ佐渡	16.1	16.1	100%	14.6	91%
こしいぶき	56.1	56.1	100%	48.6	87%
<b>富山</b>	<b>111.6</b>	<b>108.8</b>	<b>98%</b>	<b>99.9</b>	<b>90%</b>
コシヒカリ	93.6	91.4	98%	86.8	93%
てんたかく	10.1	9.6	95%	7.7	76%
<b>石川</b>	<b>36.6</b>	<b>35.4</b>	<b>97%</b>	<b>24.8</b>	<b>68%</b>
コシヒカリ	25.0	25.0	100%	18.2	73%
ゆめみづほ	8.5	7.3	87%	4.6	54%
<b>福井</b>	<b>65.1</b>	<b>65.1</b>	<b>100%</b>	<b>56.3</b>	<b>86%</b>
コシヒカリ	30.2	30.2	100%	29.4	97%
ハナエチゼン	21.2	21.2	100%	19.8	93%
<b>岐阜</b>	<b>34.4</b>	<b>34.2</b>	<b>99%</b>	<b>24.0</b>	<b>70%</b>
ハツシモ	16.8	16.6	99%	9.8	58%
コシヒカリ	8.1	8.1	100%	7.4	91%
あきたこまち	3.0	3.0	100%	2.7	90%
<b>愛知</b>	<b>41.1</b>	<b>40.9</b>	<b>99%</b>	<b>32.3</b>	<b>78%</b>
あいちのかおり	20.7	20.7	100%	13.4	65%
コシヒカリ	13.2	13.2	100%	12.6	96%
大地の風	1.8	1.8	100%	1.6	92%
<b>三重</b>	<b>31.3</b>	<b>31.3</b>	<b>100%</b>	<b>27.2</b>	<b>87%</b>
コシヒカリ一般	17.1	17.1	100%	16.4	96%
コシヒカリ伊賀	6.1	6.1	100%	4.8	79%
キヌヒカリ	3.0	3.0	100%	2.2	73%
<b>滋賀</b>	<b>67.2</b>	<b>67.1</b>	<b>100%</b>	<b>59.3</b>	<b>88%</b>
コシヒカリ	24.1	24.1	100%	23.1	96%
キヌヒカリ	17.0	16.9	100%	14.7	86%
日本晴	8.3	8.3	100%	5.5	66%
<b>京都</b>	<b>15.5</b>	<b>15.5</b>	<b>100%</b>	<b>13.0</b>	<b>84%</b>
コシヒカリ	9.0	9.0	100%	7.5	84%
キヌヒカリ	3.7	3.7	100%	3.1	83%
<b>大阪</b>	-	-	-	-	-
<b>兵庫</b>	<b>41.0</b>	<b>40.3</b>	<b>98%</b>	<b>35.9</b>	<b>87%</b>
コシヒカリ	11.6	11.6	100%	11.4	98%
キヌヒカリ	4.7	4.6	98%	4.4	92%
ヒノヒカリ	5.1	4.9	96%	4.3	84%
<b>奈良</b>	<b>9.7</b>	<b>9.7</b>	<b>100%</b>	<b>8.4</b>	<b>87%</b>
ヒノヒカリ	7.5	7.5	100%	6.4	86%
コシヒカリ	0.6	0.6	100%	0.6	93%
<b>和歌山</b>	<b>1.4</b>	<b>1.4</b>	<b>100%</b>	<b>1.1</b>	<b>73%</b>
<b>鳥取</b>	<b>26.9</b>	<b>26.1</b>	<b>97%</b>	<b>24.1</b>	<b>90%</b>
コシヒカリ	8.1	8.0	98%	7.7	95%
ひとめぼれ	10.2	9.9	97%	9.7	95%
<b>島根</b>	<b>43.4</b>	<b>35.4</b>	<b>82%</b>	<b>30.9</b>	<b>71%</b>
コシヒカリ	22.3	20.2	91%	18.6	83%
きぬむすめ	14.9	10.0	67%	7.6	51%
ハナエチゼン	1.9	1.4	73%	1.2	62%

	集荷数量	契約数量	契約比率	販売数量	販売比率
	①	②		③	
	(玄米千ト)	(玄米千ト)	②/①	(玄米千ト)	③/①
<b>岡山</b>	<b>30.1</b>	<b>29.3</b>	<b>97%</b>	<b>21.9</b>	<b>73%</b>
アケボノ	8.9	8.8	99%	5.4	60%
あきたこまち	3.2	3.1	96%	2.9	90%
ヒノヒカリ	3.9	3.7	96%	3.1	80%
<b>広島</b>	<b>36.9</b>	<b>35.6</b>	<b>96%</b>	<b>32.4</b>	<b>88%</b>
コシヒカリ	15.9	15.9	100%	15.2	96%
あきろまん	5.2	5.0	97%	4.1	78%
ヒノヒカリ	3.3	3.1	95%	2.7	83%
<b>山口</b>	<b>37.0</b>	<b>37.0</b>	<b>100%</b>	<b>29.1</b>	<b>79%</b>
コシヒカリ	11.1	11.1	100%	9.7	88%
ひとめぼれ	9.3	9.3	100%	7.3	78%
ヒノヒカリ	7.8	7.8	100%	5.9	76%
<b>徳島</b>	<b>10.3</b>	<b>10.3</b>	<b>100%</b>	<b>10.1</b>	<b>98%</b>
コシヒカリ	7.2	7.2	100%	7.2	100%
キヌヒカリ	2.1	2.1	100%	1.9	91%
<b>香川</b>	<b>28.1</b>	<b>28.1</b>	<b>100%</b>	<b>23.6</b>	<b>84%</b>
ヒノヒカリ	14.3	14.3	100%	11.7	81%
コシヒカリ	8.1	8.1	100%	7.8	96%
<b>愛媛</b>	<b>14.6</b>	<b>14.3</b>	<b>98%</b>	<b>11.4</b>	<b>78%</b>
コシヒカリ	4.6	4.6	99%	4.4	94%
ヒノヒカリ	3.3	3.2	99%	2.7	83%
あきたこまち	2.2	2.1	98%	1.8	81%
<b>高知</b>	<b>7.6</b>	<b>7.6</b>	<b>100%</b>	<b>7.6</b>	<b>100%</b>
コシヒカリ	6.1	6.1	100%	6.1	100%
ヒノヒカリ	0.1	0.1	100%	0.1	100%
<b>福岡</b>	<b>56.6</b>	<b>54.1</b>	<b>96%</b>	<b>47.1</b>	<b>83%</b>
ヒノヒカリ	19.7	18.8	95%	14.4	73%
夢つくし	17.7	17.4	98%	17.2	97%
<b>佐賀</b>	<b>42.7</b>	<b>41.8</b>	<b>98%</b>	<b>33.9</b>	<b>79%</b>
夢しずく	13.0	13.0	100%	10.1	78%
さがびより	12.6	12.6	100%	9.8	78%
ヒノヒカリ	10.3	9.5	92%	8.0	78%
<b>長崎</b>	<b>10.9</b>	<b>10.9</b>	<b>100%</b>	<b>9.0</b>	<b>82%</b>
にこまる	4.4	4.4	99%	3.7	83%
ヒノヒカリ	3.2	3.2	100%	2.6	81%
コシヒカリ	1.8	1.8	100%	1.6	93%
<b>熊本</b>	<b>45.0</b>	<b>41.0</b>	<b>91%</b>	<b>40.2</b>	<b>89%</b>
ヒノヒカリ	19.5	17.6	90%	17.3	89%
コシヒカリ	7.6	7.2	95%	7.2	95%
森のくまさん	7.0	7.0	100%	6.5	92%
<b>大分</b>	<b>17.8</b>	<b>17.7</b>	<b>100%</b>	<b>14.0</b>	<b>79%</b>
ヒノヒカリ	12.5	12.5	100%	9.9	79%
ひとめぼれ	1.2	1.2	100%	1.0	90%
<b>宮崎</b>	<b>20.8</b>	<b>20.8</b>	<b>100%</b>	<b>20.4</b>	<b>98%</b>
コシヒカリ	13.3	13.3	100%	13.3	100%
ヒノヒカリ	5.8	5.8	100%	5.6	96%
<b>鹿児島</b>	<b>19.0</b>	<b>19.0</b>	<b>100%</b>	<b>17.2</b>	<b>91%</b>
ヒノヒカリ	7.9	7.9	100%	6.7	85%
コシヒカリ	4.9	4.9	100%	4.9	100%
あきほなみ	3.2	3.2	100%	2.8	87%
<b>沖縄</b>	<b>1.7</b>	<b>1.7</b>	<b>100%</b>	<b>1.7</b>	<b>100%</b>
<b>全国</b>	<b>3,440</b>	<b>3,269</b>	<b>95%</b>	<b>2,724</b>	<b>79%</b>

注: 本表の注意点は前頁の脚注を参照

平成26年産米の事前契約数量は99万トン、集荷数量に対する比率は29%。

〔事前契約数量は、複数年契約、は種前契約、収穫前契約といった米の収穫時期の前にあらかじめ契約されたものをいいます。〕

## (2) 産地別事前契約数量

平成24から26年産米の産地別事前契約数量（累計、うるち米、平成27年8月末現在）（速報）

単位：玄米千トン

	24年産			25年産			26年産		
	集荷数量 ①	うち事前契約分 ②	事前契約比率 ②/①	集荷数量 ③	うち事前契約分 ④	事前契約比率 ④/③	集荷数量 ⑤	うち事前契約分 ⑥	事前契約比率 ⑥/⑤
北海道	407.4	226.1	56%	389.9	167.0	43%	397.8	161.0	40%
青森	123.6	43.3	35%	165.1	46.9	28%	169.4	26.1	15%
岩手	163.3	85.3	52%	148.8	82.3	55%	149.6	47.7	32%
宮城	203.8	105.6	52%	196.2	141.7	72%	216.3	111.3	51%
秋田	297.7	148.7	50%	319.5	102.6	32%	303.7	68.5	23%
山形	235.0	75.5	32%	259.0	56.9	22%	242.8	52.8	22%
福島	157.4	50.4	32%	173.9	27.9	16%	153.3	20.0	13%
茨城	98.0	60.1	61%	107.8	39.0	36%	109.7	46.1	42%
栃木	164.7	59.0	36%	191.8	43.1	22%	184.0	36.8	20%
群馬	27.9	-	-	26.9	-	-	26.3	-	-
埼玉	19.7	6.7	34%	23.1	5.9	25%	28.5	3.2	11%
千葉	104.9	33.6	32%	111.0	20.0	18%	123.8	31.5	25%
東京	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2.2	-	-	2.1	-	-	2.4	-	-
山梨	6.1	-	-	6.3	-	-	5.9	-	-
長野	74.8	39.1	52%	77.8	42.0	54%	69.9	22.0	31%
静岡	9.6	-	-	7.9	-	-	10.2	-	-
新潟	345.0	190.8	55%	306.0	144.4	47%	292.4	122.4	42%
富山	103.0	48.3	47%	111.6	53.8	48%	111.6	36.2	32%
石川	38.2	31.1	82%	38.2	29.4	77%	36.6	14.2	39%
福井	71.7	41.9	58%	72.0	56.3	78%	65.1	7.8	12%
岐阜	38.9	18.8	48%	39.6	17.0	43%	34.4	15.3	44%
愛知	40.3	7.9	20%	43.5	7.8	18%	41.1	-	-
三重	31.0	19.1	62%	39.0	20.0	51%	31.3	15.9	51%
滋賀	73.2	41.7	57%	77.2	40.6	53%	67.2	25.7	38%
京都	17.7	10.6	60%	17.3	8.0	46%	15.5	7.2	47%
大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	42.4	-	-	42.6	-	-	41.0	-	-
奈良	8.4	-	-	8.6	-	-	9.7	-	-
和歌山	1.4	1.4	98%	1.3	1.3	98%	1.4	1.4	99%
鳥取	29.3	7.5	25%	29.0	10.6	37%	26.9	6.9	25%
島根	48.2	19.9	41%	39.3	21.8	56%	43.4	11.3	26%
岡山	31.5	-	-	31.9	-	-	30.1	10.0	33%
広島	45.3	-	-	41.6	1.9	5%	36.9	1.9	5%
山口	47.1	22.1	47%	42.9	22.9	53%	37.0	20.5	55%
徳島	15.0	-	-	14.3	-	-	10.3	-	-
香川	32.1	19.3	60%	31.7	19.1	60%	28.1	13.2	47%
愛媛	15.6	-	-	15.2	-	-	14.6	-	-
高知	9.2	-	-	8.8	-	-	7.6	-	-
福岡	54.1	23.7	44%	54.2	25.7	47%	56.6	25.0	44%
佐賀	42.4	-	-	40.8	-	-	42.7	-	-
長崎	11.2	-	-	11.6	-	-	10.9	-	-
熊本	49.1	25.7	52%	49.3	23.9	48%	45.0	22.9	51%
大分	18.0	1.1	6%	18.6	1.6	9%	17.8	1.0	6%
宮崎	23.0	-	-	23.0	-	-	20.8	-	-
鹿児島	19.8	-	-	21.9	-	-	19.0	-	-
沖縄	1.7	-	-	1.7	-	-	1.7	-	-
全 国	3,400	1,464	43%	3,520	1,281	36%	3,440	986	29%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 報告対象米穀は、水稲うるち米及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3 24年産は25年産の報告対象業者から26年2月末時点で聞き取った数量、25年産は26年10月末時点の数量である。

4 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

5 事前契約分とは、3の集荷数量のうち、は種前・収穫前契約及び複数年の契約による数量（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）である。

6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

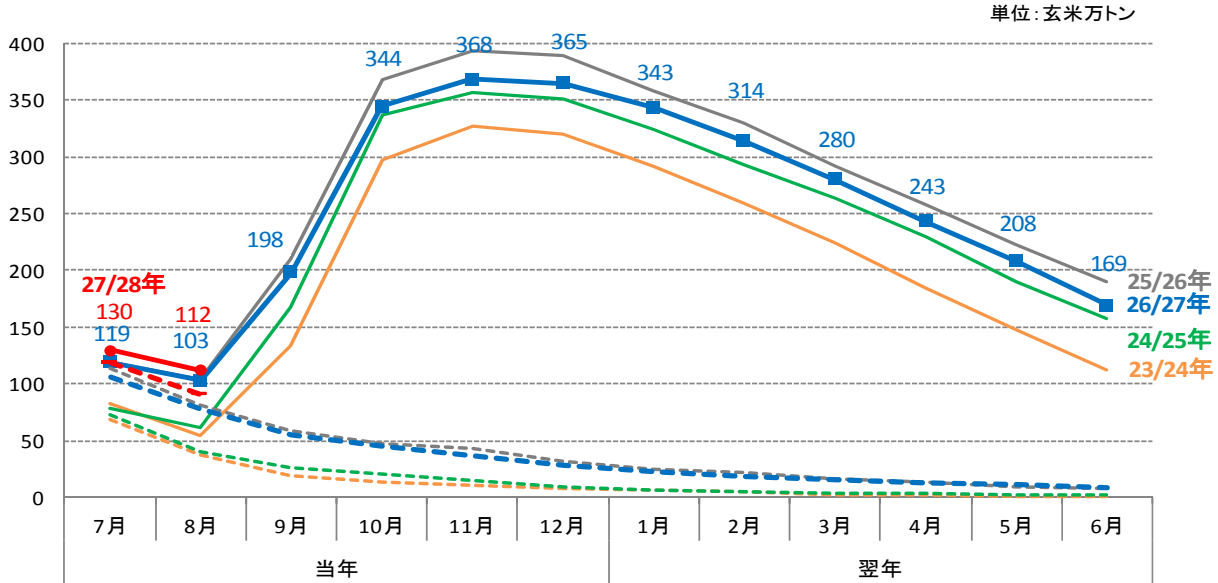
7 「-」は、集荷数量や事前契約に該当がないもの。

平成27年8月末の出荷及び販売段階における民間在庫は112万トン。  
前年同月の民間在庫103万トンは、米穀機構が買い入れ、飼料用等として処理した35万トンを除いている。

### 3 在庫情報

(1) 全国段階の民間在庫の推移(うるち米、平成21年7月末～平成27年8月末) (速報)

【出荷+販売段階】



注: グラフ中の実線は総在庫数量。破線は1年古米在庫数量である。

【出荷+販売段階】

(単位: 玄米万トン)

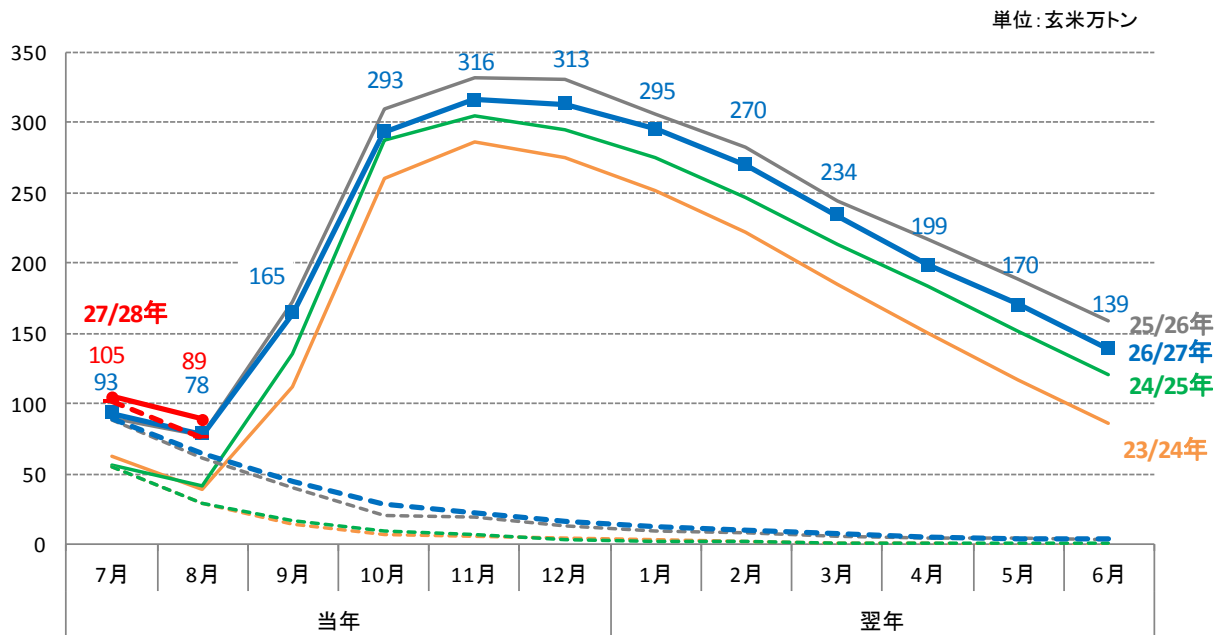
	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
21/22年	113	93	164	349	380	372	347	320	267	228	191	154
対前年差	+47	+44	+30	+24	+29	+26	+25	+26	+10	+7	▲4	+6
21年産米	2	14	107	297	333	335	316	293	246	213	180	146
1年古米(20年産)	106	76	52	42	35	27	22	18	12	8	6	4
22/23年	118	102	212	351	372	363	339	304	238	200	156	118
対前年差	+5	+9	+48	+1	▲8	▲8	▲8	▲15	▲29	▲29	▲34	▲36
22年産米	0	16	145	290	314	315	297	268	208	174	135	99
1年古米(21年産)	112	81	60	52	49	41	35	29	24	20	16	13
23/24年	83	55	134	298	327	320	291	259	224	185	147	113
対前年差	▲36	▲47	▲78	▲53	▲46	▲43	▲48	▲46	▲14	▲14	▲9	▲5
23年産米	0	8	106	273	304	300	275	246	214	177	141	108
1年古米(22年産)	69	37	19	13	11	8	6	5	2	2	1	1
24/25年	78	62	167	337	357	351	324	293	264	229	190	157
対前年差	▲5	+8	+33	+39	+30	+30	+33	+34	+40	+43	+43	+44
24年産米	0	16	135	306	331	331	307	279	252	219	182	150
1年古米(23年産)	73	41	26	20	15	9	7	5	4	3	2	2
25/26年	120	104	210	368	393	389	358	330	291	258	223	190
対前年差	+42	+42	+43	+32	+36	+39	+34	+36	+27	+29	+33	+33
25年産米	1	19	145	310	337	345	320	297	264	236	205	175
1年古米(24年産)	114	82	59	47	43	32	25	22	17	13	10	8
26/27年	(注7) 119	103	198	344	368	365	343	314	280	243	208	169
対前年差	▲1	▲2	▲12	▲24	▲25	▲24	▲15	▲16	▲11	▲15	▲15	▲21
26年産米	0	14	131	285	316	323	306	283	255	220	188	155
1年古米(25年産)	106	78	55	45	37	28	23	19	15	13	11	9
27/28年	130	112										
対前年差	+11	+9										
27年産米	0	13										
1年古米(26年産)	119	90										

資料: 農林水産省「小麦の出荷又は販売の事業を行う者等の流通状況調査」

- 注: 1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)の月末在庫量(玄米換算)の値である。  
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入数量が500トン以上)である。  
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者(年間の玄米仕入数量が4,000トン以上)である。  
 4 期間については、27/28年であれば、27年7月～28年6月である。  
 5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。  
 6 26年産米は、政府備蓄米を含まない。それ以前の年産は、政府による買入までの間の政府備蓄米を含む。  
 7 米穀機構の25年産買入数量(35万トン)は、26/27年7月以降の在庫に含まれていない。

平成27年8月末の出荷段階における民間在庫は89万トン。  
 前年同月の民間在庫78万トンは、米穀機構が買入れ、飼料用等として処理した35万  
 トンを除いている。

【出荷段階】



注：グラフ中の実線は総在庫数量。破線は1年古米在庫数量である。

【出荷段階】

(単位：玄米万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
21/22年	91	73	133	299	328	321	303	279	232	197	165	132
対前年差	+44	+41	+22	+14	+20	+25	+26	+28	+18	+15	+2	+11
21年産米	1	11	96	275	309	308	291	271	225	191	162	130
1年古米(20年産)	90	61	36	21	15	11	9	7	5	3	2	2
22/23年	100	85	187	311	329	321	301	268	201	164	128	92
対前年差	+9	+12	+54	+12	+1	±0	▲1	▲11	▲31	▲32	▲37	▲40
22年産米	0	13	134	271	294	291	276	247	184	151	117	82
1年古米(21年産)	99	70	51	37	34	28	23	20	16	13	11	8
23/24年	62	39	112	260	286	275	252	222	185	150	117	86
対前年差	▲38	▲46	▲75	▲50	▲43	-▲45	▲49	▲46	▲16	▲15	▲11	▲6
23年産米	0	5	94	249	276	266	245	217	182	148	116	85
1年古米(22年産)	55	29	14	7	6	4	3	2	1	1	0	0
24/25年	56	41	136	287	305	295	275	247	213	183	151	121
対前年差	▲6	+2	+24	+26	+19	+20	+23	+25	+28	+33	+34	+35
24年産米	0	12	118	274	296	290	271	243	210	181	150	120
1年古米(23年産)	55	29	17	10	7	3	2	2	1	1	1	1
25/26年	90	77	173	309	332	331	306	282	244	217	188	159
対前年差	+34	+35	+37	+23	+27	+36	+31	+35	+31	+34	+37	+38
25年産米	1	16	132	285	310	316	294	271	236	210	183	155
1年古米(24年産)	89	61	40	21	19	13	10	8	6	5	4	3
26/27年	93	78	165	293	316	313	295	270	234	199	170	139
対前年差	+2	+2	▲8	▲16	▲17	▲18	▲11	▲12	▲10	▲18	▲18	▲20
26年産米	0	12	119	261	289	293	280	257	225	192	165	134
1年古米(25年産)	89	64	44	29	22	16	13	10	7	5	4	4
27/28年	105	89										
対前年差	+12	+11										
27年産米	0	11										
1年古米(26年産)	101	76										

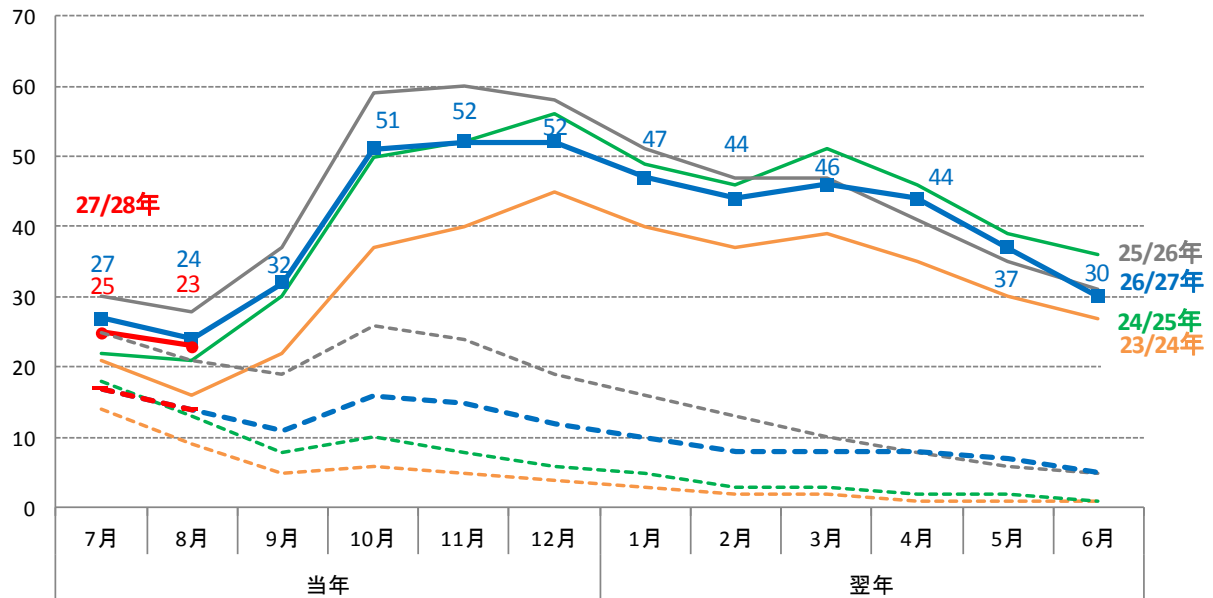
※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照



平成27年8月末の販売段階における民間在庫は23万トンで、対前年同月比▲2万トン。

【販売段階】

単位：玄米万トン



注：グラフ中の実線は総在庫数量。破線は1年古米在庫数量である。

【販売段階】

(単位：玄米万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
21/22年	22	20	31	51	52	51	45	40	35	32	26	22
対前年差	▲3	+4	+8	+10	+9	+1	±0	▲2	▲8	▲7	▲6	▲5
21年産米	0	3	11	22	24	27	24	23	22	22	18	16
1年古米(20年産)	17	14	16	21	20	15	13	11	7	5	4	3
22/23年	18	17	25	40	43	43	38	36	37	35	28	26
対前年差	▲3	▲3	▲6	▲11	▲9	▲8	-▲7	▲4	+2	+3	+3	+4
22年産米	0	3	12	19	21	23	21	22	24	23	19	17
1年古米(21年産)	14	11	9	15	16	13	11	9	8	8	6	5
23/24年	21	16	22	37	40	45	40	37	39	35	30	27
対前年差	+2	▲1	▲3	▲3	▲3	+2	+2	+1	+2	±0	+2	+1
23年産米	0	3	13	24	28	34	30	29	32	30	25	23
1年古米(22年産)	14	9	5	6	5	4	3	2	2	1	1	1
24/25年	22	21	30	50	52	56	49	46	51	46	39	36
対前年差	+1	+5	+8	+13	+11	+11	+9	+9	+12	+10	+8	+9
24年産米	0	4	17	32	35	41	37	36	42	38	32	31
1年古米(23年産)	18	13	8	10	8	6	5	3	3	2	2	1
25/26年	30	28	37	59	60	58	51	47	47	41	35	31
対前年差	+8	+7	+6	+9	+9	+3	+2	+1	▲4	▲4	▲4	▲5
25年産米	0	3	13	25	27	29	27	25	28	26	21	20
1年古米(24年産)	25	21	19	26	24	19	16	13	10	8	6	5
26/27年	27	24	32	51	52	52	47	44	46	44	37	30
対前年差	▲3	▲3	▲4	▲8	▲8	▲6	▲4	▲4	▲1	+3	+3	▲1
26年産米	0	3	13	24	26	30	27	26	29	29	24	21
1年古米(25年産)	17	14	11	16	15	12	10	8	8	8	7	5
27/28年	25	23										
対前年差	▲2	▲2										
27年産米	0	2										
1年古米(26年産)	17	14										

※本表の注意点は前々頁の出荷+販売段階の脚注を参照

(2) 26・27年産の産地別民間在庫の推移 (うるち米、平成27年7月末から平成27年8月末) (速報)

(北海道から秋田)

(単位:玄米千トン)

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	出荷+販売段階	124.8	91.8										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	122.8	90.4										
	出荷段階	96.2	67.8										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	95.6	67.5										
	販売段階	28.6	24.0										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	27.2	22.9										
青森	出荷+販売段階	71.6	54.7										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	69.5	53.1										
	出荷段階	56.6	43.4										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	56.6	43.3										
	販売段階	14.9	11.3										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	12.9	9.8										
岩手	出荷+販売段階	57.6	44.4										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	56.2	43.4										
	出荷段階	51.7	39.7										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	51.4	39.4										
	販売段階	5.9	4.7										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	4.8	4.0										
宮城	出荷+販売段階	113.9	95.8										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	110.2	93.4										
	出荷段階	99.9	85.2										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	99.4	84.8										
	販売段階	14.0	10.7										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	10.8	8.6										
秋田	出荷+販売段階	129.8	99.5										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	104.8	81.1										
	出荷段階	110.7	83.8										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	93.6	72.1										
	販売段階	19.1	15.7										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	11.2	9.0										

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。  
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上）である。  
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。  
 4 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、26年産米と1年古米（26年産）の合計と一致しない場合がある。

(山形から埼玉)

(単位: 玄米千トン)

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
山形	出荷+販売段階	109.3	87.7										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	104.9	84.2										
	出荷段階	96.9	77.9										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	95.8	77.1										
	販売段階	12.4	9.9										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	9.1	7.1										
福島	出荷+販売段階	60.5	42.3										
	27年産米	0.0	0.1										
	1年古米(26年産)	58.4	40.7										
	出荷段階	47.9	32.2										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	47.1	31.6										
	販売段階	12.6	10.1										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	11.2	9.1										
茨城	出荷+販売段階	51.4	53.4										
	27年産米	0.0	16.2										
	1年古米(26年産)	46.0	32.6										
	出荷段階	33.3	33.9										
	27年産米	0.0	9.9										
	1年古米(26年産)	33.2	23.9										
	販売段階	18.1	19.5										
	27年産米	0.0	6.4										
	1年古米(26年産)	12.8	8.7										
栃木	出荷+販売段階	94.4	77.6										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	87.6	72.7										
	出荷段階	81.3	67.3										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	78.4	65.2										
	販売段階	13.1	10.2										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	9.3	7.5										
群馬	出荷+販売段階	12.4	10.1										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	11.0	9.0										
	出荷段階	9.8	6.6										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	9.0	6.6										
	販売段階	2.6	3.5										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	2.0	2.4										
埼玉	出荷+販売段階	15.6	12.6										
	27年産米	0.0	0.4										
	1年古米(26年産)	15.5	12.2										
	出荷段階	14.1	11.1										
	27年産米	0.0	0.1										
	1年古米(26年産)	14.1	11.0										
	販売段階	1.5	1.5										
	27年産米	0.0	0.3										
	1年古米(26年産)	1.4	1.2										

注: 本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

(千葉から静岡)

(単位:玄米千トン)

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷+販売段階	36.3	89.9										
	27年産米	0.0	61.9										
	1年古米(26年産)	35.1	27.5										
	出荷段階	30.6	82.1										
	27年産米	0.0	58.5										
	1年古米(26年産)	30.2	23.4										
	販売段階	5.7	7.8										
	27年産米	0.0	3.4										
	1年古米(26年産)	4.8	4.0										
東京	出荷+販売段階	0.0	0.0										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	0.0	0.0										
	出荷段階	0.0	0.0										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	0.0	0.0										
	販売段階	0.0	0.0										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	0.0	0.0										
神奈川	出荷+販売段階	0.4	0.3										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	0.4	0.3										
	出荷段階	0.4	0.3										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	0.4	0.3										
	販売段階	0.0	0.0										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	0.0	0.0										
山梨	出荷+販売段階	2.2	1.7										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	2.1	1.6										
	出荷段階	1.9	1.5										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	1.9	1.4										
	販売段階	0.3	0.3										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	0.3	0.2										
長野	出荷+販売段階	21.5	14.9										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	21.0	14.5										
	出荷段階	18.0	11.8										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	17.8	11.7										
	販売段階	3.6	3.1										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	3.2	2.8										
静岡	出荷+販売段階	2.7	4.0										
	27年産米	0.0	2.3										
	1年古米(26年産)	2.5	1.6										
	出荷段階	1.9	2.6										
	27年産米	0.0	1.4										
	1年古米(26年産)	1.9	1.2										
	販売段階	0.8	1.4										
	27年産米	0.0	0.9										
	1年古米(26年産)	0.6	0.4										

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## (新潟から愛知)

(単位:玄米千トン)

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷+販売段階	67.5	43.7										
	27年産米	0.0	0.4										
	1年古米(26年産)	66.0	42.1										
	出荷段階	57.8	34.7										
	27年産米	0.0	0.3										
	1年古米(26年産)	56.8	33.5										
	販売段階	9.7	9.0										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	9.2	8.6										
富山	出荷+販売段階	22.6	16.5										
	27年産米	0.0	0.8										
	1年古米(26年産)	21.8	15.1										
	出荷段階	18.6	12.3										
	27年産米	0.0	0.5										
	1年古米(26年産)	18.5	11.8										
	販売段階	4.1	4.2										
	27年産米	0.0	0.3										
	1年古米(26年産)	3.2	3.3										
石川	出荷+販売段階	19.9	19.8										
	27年産米	0.0	5.3										
	1年古米(26年産)	19.3	14.1										
	出荷段階	17.0	17.0										
	27年産米	0.0	4.2										
	1年古米(26年産)	16.8	12.5										
	販売段階	2.8	2.9										
	27年産米	0.0	1.1										
	1年古米(26年産)	2.5	1.6										
福井	出荷+販売段階	15.4	14.1										
	27年産米	0.0	2.3										
	1年古米(26年産)	14.5	11.1										
	出荷段階	11.6	10.4										
	27年産米	0.0	1.4										
	1年古米(26年産)	11.6	8.9										
	販売段階	3.7	3.7										
	27年産米	0.0	0.9										
	1年古米(26年産)	2.9	2.2										
岐阜	出荷+販売段階	16.4	15.4										
	27年産米	0.0	1.8										
	1年古米(26年産)	14.6	12.1										
	出荷段階	13.4	12.7										
	27年産米	0.0	1.6										
	1年古米(26年産)	13.0	10.9										
	販売段階	3.0	2.7										
	27年産米	0.0	0.2										
	1年古米(26年産)	1.6	1.2										
愛知	出荷+販売段階	15.5	13.3										
	27年産米	0.0	1.8										
	1年古米(26年産)	14.3	10.8										
	出荷段階	13.3	11.3										
	27年産米	0.0	1.4										
	1年古米(26年産)	13.0	9.6										
	販売段階	2.2	2.1										
	27年産米	0.0	0.4										
	1年古米(26年産)	1.3	1.2										

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## (三重から奈良)

(単位:玄米千トン)

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷+販売段階	7.7	14.3										
	27年産米	0.0	8.9										
	1年古米(26年産)	7.6	5.3										
	出荷段階	6.2	11.9										
	27年産米	0.0	7.5										
	1年古米(26年産)	6.2	4.4										
	販売段階	1.5	2.5										
	27年産米	0.0	1.4										
	1年古米(26年産)	1.4	0.9										
滋賀	出荷+販売段階	18.5	15.2										
	27年産米	0.0	2.1										
	1年古米(26年産)	16.8	12.0										
	出荷段階	15.3	12.1										
	27年産米	0.0	1.9										
	1年古米(26年産)	14.7	9.7										
	販売段階	3.2	3.2										
	27年産米	0.0	0.1										
	1年古米(26年産)	2.2	2.2										
京都	出荷+販売段階	4.6	3.5										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	4.6	3.4										
	出荷段階	4.0	3.0										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	4.0	3.0										
	販売段階	0.7	0.5										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	0.6	0.4										
大阪	出荷+販売段階	0.6	0.5										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	0.6	0.5										
	出荷段階	0.5	0.3										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	0.5	0.3										
	販売段階	0.1	0.2										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	0.1	0.2										
兵庫	出荷+販売段階	10.6	7.6										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	10.4	7.4										
	出荷段階	8.9	5.9										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	8.9	5.9										
	販売段階	1.7	1.7										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	1.5	1.5										
奈良	出荷+販売段階	2.5	1.7										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	2.3	1.5										
	出荷段階	2.1	1.3										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	2.1	1.3										
	販売段階	0.4	0.4										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	0.3	0.2										

注: 本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## (和歌山から山口)

(単位:玄米千トン)

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷+販売段階	1.0	0.8										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	0.8	0.6										
	出荷段階	0.5	0.4										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	0.5	0.4										
	販売段階	0.5	0.4										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	0.3	0.2										
鳥取	出荷+販売段階	10.2	7.3										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	9.5	6.8										
	出荷段階	7.8	5.2										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	7.5	5.0										
	販売段階	2.4	2.1										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	2.0	1.8										
島根	出荷+販売段階	16.9	14.7										
	27年産米	0.0	0.4										
	1年古米(26年産)	15.8	13.5										
	出荷段階	14.7	12.9										
	27年産米	0.0	0.4										
	1年古米(26年産)	14.7	12.5										
	販売段階	2.1	1.9										
	27年産米	0.0	0.1										
	1年古米(26年産)	1.1	1.0										
岡山	出荷+販売段階	19.4	14.4										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	18.5	14.0										
	出荷段階	15.8	11.3										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	15.4	11.2										
	販売段階	3.5	3.1										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	3.1	2.9										
広島	出荷+販売段階	10.7	7.7										
	27年産米	0.0	0.1										
	1年古米(26年産)	10.1	7.2										
	出荷段階	7.3	4.9										
	27年産米	0.0	0.1										
	1年古米(26年産)	7.3	4.7										
	販売段階	3.4	2.9										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	2.9	2.4										
山口	出荷+販売段階	11.4	10.7										
	27年産米	0.0	0.4										
	1年古米(26年産)	10.1	9.3										
	出荷段階	9.6	9.2										
	27年産米	0.0	0.3										
	1年古米(26年産)	8.9	8.3										
	販売段階	1.7	1.5										
	27年産米	0.0	0.1										
	1年古米(26年産)	1.1	1.0										

注: 本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## (徳島から佐賀)

(単位: 玄米千トン)

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷+販売段階	1.9	8.3										
	27年産米	0.0	7.2										
	1年古米(26年産)	1.9	1.0										
	出荷段階	0.9	6.5										
	27年産米	0.0	6.3										
	1年古米(26年産)	0.9	0.3										
	販売段階	1.1	1.7										
	27年産米	0.0	0.9										
	1年古米(26年産)	1.0	0.8										
香川	出荷+販売段階	8.5	6.1										
	27年産米	0.0	0.4										
	1年古米(26年産)	7.6	5.3										
	出荷段階	6.7	4.9										
	27年産米	0.0	0.4										
	1年古米(26年産)	6.7	4.5										
	販売段階	1.8	1.2										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	0.9	0.8										
愛媛	出荷+販売段階	5.6	6.7										
	27年産米	0.0	2.3										
	1年古米(26年産)	4.8	3.8										
	出荷段階	4.5	5.8										
	27年産米	0.0	2.2										
	1年古米(26年産)	4.5	3.6										
	販売段階	1.1	0.9										
	27年産米	0.0	0.1										
	1年古米(26年産)	0.3	0.2										
高知	出荷+販売段階	2.1	8.9										
	27年産米	0.5	7.6										
	1年古米(26年産)	1.0	0.8										
	出荷段階	0.8	5.2										
	27年産米	0.3	4.9										
	1年古米(26年産)	0.3	0.2										
	販売段階	1.3	3.6										
	27年産米	0.1	2.7										
	1年古米(26年産)	0.7	0.6										
福岡	出荷+販売段階	21.0	15.0										
	27年産米	0.0	0.3										
	1年古米(26年産)	19.2	13.1										
	出荷段階	17.9	12.4										
	27年産米	0.0	0.2										
	1年古米(26年産)	17.2	11.6										
	販売段階	3.2	2.6										
	27年産米	0.0	0.1										
	1年古米(26年産)	2.0	1.5										
佐賀	出荷+販売段階	13.6	11.2										
	27年産米	0.0	0.9										
	1年古米(26年産)	13.4	10.2										
	出荷段階	12.2	10.1										
	27年産米	0.0	0.8										
	1年古米(26年産)	12.2	9.3										
	販売段階	1.4	1.1										
	27年産米	0.0	0.1										
	1年古米(26年産)	1.2	0.9										

注: 本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。



## (長崎から沖縄)

(単位:玄米千トン)

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷+販売段階	3.3	2.8										
	27年産米	0.0	0.4										
	1年古米(26年産)	3.3	2.4										
	出荷段階	3.0	2.6										
	27年産米	0.0	0.4										
	1年古米(26年産)	3.0	2.2										
	販売段階	0.3	0.2										
	27年産米	0.0	0.0										
	1年古米(26年産)	0.2	0.2										
熊本	出荷+販売段階	13.3	10.9										
	27年産米	0.0	2.3										
	1年古米(26年産)	12.9	8.3										
	出荷段階	10.0	7.5										
	27年産米	0.0	1.6										
	1年古米(26年産)	10.0	5.9										
	販売段階	3.3	3.4										
	27年産米	0.0	0.8										
	1年古米(26年産)	2.9	2.5										
大分	出荷+販売段階	7.8	6.1										
	27年産米	0.0	0.4										
	1年古米(26年産)	7.0	5.1										
	出荷段階	6.0	4.6										
	27年産米	0.0	0.3										
	1年古米(26年産)	5.7	4.1										
	販売段階	1.7	1.5										
	27年産米	0.0	0.1										
	1年古米(26年産)	1.3	1.1										
宮崎	出荷+販売段階	5.1	5.0										
	27年産米	2.5	3.3										
	1年古米(26年産)	2.4	1.5										
	出荷段階	3.2	2.4										
	27年産米	1.8	1.7										
	1年古米(26年産)	1.4	0.8										
	販売段階	1.9	2.6										
	27年産米	0.8	1.6										
	1年古米(26年産)	1.0	0.8										
鹿児島	出荷+販売段階	8.9	9.8										
	27年産米	0.8	3.4										
	1年古米(26年産)	6.7	5.2										
	出荷段階	5.8	5.1										
	27年産米	0.4	1.0										
	1年古米(26年産)	5.1	3.9										
	販売段階	3.1	4.6										
	27年産米	0.3	2.4										
	1年古米(26年産)	1.6	1.3										
沖縄	出荷+販売段階	0.4	0.3										
	27年産米	0.4	0.3										
	1年古米(26年産)	0.0	0.0										
	出荷段階	0.2	0.2										
	27年産米	0.2	0.2										
	1年古米(26年産)	0.0	0.0										
	販売段階	0.2	0.2										
	27年産米	0.2	0.2										
	1年古米(26年産)	0.0	0.0										

注: 本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

(2) 25・26年産の産地別民間在庫の推移 (うるち米、平成26年7月末から平成27年6月末) (速報)

(北海道から秋田)

(単位: 玄米千トン)

		26年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	出荷+販売段階	100.7	67.7	129.7	290.5	356.6	366.9	348.6	314.2	280.3	241.9	206.5	167.1
	26年産米	0.0	0.0	87.7	258.7	325.1	347.6	334.9	305.3	274.5	237.3	203.0	164.3
	1年古米(25年産)	97.4	65.3	40.4	30.7	28.6	18.6	13.1	8.3	5.5	4.3	3.3	2.6
	出荷段階	75.0	47.8	104.0	236.4	296.5	304.9	291.8	263.3	234.2	197.4	168.6	134.0
	26年産米	0.0	0.0	75.1	218.7	281.2	297.2	286.8	260.4	232.3	196.0	167.6	133.2
	1年古米(25年産)	74.1	47.2	28.7	17.5	13.2	7.6	5.0	2.9	1.9	1.5	1.0	0.8
	販売段階	25.7	19.9	25.6	54.2	60.1	62.0	56.9	50.8	46.1	44.5	37.9	33.1
	26年産米	0.0	0.0	12.6	39.9	43.9	50.3	48.2	44.9	42.2	41.4	35.4	31.1
	1年古米(25年産)	23.3	18.1	11.7	13.2	15.5	11.0	8.1	5.4	3.5	2.8	2.2	1.8
青森	出荷+販売段階	69.2	55.2	78.5	160.8	170.5	176.8	163.0	150.9	128.8	119.8	106.1	91.4
	26年産米	0.0	0.0	38.5	139.3	149.4	162.1	152.4	143.5	123.4	115.4	102.4	88.6
	1年古米(25年産)	67.4	53.8	39.0	20.6	20.4	14.1	10.1	7.1	5.3	4.2	3.5	2.7
	出荷段階	51.3	41.7	66.5	141.7	147.8	155.7	146.6	137.0	105.3	94.4	85.5	70.0
	26年産米	0.0	0.0	37.9	132.6	141.2	151.2	143.1	134.9	104.5	93.8	85.2	69.8
	1年古米(25年産)	51.2	41.6	28.6	9.1	6.6	4.6	3.5	2.1	0.9	0.5	0.4	0.2
	販売段階	18.0	13.6	11.9	19.0	22.7	21.0	16.3	13.9	23.5	25.5	20.5	21.4
	26年産米	0.0	0.0	0.6	6.7	8.2	10.9	9.2	8.6	18.9	21.6	17.3	18.8
	1年古米(25年産)	16.2	12.2	10.4	11.6	13.8	9.5	6.6	4.9	4.4	3.7	3.1	2.5
岩手	出荷+販売段階	45.6	33.1	32.4	125.6	136.9	152.8	145.6	132.5	119.1	102.6	88.1	73.0
	26年産米	0.0	0.0	9.5	104.7	120.5	147.1	139.5	127.4	114.7	99.6	85.6	71.0
	1年古米(25年産)	44.7	32.5	22.5	20.5	16.1	5.6	6.0	5.0	4.3	2.9	2.4	1.9
	出荷段階	39.9	28.8	28.6	112.9	124.3	139.2	133.0	121.5	107.6	92.5	80.1	66.2
	26年産米	0.0	0.0	9.0	99.0	113.3	137.2	131.6	120.4	106.7	91.9	79.6	65.8
	1年古米(25年産)	39.7	28.7	19.5	13.9	11.0	2.0	1.4	1.1	0.9	0.6	0.5	0.3
	販売段階	5.7	4.3	3.8	12.7	12.6	13.6	12.6	11.0	11.5	10.1	8.0	6.8
	26年産米	0.0	0.0	0.5	5.7	7.2	9.9	7.9	7.0	8.0	7.7	6.0	5.2
	1年古米(25年産)	5.0	3.8	3.0	6.7	5.1	3.6	4.6	3.9	3.4	2.3	2.0	1.5
宮城	出荷+販売段階	74.3	57.9	96.5	208.6	207.1	207.4	206.4	205.9	198.1	175.9	156.7	137.4
	26年産米	0.0	0.0	54.8	172.4	178.1	186.8	191.6	194.6	189.7	169.2	150.9	132.7
	1年古米(25年産)	72.2	56.1	40.1	34.8	27.7	19.3	13.6	10.3	7.5	6.0	5.0	4.1
	出荷段階	63.5	47.5	85.2	185.7	185.7	186.2	189.4	190.9	172.7	153.3	138.1	121.1
	26年産米	0.0	0.0	53.2	165.0	170.1	176.2	182.5	186.4	170.3	151.9	137.1	120.4
	1年古米(25年産)	62.9	47.0	31.6	20.3	15.3	9.7	6.7	4.3	2.2	1.3	0.8	0.7
	販売段階	10.8	10.4	11.3	22.9	21.4	21.1	16.9	15.0	25.4	22.6	18.6	16.3
	26年産米	0.0	0.0	1.6	7.4	8.0	10.6	9.1	8.2	19.4	17.3	13.8	12.3
	1年古米(25年産)	9.3	9.2	8.6	14.5	12.4	9.6	6.9	6.0	5.2	4.7	4.2	3.5
秋田	出荷+販売段階	91.4	68.6	126.2	298.3	300.0	303.9	283.9	271.6	251.5	228.6	196.7	165.1
	26年産米	0.0	0.0	72.1	247.3	251.9	259.7	241.6	232.8	215.3	188.3	161.1	134.5
	1年古米(25年産)	82.9	61.0	47.6	45.4	43.4	40.3	39.0	35.8	33.5	38.0	33.2	28.3
	出荷段階	81.8	60.3	117.6	282.8	284.5	285.9	267.3	256.3	226.8	195.8	170.1	142.9
	26年産米	0.0	0.0	69.8	238.7	242.7	246.9	230.8	222.6	196.0	168.2	145.5	121.7
	1年古米(25年産)	75.7	54.6	42.8	39.6	37.9	35.7	33.7	31.1	28.5	25.4	22.5	19.1
	販売段階	9.6	8.3	8.6	15.5	15.6	18.0	16.6	15.3	24.7	32.9	26.5	22.2
	26年産米	0.0	0.0	2.2	8.6	9.2	12.8	10.8	10.2	19.3	20.1	15.5	12.8
	1年古米(25年産)	7.2	6.3	4.9	5.8	5.5	4.6	5.3	4.7	5.1	12.5	10.8	9.2

資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注: 1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)の月末在庫量(玄米換算)の値である。  
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上)である。  
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者(年間の玄米仕入量が4,000トン以上)である。  
 4 年産の特定できない未検査米を含んでいるため、26年産米と1年古米(25年産)の合計と一致しない場合がある。  
 5 米穀機構の買入数量(平成25年産米で35万トン)は、26年7月以降の在庫に含まれていない。

## (山形から埼玉)

(単位:玄米千トン)

		26年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
山形	出荷+販売段階	101.7	83.6	94.5	239.9	251.0	257.3	245.4	226.3	215.9	189.4	165.1	140.2	
	26年産米	0.0	0.0	42.0	198.6	218.2	231.7	225.5	210.3	204.0	181.3	157.9	134.6	
	1年古米(25年産)	96.3	79.0	48.5	37.9	29.7	22.8	17.3	13.5	9.8	6.2	5.5	4.1	
	出荷段階	88.1	71.0	81.2	216.4	227.4	234.1	226.8	210.2	194.2	169.3	148.7	125.3	
	26年産米	0.0	0.0	41.3	190.5	208.7	220.0	216.1	201.9	188.9	166.4	146.0	123.5	
	1年古米(25年産)	85.3	68.6	37.7	24.0	16.9	12.4	9.2	6.8	4.0	1.8	1.7	0.8	
	販売段階	13.6	12.7	13.4	23.5	23.6	23.2	18.6	16.1	21.8	20.1	16.4	14.9	
	26年産米	0.0	0.0	0.7	8.1	9.5	11.7	9.4	8.4	15.1	14.9	11.9	11.1	
	1年古米(25年産)	10.9	10.4	10.8	13.9	12.8	10.4	8.1	6.7	5.8	4.4	3.9	3.3	
	福島	出荷+販売段階	56.7	41.5	50.4	191.5	210.8	199.5	183.2	159.8	141.3	118.7	100.2	82.3
		26年産米	0.0	0.0	17.7	160.8	187.1	182.6	172.1	150.9	134.4	113.5	96.6	79.5
		1年古米(25年産)	44.7	30.8	22.8	21.5	17.6	11.7	7.0	5.5	4.3	2.9	1.9	1.5
出荷段階		39.3	27.4	36.9	162.6	182.5	172.0	158.9	129.0	114.0	95.1	81.5	66.3	
26年産米		0.0	0.0	16.4	149.3	172.2	165.5	155.0	125.9	111.7	93.4	80.2	65.2	
1年古米(25年産)		35.6	24.0	17.4	10.6	8.0	4.4	2.2	1.6	0.9	0.5	0.2	0.1	
販売段階		17.5	14.1	13.6	28.9	28.3	27.5	24.3	30.7	27.2	23.6	18.7	16.0	
26年産米		0.0	0.0	1.3	11.5	14.9	17.1	17.2	25.0	22.7	20.1	16.5	14.3	
1年古米(25年産)		9.1	6.7	5.4	11.0	9.6	7.3	4.8	4.0	3.4	2.5	1.7	1.4	
茨城		出荷+販売段階	47.6	51.3	149.6	168.9	160.4	150.0	140.8	129.0	110.4	100.3	85.3	69.8
		26年産米	0.0	18.5	126.4	150.3	144.0	135.4	128.0	117.9	105.5	92.5	78.2	63.6
		1年古米(25年産)	45.6	31.1	21.9	17.6	15.5	13.7	12.1	10.5	4.4	7.4	6.7	5.9
	出荷段階	33.8	35.8	111.2	129.3	123.2	114.2	105.3	97.2	76.5	65.6	56.5	46.9	
	26年産米	0.0	13.0	96.3	116.9	111.6	103.4	96.0	89.2	76.3	65.4	56.3	46.7	
	1年古米(25年産)	33.6	22.6	14.7	12.2	11.4	10.6	9.3	7.9	0.2	0.2	0.1	0.1	
	販売段階	13.8	15.5	38.4	39.5	37.2	35.8	35.5	31.9	33.9	34.7	28.8	23.0	
	26年産米	0.0	5.6	30.1	33.4	32.4	32.0	32.0	28.7	29.2	27.1	21.9	16.9	
	1年古米(25年産)	12.0	8.5	7.3	5.4	4.0	3.1	2.8	2.6	4.2	7.2	6.5	5.8	
	栃木	出荷+販売段階	89.9	75.2	146.8	192.8	210.4	204.3	190.9	180.7	169.6	151.2	133.5	113.5
		26年産米	0.0	0.0	86.5	142.0	172.7	176.8	168.3	161.6	150.9	135.1	120.9	104.1
		1年古米(25年産)	88.1	74.0	59.7	50.3	37.5	27.4	22.4	19.0	18.6	16.1	12.5	9.4
出荷段階		81.4	68.0	134.6	171.0	191.2	184.2	172.4	161.2	146.4	129.6	115.4	98.8	
26年産米		0.0	0.0	80.5	131.1	161.4	162.4	156.0	148.7	137.0	122.6	110.0	94.7	
1年古米(25年産)		80.8	67.7	54.0	39.9	29.9	21.7	16.4	12.5	9.4	7.0	5.4	4.1	
販売段階		8.5	7.2	12.2	21.7	19.2	20.2	18.5	19.5	23.2	21.6	18.1	14.7	
26年産米		0.0	0.0	6.0	10.9	11.3	14.3	12.3	12.9	13.9	12.4	10.9	9.4	
1年古米(25年産)		7.3	6.3	5.6	10.4	7.6	5.7	6.0	6.6	9.2	9.2	7.2	5.3	
群馬		出荷+販売段階	14.9	12.9	10.6	12.7	24.6	36.4	37.0	35.0	28.1	22.7	18.8	15.9
		26年産米	0.0	0.0	0.4	6.1	18.9	31.7	32.8	31.7	26.0	20.5	16.9	14.2
		1年古米(25年産)	14.1	12.2	9.6	6.1	5.3	4.4	3.9	3.3	2.1	2.2	1.8	1.6
	出荷段階	12.1	10.5	8.6	10.5	21.9	33.0	33.9	32.1	24.1	18.6	15.5	12.9	
	26年産米	0.0	0.0	0.3	5.6	17.5	29.4	30.7	29.3	22.7	17.3	14.3	11.9	
	1年古米(25年産)	12.1	10.5	8.3	4.9	4.3	3.6	3.3	2.7	1.4	1.3	1.1	1.0	
	販売段階	2.9	2.4	1.9	2.2	2.7	3.4	3.0	3.0	4.0	4.1	3.3	3.0	
	26年産米	0.0	0.0	0.1	0.5	1.4	2.3	2.2	2.4	3.2	3.2	2.6	2.3	
	1年古米(25年産)	2.0	1.7	1.2	1.3	1.0	0.8	0.7	0.5	0.7	0.9	0.7	0.7	
	埼玉	出荷+販売段階	5.7	4.0	10.4	24.7	32.4	34.7	34.0	31.8	28.6	24.7	21.5	18.4
		26年産米	0.0	0.3	7.9	22.6	30.7	33.1	33.0	31.0	27.6	24.0	21.0	18.0
		1年古米(25年産)	5.4	3.6	2.4	2.0	1.7	1.6	1.0	0.8	1.0	0.7	0.6	0.4
出荷段階		4.2	2.7	8.7	21.9	29.4	31.8	31.7	29.6	26.1	22.4	19.6	16.7	
26年産米		0.0	0.1	7.1	20.5	28.1	30.8	31.0	29.0	25.7	22.1	19.4	16.6	
1年古米(25年産)		4.2	2.5	1.6	1.4	1.3	1.0	0.7	0.6	0.4	0.3	0.2	0.1	
販売段階		1.4	1.3	1.7	2.7	3.0	2.9	2.3	2.2	2.5	2.3	1.9	1.7	
26年産米		0.0	0.1	0.8	2.1	2.5	2.3	2.0	1.9	1.9	1.9	1.6	1.5	
1年古米(25年産)		1.3	1.1	0.8	0.6	0.4	0.6	0.3	0.3	0.6	0.4	0.3	0.3	

注: 本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## (千葉から静岡)

(単位:玄米千トン)

		26年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷+販売段階	33.4	95.6	179.5	168.0	160.3	143.2	130.1	115.4	96.7	81.3	67.1	51.8
	26年産米	0.0	73.4	162.9	155.9	150.3	137.4	125.8	112.1	94.3	78.2	64.5	49.8
	1年古米(25年産)	32.5	21.3	15.8	11.5	9.5	5.4	3.9	2.8	2.0	2.7	2.2	1.7
	出荷段階	27.2	87.0	167.7	157.6	151.6	132.6	121.0	107.2	86.9	69.0	57.9	44.4
	26年産米	0.0	70.1	154.9	147.9	143.5	128.7	118.0	105.0	85.6	67.9	56.8	43.6
	1年古米(25年産)	27.2	16.9	12.8	9.7	8.1	4.0	2.9	2.2	1.4	1.2	1.0	0.8
	販売段階	6.2	8.6	11.7	10.4	8.7	10.6	9.2	8.2	9.8	12.2	9.2	7.5
	26年産米	0.0	3.3	7.9	8.0	6.9	8.7	7.8	7.1	8.8	10.3	7.6	6.2
	1年古米(25年産)	5.3	4.5	3.1	1.8	1.3	1.4	0.9	0.6	0.6	1.5	1.2	0.9
東京	出荷+販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年古米(25年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	出荷段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年古米(25年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年古米(25年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
神奈川	出荷+販売段階	0.4	0.3	0.4	2.5	2.5	2.3	2.0	1.6	1.5	1.1	0.8	0.6
	26年産米	0.0	0.0	0.3	2.5	2.5	2.3	2.0	1.6	1.5	1.1	0.8	0.6
	1年古米(25年産)	0.4	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	出荷段階	0.4	0.3	0.4	2.5	2.5	2.3	2.0	1.6	1.5	1.1	0.8	0.6
	26年産米	0.0	0.0	0.3	2.5	2.5	2.3	2.0	1.6	1.5	1.1	0.8	0.6
	1年古米(25年産)	0.4	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年古米(25年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
山梨	出荷+販売段階	2.6	2.1	2.3	4.9	5.5	6.1	5.5	5.0	4.2	3.7	3.2	2.7
	26年産米	0.0	0.0	0.6	3.4	4.3	5.2	4.8	4.4	4.0	3.5	3.1	2.6
	1年古米(25年産)	2.5	2.0	1.6	1.4	1.2	0.8	0.7	0.5	0.2	0.1	0.1	0.1
	出荷段階	2.3	1.9	2.1	4.5	4.9	5.3	4.9	4.4	3.7	3.2	2.8	2.3
	26年産米	0.0	0.0	0.6	3.1	3.7	4.6	4.2	3.9	3.6	3.1	2.7	2.3
	1年古米(25年産)	2.2	1.8	1.4	1.3	1.1	0.7	0.6	0.5	0.1	0.1	0.1	0.0
	販売段階	0.3	0.3	0.2	0.3	0.6	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.3
	26年産米	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.3
	1年古米(25年産)	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
長野	出荷+販売段階	23.3	16.6	27.5	63.7	79.2	74.5	68.1	61.9	53.8	45.2	37.1	29.2
	26年産米	0.0	0.0	16.0	52.4	70.0	68.5	63.0	57.5	51.2	43.2	35.5	28.0
	1年古米(25年産)	21.7	15.4	10.7	10.7	8.6	5.4	4.7	3.9	2.5	2.0	1.5	1.0
	出荷段階	18.5	12.7	23.2	54.0	69.2	65.0	59.4	53.5	46.2	38.1	31.6	25.2
	26年産米	0.0	0.0	15.1	49.1	65.5	63.0	57.9	52.1	45.7	37.7	31.2	24.9
	1年古米(25年産)	18.5	12.7	8.1	4.9	3.7	2.0	1.5	1.3	0.5	0.4	0.3	0.2
	販売段階	4.7	3.9	4.3	9.7	10.0	9.5	8.8	8.5	7.6	7.1	5.5	4.1
	26年産米	0.0	0.0	1.0	3.4	4.5	5.5	5.1	5.4	5.5	5.5	4.3	3.1
	1年古米(25年産)	3.2	2.7	2.6	5.7	4.9	3.4	3.2	2.5	2.0	1.5	1.2	0.8
静岡	出荷+販売段階	2.7	3.6	14.7	18.4	18.1	14.2	12.4	10.6	9.0	7.1	5.5	4.0
	26年産米	0.0	1.9	13.6	17.9	17.6	13.7	12.0	10.2	8.8	6.8	5.3	3.8
	1年古米(25年産)	2.6	1.7	1.0	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
	出荷段階	1.9	2.4	10.4	14.1	14.1	10.9	9.5	8.0	6.8	5.2	3.9	2.8
	26年産米	0.0	1.2	9.8	14.0	14.1	10.8	9.5	8.0	6.8	5.2	3.9	2.8
	1年古米(25年産)	1.9	1.2	0.6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.7	1.3	4.3	4.4	4.0	3.3	2.9	2.6	2.3	1.8	1.7	1.2
	26年産米	0.0	0.7	3.8	3.9	3.5	2.9	2.5	2.2	2.0	1.6	1.5	1.0
	1年古米(25年産)	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## (新潟から愛知)

(単位:玄米千トン)

		26年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷+販売段階	58.7	32.8	206.3	313.8	303.9	272.6	244.1	212.3	182.0	150.5	123.1	96.6
	26年産米	0.0	0.2	187.4	299.1	292.4	264.1	237.4	206.8	177.9	147.3	120.6	94.8
	1年古米(25年産)	49.6	25.3	12.9	10.0	7.9	5.6	4.3	3.6	2.8	2.2	1.9	1.5
	出荷段階	45.3	23.2	191.1	290.8	283.8	250.5	225.7	196.2	167.3	136.1	110.5	85.0
	26年産米	0.0	0.2	178.0	282.8	277.0	245.3	221.4	192.8	164.6	134.0	108.9	83.8
	1年古米(25年産)	40.1	18.6	9.4	5.1	4.4	3.2	2.7	2.3	1.9	1.5	1.3	1.0
	販売段階	13.4	9.6	15.1	23.0	20.1	22.1	18.4	16.1	14.7	14.3	12.6	11.6
	26年産米	0.0	0.0	9.4	16.4	15.4	18.8	16.0	14.0	13.3	13.3	11.7	10.9
	1年古米(25年産)	9.6	6.7	3.5	4.9	3.5	2.4	1.7	1.3	0.9	0.7	0.6	0.5
富山	出荷+販売段階	28.0	19.0	85.1	112.4	103.8	94.5	85.5	75.9	61.9	51.3	41.0	31.5
	26年産米	0.0	0.2	71.1	100.0	97.8	89.7	81.3	72.5	60.5	49.9	40.0	30.5
	1年古米(25年産)	27.1	18.1	13.4	11.8	5.5	4.4	3.8	3.1	1.1	1.1	0.8	0.7
	出荷段階	23.2	15.4	79.9	105.4	97.3	88.1	80.1	71.2	56.5	45.3	36.4	27.3
	26年産米	0.0	0.1	68.5	96.5	94.0	85.2	77.5	69.1	56.4	45.2	36.4	27.3
	1年古米(25年産)	23.0	15.2	11.3	8.8	3.2	2.9	2.5	2.1	0.1	0.1	0.0	0.0
	販売段階	4.8	3.6	5.2	7.1	6.5	6.4	5.4	4.7	5.3	6.0	4.6	4.2
	26年産米	0.0	0.1	2.6	3.6	3.8	4.5	3.8	3.4	4.0	4.7	3.6	3.3
	1年古米(25年産)	4.1	2.9	2.1	3.1	2.3	1.5	1.3	1.0	1.1	1.1	0.8	0.7
石川	出荷+販売段階	13.2	10.3	56.9	66.3	63.0	59.6	54.3	49.7	43.0	36.9	32.1	25.8
	26年産米	0.0	1.9	51.1	62.0	59.7	56.6	51.4	47.5	41.2	35.7	31.1	25.0
	1年古米(25年産)	13.0	8.3	5.7	4.3	3.4	3.0	2.9	2.2	1.7	1.2	0.9	0.7
	出荷段階	11.2	7.9	40.9	48.1	47.1	45.0	42.5	40.2	34.7	30.1	26.8	22.1
	26年産米	0.0	1.0	36.0	44.3	44.2	42.7	40.8	39.0	34.0	29.6	26.4	21.7
	1年古米(25年産)	11.1	6.9	4.9	3.8	3.0	2.3	1.7	1.2	0.7	0.5	0.4	0.3
	販売段階	1.9	2.4	16.0	18.2	15.9	14.6	11.8	9.5	8.3	6.8	5.3	3.7
	26年産米	0.0	0.9	15.1	17.7	15.5	13.9	10.6	8.5	7.3	6.1	4.7	3.3
	1年古米(25年産)	1.9	1.4	0.9	0.5	0.4	0.7	1.2	1.0	1.0	0.7	0.5	0.4
福井	出荷+販売段階	18.3	16.3	44.8	67.9	62.3	55.9	51.1	43.5	36.6	30.8	25.1	19.9
	26年産米	0.0	2.6	34.4	59.0	54.3	50.0	45.6	39.7	34.6	29.0	23.7	18.8
	1年古米(25年産)	17.5	13.2	10.0	8.5	7.7	5.7	5.4	3.7	2.0	1.7	1.4	1.1
	出荷段階	14.5	11.8	38.4	56.9	52.9	44.9	41.8	36.1	29.4	24.5	19.9	15.7
	26年産米	0.0	1.5	30.6	53.5	49.7	43.2	40.2	34.7	29.4	24.4	19.9	15.7
	1年古米(25年産)	14.5	10.3	7.8	3.4	3.2	1.6	1.6	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	3.8	4.5	6.4	11.0	9.4	11.0	9.4	7.4	7.2	6.3	5.2	4.2
	26年産米	0.0	1.1	3.7	5.5	4.6	6.7	5.4	5.0	5.2	4.5	3.8	3.2
	1年古米(25年産)	3.0	2.8	2.2	5.2	4.5	4.0	3.8	2.3	2.0	1.7	1.3	1.0
岐阜	出荷+販売段階	15.1	12.6	14.4	21.4	30.4	36.0	33.4	31.1	28.5	25.7	22.6	19.5
	26年産米	0.0	0.4	4.5	13.1	23.2	29.8	28.2	26.6	24.9	22.9	20.3	17.4
	1年古米(25年産)	13.7	11.1	9.1	7.5	6.6	5.4	4.5	3.8	2.9	2.2	1.7	1.5
	出荷段階	12.5	10.2	11.6	17.2	26.0	30.5	28.5	26.7	24.1	21.8	19.1	16.1
	26年産米	0.0	0.2	4.0	11.2	20.7	26.5	25.3	24.0	22.3	20.7	18.3	15.6
	1年古米(25年産)	11.9	9.6	7.6	6.1	5.3	4.0	3.2	2.7	1.8	1.1	0.8	0.5
	販売段階	2.6	2.5	2.8	4.1	4.4	5.4	4.9	4.5	4.4	3.9	3.5	3.4
	26年産米	0.0	0.2	0.5	2.0	2.5	3.3	2.9	2.6	2.6	2.2	1.9	1.8
	1年古米(25年産)	1.8	1.5	1.5	1.5	1.2	1.5	1.3	1.2	1.1	1.0	0.9	1.0
愛知	出荷+販売段階	16.2	13.9	19.5	29.6	36.9	44.5	41.6	37.7	33.4	29.2	24.3	19.6
	26年産米	0.0	1.3	9.8	22.3	30.6	38.7	36.4	33.2	29.7	26.0	22.0	18.0
	1年古米(25年産)	15.0	11.7	9.0	7.0	6.0	5.6	5.1	4.4	3.6	3.0	2.3	1.5
	出荷段階	13.4	11.4	17.1	23.8	28.9	36.3	34.2	31.0	27.7	24.0	20.8	16.9
	26年産米	0.0	1.0	9.1	20.4	28.2	35.5	33.5	30.4	27.3	23.6	20.3	16.5
	1年古米(25年産)	13.3	10.4	7.9	3.3	0.6	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3
	販売段階	2.8	2.5	2.4	5.8	8.0	8.2	7.5	6.8	5.7	5.2	3.6	2.7
	26年産米	0.0	0.3	0.8	1.8	2.4	3.2	2.9	2.7	2.5	2.5	1.6	1.5
	1年古米(25年産)	1.7	1.3	1.1	3.7	5.4	4.9	4.4	3.9	3.2	2.7	1.9	1.2

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## (三重から奈良)

(単位:玄米千トン)

		26年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷+販売段階	7.4	11.0	42.6	46.8	47.9	43.7	40.0	35.8	30.6	23.4	18.5	14.1
	26年産米	0.0	6.5	38.9	43.7	45.1	41.2	38.3	34.4	29.5	22.5	17.7	13.4
	1年古米(25年産)	6.8	4.0	3.4	2.9	2.6	2.3	1.6	1.2	1.0	0.8	0.7	0.5
	出荷段階	4.9	6.9	36.7	41.6	43.1	39.0	35.9	32.4	27.5	20.6	15.9	11.5
	26年産米	0.0	4.3	34.5	39.7	41.4	37.6	35.0	31.7	26.9	20.1	15.5	11.1
	1年古米(25年産)	4.8	2.6	2.2	1.9	1.7	1.4	0.9	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4
	販売段階	2.5	4.1	5.9	5.2	4.8	4.7	4.1	3.4	3.1	2.8	2.6	2.6
	26年産米	0.0	2.3	4.4	3.9	3.7	3.6	3.3	2.8	2.6	2.4	2.2	2.3
	1年古米(25年産)	2.0	1.4	1.2	1.1	0.9	0.9	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2
滋賀	出荷+販売段階	23.7	18.9	54.2	65.5	65.4	62.3	56.9	51.2	46.8	40.8	31.2	24.7
	26年産米	0.0	0.7	40.0	52.9	53.2	54.7	50.6	46.2	42.8	37.7	28.6	22.6
	1年古米(25年産)	22.7	17.4	13.5	12.1	11.8	7.3	6.1	4.9	4.0	3.0	2.5	2.1
	出荷段階	19.9	14.8	47.8	57.9	56.9	54.5	50.5	45.7	42.1	35.8	26.9	21.1
	26年産米	0.0	0.5	38.0	50.3	50.4	50.9	47.5	43.4	40.2	34.4	25.8	20.2
	1年古米(25年産)	19.7	14.1	9.7	7.5	6.4	3.5	2.9	2.2	1.9	1.5	1.1	0.9
	販売段階	3.8	4.1	6.4	7.6	8.5	7.8	6.5	5.6	4.7	5.0	4.3	3.6
	26年産米	0.0	0.2	2.0	2.6	2.7	3.7	3.1	2.7	2.5	3.3	2.8	2.4
	1年古米(25年産)	3.0	3.3	3.9	4.6	5.4	3.7	3.1	2.6	2.0	1.5	1.4	1.2
京都	出荷+販売段階	3.4	2.3	7.8	12.1	12.4	13.0	11.6	10.9	9.8	8.5	7.2	5.8
	26年産米	0.0	0.0	6.4	11.2	11.6	12.4	11.1	10.5	9.6	8.2	7.0	5.7
	1年古米(25年産)	3.2	2.1	1.3	0.8	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1
	出荷段階	2.7	1.7	6.8	10.5	10.9	11.6	10.4	9.8	8.7	7.4	6.1	4.9
	26年産米	0.0	0.0	5.8	10.4	10.9	11.6	10.4	9.8	8.7	7.4	6.1	4.9
	1年古米(25年産)	2.7	1.6	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.8	0.7	1.1	1.6	1.5	1.4	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	0.9
	26年産米	0.0	0.0	0.5	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.8	0.8	1.0	0.8
	1年古米(25年産)	0.6	0.5	0.4	0.7	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1
大阪	出荷+販売段階	0.6	0.5	0.5	0.9	1.1	2.1	2.0	1.6	1.5	1.3	1.1	0.8
	26年産米	0.0	0.0	0.2	0.7	0.9	2.0	1.9	1.6	1.5	1.3	1.1	0.8
	1年古米(25年産)	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	出荷段階	0.5	0.4	0.4	0.8	1.0	1.9	1.7	1.4	1.2	1.1	0.9	0.7
	26年産米	0.0	0.0	0.2	0.7	0.9	1.8	1.6	1.4	1.2	1.1	0.9	0.7
	1年古米(25年産)	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1
	26年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1
	1年古米(25年産)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
兵庫	出荷+販売段階	11.5	7.8	17.8	33.4	41.8	38.6	32.7	27.3	24.0	20.5	17.1	13.9
	26年産米	0.0	0.0	13.2	31.7	40.5	37.7	32.1	26.8	23.6	20.3	16.9	13.7
	1年古米(25年産)	11.2	7.5	4.4	1.5	1.1	0.8	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1
	出荷段階	9.0	5.7	15.5	30.1	38.6	35.7	30.1	24.9	21.5	18.2	15.2	12.1
	26年産米	0.0	0.0	12.3	29.9	38.5	35.6	30.0	24.8	21.5	18.2	15.2	12.1
	1年古米(25年産)	9.0	5.7	3.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	2.5	2.1	2.3	3.3	3.2	2.9	2.6	2.4	2.5	2.3	2.0	1.8
	26年産米	0.0	0.0	0.9	1.8	2.0	2.1	2.1	1.9	2.1	2.0	1.7	1.6
	1年古米(25年産)	2.2	1.9	1.2	1.3	1.0	0.7	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1
奈良	出荷+販売段階	4.5	3.8	3.7	8.5	11.8	11.0	10.2	9.3	7.1	5.9	4.6	3.6
	26年産米	0.0	0.0	1.1	6.2	9.5	8.8	8.1	7.3	6.3	5.2	4.0	3.2
	1年古米(25年産)	4.2	3.5	2.5	2.3	2.2	2.2	2.1	2.0	0.8	0.7	0.6	0.4
	出荷段階	3.8	3.3	3.2	7.3	10.5	9.9	9.4	8.6	5.8	4.7	3.7	2.9
	26年産米	0.0	0.0	1.1	5.3	8.6	8.0	7.4	6.6	5.8	4.7	3.7	2.9
	1年古米(25年産)	3.8	3.3	2.1	2.0	2.0	2.0	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.6	0.4	0.5	1.2	1.2	1.1	0.8	0.8	1.3	1.2	1.0	0.7
	26年産米	0.0	0.0	0.0	0.9	1.0	0.9	0.7	0.7	0.6	0.5	0.4	0.3
	1年古米(25年産)	0.4	0.2	0.4	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.8	0.7	0.6	0.4

注: 本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## (和歌山から山口)

(単位:玄米千トン)

		26年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷+販売段階	0.7	0.6	0.5	1.9	2.1	2.1	1.9	1.8	1.7	1.5	1.3	1.1
	26年産米	0.0	0.0	0.0	1.5	1.8	1.7	1.6	1.5	1.4	1.2	1.1	0.9
	1年古米(25年産)	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2
	出荷段階	0.5	0.5	0.4	1.6	1.5	1.2	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6
	26年産米	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	1.2	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6
	1年古米(25年産)	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.2	0.1	0.1	0.3	0.6	0.9	0.9	0.8	0.8	0.7	0.6	0.6
	26年産米	0.0	0.0	0.0	0.2	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3
	1年古米(25年産)	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2
鳥取	出荷+販売段階	11.6	7.4	13.3	26.7	32.1	34.9	32.6	30.5	26.1	20.9	17.1	13.2
	26年産米	0.0	0.0	8.0	22.2	28.0	31.4	29.5	28.1	24.4	19.6	16.1	12.3
	1年古米(25年産)	11.5	7.4	5.2	4.4	4.0	3.4	3.0	2.3	1.6	1.2	1.0	0.9
	出荷段階	9.4	5.5	11.6	24.3	29.4	32.2	28.9	25.8	22.3	17.3	14.1	10.6
	26年産米	0.0	0.0	7.6	21.2	26.8	29.9	27.1	24.6	21.5	16.7	13.6	10.2
	1年古米(25年産)	9.4	5.5	4.0	3.0	2.6	2.3	1.7	1.2	0.9	0.6	0.4	0.4
	販売段階	2.2	1.9	1.6	2.5	2.7	2.7	3.7	4.7	3.7	3.6	3.1	2.6
	26年産米	0.0	0.0	0.4	1.0	1.3	1.5	2.4	3.5	3.0	2.9	2.5	2.1
	1年古米(25年産)	2.1	1.8	1.1	1.4	1.3	1.2	1.3	1.1	0.7	0.6	0.6	0.5
島根	出荷+販売段階	12.5	9.8	23.2	33.9	33.7	35.6	35.8	32.8	29.1	26.4	23.4	20.2
	26年産米	0.0	0.2	15.2	27.7	28.0	31.1	31.8	29.8	27.1	24.7	21.9	18.9
	1年古米(25年産)	11.5	8.9	7.4	5.7	5.3	4.2	3.6	2.7	1.7	1.3	1.2	1.0
	出荷段階	10.3	7.9	20.8	28.5	28.5	30.0	30.4	28.4	25.8	23.1	20.4	17.5
	26年産米	0.0	0.1	14.5	26.1	26.3	29.2	30.2	28.2	25.6	23.0	20.2	17.4
	1年古米(25年産)	10.3	7.7	6.3	2.4	2.2	0.8	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
	販売段階	2.2	2.0	2.4	5.4	5.2	5.6	5.3	4.4	3.4	3.2	3.0	2.6
	26年産米	0.0	0.0	0.8	1.6	1.6	1.9	1.6	1.5	1.5	1.7	1.6	1.4
	1年古米(25年産)	1.2	1.1	1.0	3.3	3.1	3.4	3.4	2.5	1.5	1.2	1.0	0.9
岡山	出荷+販売段階	21.9	15.9	18.8	31.1	41.0	48.6	50.2	46.0	42.1	35.9	30.4	24.4
	26年産米	0.0	0.0	6.9	20.1	32.4	41.8	44.8	41.7	37.8	32.8	28.6	23.1
	1年古米(25年産)	21.6	15.6	11.7	10.9	8.4	6.7	5.3	4.2	4.2	3.1	1.7	1.2
	出荷段階	19.3	14.1	16.7	25.3	32.6	40.6	43.4	40.3	36.0	30.3	25.6	20.3
	26年産米	0.0	0.0	6.4	18.9	27.6	36.4	39.9	37.3	33.6	28.5	24.7	19.7
	1年古米(25年産)	19.2	14.0	10.1	6.4	5.0	4.2	3.5	3.0	2.5	1.8	0.8	0.6
	販売段階	2.7	1.8	2.1	5.8	8.3	8.0	6.9	5.7	6.0	5.7	4.8	4.1
	26年産米	0.0	0.0	0.5	1.2	4.8	5.4	5.0	4.3	4.2	4.3	3.8	3.4
	1年古米(25年産)	2.4	1.7	1.5	4.4	3.4	2.5	1.8	1.3	1.7	1.3	0.9	0.7
広島	出荷+販売段階	11.9	8.5	19.3	38.5	38.9	34.7	31.3	27.8	23.7	20.0	17.2	13.9
	26年産米	0.0	0.1	14.4	35.2	36.2	32.5	29.6	26.4	22.6	19.1	16.4	13.2
	1年古米(25年産)	11.6	8.3	4.7	3.2	2.6	2.1	1.6	1.3	1.1	0.9	0.7	0.6
	出荷段階	8.5	5.3	16.0	32.9	33.2	29.4	26.3	23.3	18.3	15.2	12.9	10.0
	26年産米	0.0	0.1	13.4	32.8	33.0	29.4	26.3	23.3	18.3	15.2	12.9	10.0
	1年古米(25年産)	8.4	5.2	2.6	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	3.4	3.2	3.3	5.6	5.7	5.3	5.0	4.5	5.5	4.8	4.3	3.9
	26年産米	0.0	0.0	1.0	2.4	3.2	3.2	3.4	3.1	4.3	3.9	3.5	3.2
	1年古米(25年産)	3.2	3.1	2.1	3.0	2.4	2.0	1.6	1.3	1.1	0.9	0.7	0.6
山口	出荷+販売段階	13.9	10.6	18.4	37.7	39.8	37.6	36.2	33.3	30.3	26.2	22.7	18.3
	26年産米	0.0	0.4	11.3	30.4	33.3	32.0	31.8	29.7	27.5	24.0	20.9	16.7
	1年古米(25年産)	13.4	10.0	6.9	7.3	6.5	5.6	4.4	3.6	2.8	2.1	1.8	1.6
	出荷段階	12.4	9.3	17.4	34.1	36.5	34.2	33.4	30.5	26.9	23.6	20.5	16.4
	26年産米	0.0	0.2	11.0	29.5	32.4	30.8	30.7	28.6	25.6	22.5	19.5	15.6
	1年古米(25年産)	12.3	9.0	6.3	4.6	4.1	3.3	2.6	2.0	1.4	1.1	1.0	0.8
	販売段階	1.5	1.2	1.0	3.6	3.3	3.5	2.9	2.8	3.4	2.6	2.3	1.9
	26年産米	0.0	0.1	0.3	0.9	0.9	1.2	1.0	1.1	1.9	1.5	1.4	1.2
	1年古米(25年産)	1.2	1.0	0.7	2.7	2.4	2.3	1.8	1.6	1.4	1.0	0.8	0.7

注:本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## (徳島から佐賀)

(単位: 玄米千トン)

		26年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷+販売段階	3.3	9.2	16.0	13.8	12.8	11.6	10.3	9.3	7.7	6.2	4.9	3.6
	26年産米	0.0	7.3	14.8	13.1	12.2	11.2	10.0	9.0	7.5	6.1	4.8	3.5
	1年古米(25年産)	2.7	1.5	0.9	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1
	出荷段階	1.5	7.1	12.7	10.4	9.5	8.6	7.6	6.9	3.3	2.8	2.1	1.4
	26年産米	0.0	6.4	12.3	10.3	9.5	8.5	7.6	6.9	3.3	2.7	2.1	1.4
	1年古米(25年産)	1.5	0.7	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	1.9	2.1	3.3	3.4	3.3	3.1	2.7	2.4	4.4	3.4	2.8	2.2
	26年産米	0.0	0.9	2.5	2.8	2.8	2.6	2.4	2.1	4.2	3.3	2.7	2.2
	1年古米(25年産)	1.3	0.8	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
香川	出荷+販売段階	9.9	8.1	10.2	17.7	27.5	25.8	23.9	21.9	19.2	16.9	14.0	11.7
	26年産米	0.0	0.2	3.8	14.0	24.8	23.1	21.3	19.3	17.3	15.3	12.8	10.5
	1年古米(25年産)	9.1	7.1	5.7	3.2	2.1	2.2	2.2	2.0	1.4	1.2	0.9	0.7
	出荷段階	8.2	6.3	8.2	15.0	24.2	22.5	20.7	18.7	16.3	13.9	11.7	9.5
	26年産米	0.0	0.2	3.6	13.4	23.8	22.1	20.3	18.4	16.2	13.9	11.7	9.5
	1年古米(25年産)	8.2	6.2	4.6	1.6	0.4	0.4	0.4	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0
	販売段階	1.8	1.8	2.0	2.7	3.3	3.3	3.2	3.1	2.9	2.9	2.3	2.1
	26年産米	0.0	0.0	0.2	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1	1.4	1.1	1.0
	1年古米(25年産)	0.9	0.9	1.2	1.6	1.7	1.8	1.7	1.6	1.3	1.2	0.9	0.7
愛媛	出荷+販売段階	5.4	5.8	8.6	15.0	17.1	15.7	14.1	12.8	11.4	9.8	8.3	7.0
	26年産米	0.0	1.8	5.2	11.8	14.6	13.5	11.9	10.9	9.7	8.3	7.1	5.9
	1年古米(25年産)	5.4	4.0	3.4	3.2	2.5	2.3	2.1	1.9	1.7	1.5	1.2	1.0
	出荷段階	5.1	5.4	8.1	14.4	14.4	13.2	11.7	10.6	9.4	8.0	6.8	5.7
	26年産米	0.0	1.8	5.0	11.5	14.4	13.2	11.7	10.6	9.4	8.0	6.8	5.7
	1年古米(25年産)	5.1	3.7	3.1	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.4	0.4	0.4	0.6	2.7	2.5	2.4	2.2	2.0	1.8	1.5	1.3
	26年産米	0.0	0.1	0.1	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.2
	1年古米(25年産)	0.3	0.3	0.3	0.3	2.4	2.2	2.1	1.9	1.7	1.5	1.2	1.0
高知	出荷+販売段階	4.3	11.2	10.6	11.1	10.1	8.6	7.6	6.7	4.9	4.0	3.2	2.3
	26年産米	0.7	8.2	8.1	8.9	8.0	6.8	5.9	5.1	3.7	3.0	2.3	1.5
	1年古米(25年産)	2.8	2.2	1.8	1.6	1.5	1.4	1.4	1.3	1.1	1.0	0.9	0.7
	出荷段階	2.4	7.2	6.8	6.8	6.2	5.3	4.6	3.9	2.8	2.2	1.7	0.6
	26年産米	0.5	5.7	5.7	6.2	5.6	4.7	4.1	3.4	2.4	1.9	1.4	0.4
	1年古米(25年産)	1.8	1.4	1.1	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2
	販売段階	1.9	4.0	3.8	4.4	3.9	3.3	3.0	2.8	2.1	1.7	1.5	1.7
	26年産米	0.1	2.5	2.5	2.8	2.4	2.0	1.8	1.7	1.4	1.1	0.9	1.1
	1年古米(25年産)	0.9	0.7	0.7	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.7	0.6	0.6	0.6
福岡	出荷+販売段階	17.4	12.2	18.1	37.0	45.5	58.0	60.7	56.7	49.5	42.3	35.2	27.8
	26年産米	0.0	0.1	10.3	29.8	39.4	53.0	56.2	52.8	46.2	39.6	32.9	25.8
	1年古米(25年産)	16.9	11.7	7.5	6.9	5.8	4.8	4.3	3.8	3.2	2.7	2.2	1.9
	出荷段階	15.3	10.5	14.2	28.6	37.9	51.4	55.1	51.1	44.5	37.7	31.5	24.3
	26年産米	0.0	0.1	7.5	24.8	34.7	48.9	52.9	49.6	43.2	36.6	30.6	23.7
	1年古米(25年産)	15.2	10.4	6.5	3.7	3.1	2.5	2.2	1.5	1.3	1.1	0.8	0.7
	販売段階	2.1	1.7	4.0	8.4	7.6	6.6	5.6	5.6	4.9	4.6	3.7	3.4
	26年産米	0.0	0.0	2.7	4.9	4.7	4.0	3.4	3.2	3.0	3.0	2.3	2.1
	1年古米(25年産)	1.7	1.4	0.9	3.2	2.7	2.4	2.1	2.3	1.9	1.6	1.4	1.2
佐賀	出荷+販売段階	10.3	7.9	7.8	25.7	30.7	33.6	33.0	31.7	29.0	25.1	21.9	17.6
	26年産米	0.0	0.4	2.9	22.7	28.1	31.6	31.4	30.7	28.3	24.7	21.7	17.4
	1年古米(25年産)	10.1	7.3	4.7	2.8	2.5	1.9	1.5	1.0	0.7	0.4	0.2	0.1
	出荷段階	8.8	6.5	6.4	22.0	27.2	30.5	30.3	29.6	27.3	23.4	20.5	16.3
	26年産米	0.0	0.3	2.6	21.8	26.9	30.3	30.1	29.5	27.2	23.3	20.5	16.3
	1年古米(25年産)	8.8	6.2	3.8	0.3	0.3	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	1.4	1.4	1.3	3.6	3.5	3.1	2.7	2.2	1.8	1.8	1.4	1.2
	26年産米	0.0	0.1	0.3	1.0	1.2	1.3	1.2	1.1	1.1	1.4	1.2	1.1
	1年古米(25年産)	1.3	1.1	0.9	2.5	2.2	1.7	1.4	1.0	0.7	0.4	0.2	0.1

注: 本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。



## (長崎から沖縄)

(単位:玄米千トン)

		26年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷+販売段階	3.4	2.9	3.2	6.5	11.1	10.7	11.0	10.4	9.5	6.8	5.8	4.5
	26年産米	0.0	0.3	1.6	5.3	10.1	10.0	10.4	10.1	9.4	6.7	5.7	4.5
	1年古米(25年産)	3.4	2.6	1.6	1.2	0.9	0.7	0.5	0.4	0.2	0.1	0.0	0.0
	出荷段階	3.2	2.6	2.8	5.5	10.0	9.9	10.3	9.9	9.2	6.4	5.4	4.2
	26年産米	0.0	0.2	1.4	4.9	9.6	9.6	10.0	9.7	9.1	6.4	5.4	4.2
	1年古米(25年産)	3.2	2.4	1.4	0.6	0.5	0.3	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.3	0.3	0.4	1.0	1.0	0.8	0.7	0.6	0.4	0.4	0.3	0.3
	26年産米	0.0	0.0	0.2	0.4	0.6	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2
	1年古米(25年産)	0.2	0.2	0.2	0.6	0.5	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0
熊本	出荷+販売段階	17.9	15.9	14.1	39.3	50.3	53.8	49.0	43.0	36.5	30.4	25.3	19.2
	26年産米	0.0	2.8	5.9	34.2	46.4	50.9	46.6	41.0	35.0	29.1	24.4	18.5
	1年古米(25年産)	17.1	12.6	7.8	4.9	3.7	2.8	2.4	1.8	1.4	1.3	0.8	0.6
	出荷段階	13.7	11.6	9.6	29.5	40.0	44.3	41.0	36.0	30.5	24.2	19.8	15.0
	26年産米	0.0	1.7	3.9	27.1	38.3	42.9	40.0	35.3	30.3	24.0	19.8	15.0
	1年古米(25年産)	13.6	9.8	5.7	2.4	1.8	1.4	1.0	0.7	0.3	0.3	0.0	0.0
	販売段階	4.2	4.4	4.5	9.8	10.2	9.5	8.0	6.9	6.0	6.2	5.4	4.2
	26年産米	0.0	1.1	2.0	7.1	8.2	8.0	6.6	5.7	4.8	5.1	4.6	3.5
	1年古米(25年産)	3.5	2.7	2.2	2.6	1.9	1.4	1.3	1.2	1.1	1.0	0.8	0.6
大分	出荷+販売段階	8.6	7.0	5.5	16.2	24.2	23.7	22.1	20.2	17.7	14.8	12.6	10.1
	26年産米	0.0	0.4	1.0	12.4	21.0	21.2	20.1	18.1	16.1	13.5	11.4	9.1
	1年古米(25年産)	7.6	5.6	3.7	3.0	2.5	1.9	1.5	1.5	1.1	0.9	0.7	0.6
	出荷段階	6.7	5.2	3.7	12.5	19.4	19.0	17.9	16.2	14.1	11.8	10.0	8.1
	26年産米	0.0	0.3	0.7	10.4	17.6	17.7	17.0	15.3	13.5	11.2	9.5	7.7
	1年古米(25年産)	6.0	4.3	2.6	1.8	1.5	1.0	0.8	0.7	0.5	0.4	0.4	0.3
	販売段階	1.9	1.8	1.8	3.6	4.8	4.7	4.2	3.9	3.6	3.0	2.6	2.0
	26年産米	0.0	0.1	0.3	2.0	3.3	3.5	3.1	2.8	2.6	2.3	1.9	1.4
	1年古米(25年産)	1.5	1.3	1.1	1.2	1.1	0.8	0.7	0.8	0.7	0.4	0.4	0.3
宮崎	出荷+販売段階	8.0	8.5	5.5	11.4	13.6	13.8	12.3	10.7	8.7	6.9	5.1	3.7
	26年産米	2.8	4.8	2.9	9.6	11.9	12.2	11.2	9.9	8.1	6.4	4.8	3.4
	1年古米(25年産)	4.2	3.0	2.2	1.4	1.3	1.2	0.9	0.7	0.5	0.3	0.2	0.2
	出荷段階	5.9	5.8	3.7	9.2	11.3	11.4	10.2	8.9	7.1	5.2	3.5	2.3
	26年産米	2.4	3.3	1.9	8.2	10.2	10.5	9.6	8.5	6.8	5.1	3.5	2.3
	1年古米(25年産)	3.3	2.4	1.8	1.1	1.0	0.8	0.6	0.4	0.3	0.2	0.0	0.0
	販売段階	2.1	2.6	1.9	2.2	2.3	2.3	2.1	1.8	1.6	1.7	1.6	1.4
	26年産米	0.4	1.5	1.0	1.5	1.7	1.7	1.6	1.4	1.3	1.4	1.3	1.2
	1年古米(25年産)	0.8	0.6	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
鹿児島	出荷+販売段階	10.4	14.8	11.2	19.8	22.6	22.5	21.0	19.6	17.5	15.9	13.3	10.7
	26年産米	0.6	6.7	4.8	14.8	18.5	20.0	18.8	17.3	15.3	13.9	11.4	8.9
	1年古米(25年産)	8.8	7.2	5.6	4.2	3.5	2.1	1.9	2.0	1.9	1.8	1.7	1.5
	出荷段階	7.0	8.5	6.0	13.4	16.0	16.7	15.9	14.4	12.8	11.2	8.8	7.0
	26年産米	0.3	3.0	1.9	10.4	13.7	15.7	15.2	13.8	12.3	10.8	8.4	6.7
	1年古米(25年産)	6.6	5.4	4.1	2.9	2.3	1.0	0.7	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3
	販売段階	3.4	6.3	5.1	6.4	6.6	5.8	5.1	5.2	4.7	4.7	4.5	3.6
	26年産米	0.3	3.7	2.9	4.4	4.8	4.3	3.6	3.6	3.0	3.1	3.0	2.2
	1年古米(25年産)	2.2	1.7	1.4	1.3	1.2	1.1	1.2	1.4	1.5	1.4	1.3	1.2
沖縄	出荷+販売段階	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3
	26年産米	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年古米(25年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	出荷段階	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年産米	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年古米(25年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
	26年産米	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年古米(25年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

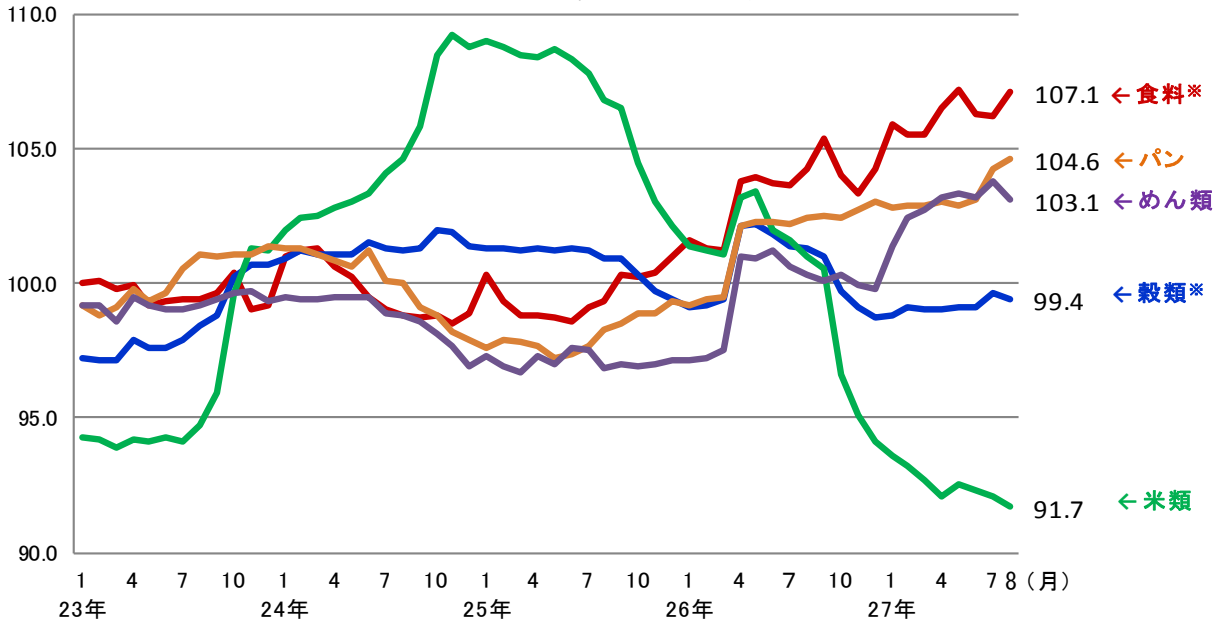
注: 本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

総務省が公表している消費者物価指数によると、平成27年8月の米類の指数は92ポイントであり、前年同月との比較では▲9ポイント。

### Ⅲ 小売・消費段階の動向

#### (1) 消費者物価指数の推移

(図) 消費者物価指数の推移



- 注：1 図中の実線は、平成22年の平均価格を100とした数値となる。  
 2 図中の数値は、平成27年8月の消費者物価指数となる。  
 3 図中の食料とは穀類、魚介類、肉類等を、穀類とは米類、パン、めん類、他の穀類をいう。

(表) 消費者物価指数の推移 (対前年同月比)

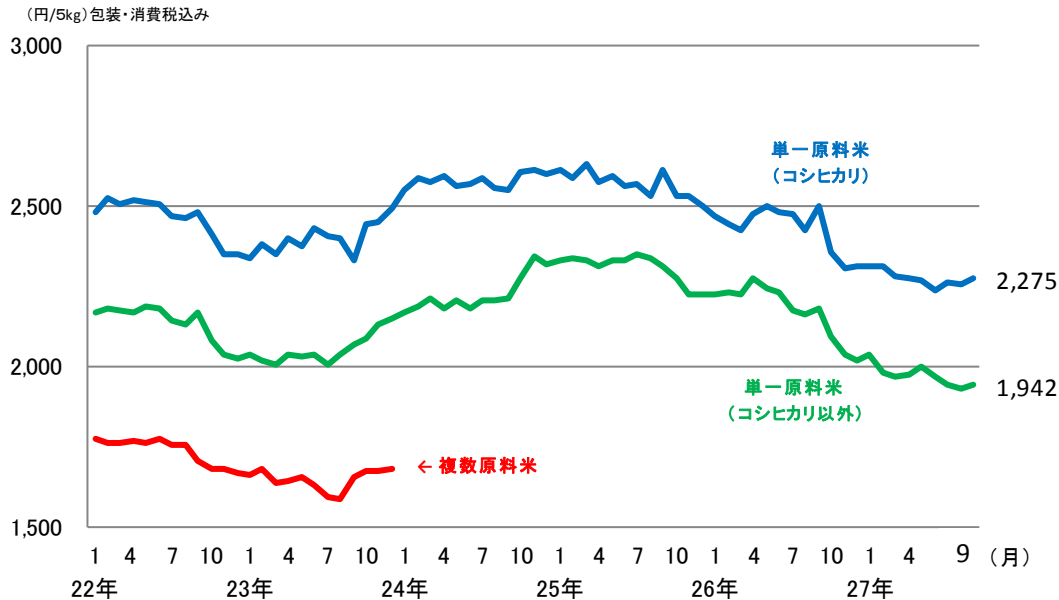
	食料		穀類		米類		うるち米	パン		めん類		
	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比		対前年 (同月)比	対前年 (同月)比			
平成17年	96.8	▲0.9%	98.5	▲6.6%	109.8	▲13.3%	109.8	▲12.9%	91.6	▲1.1%	91.2	▲0.9%
平成18年	97.3	0.5%	96.8	▲1.7%	106.4	▲3.1%	106.5	▲3.0%	91.5	▲0.1%	90.1	▲1.2%
平成19年	97.6	0.3%	96.4	▲0.4%	104.5	▲1.8%	104.7	▲1.7%	92.1	0.7%	89.7	▲0.4%
平成20年	100.1	2.6%	102.6	6.4%	103.2	▲1.2%	103.4	▲1.2%	103.8	12.7%	100.2	11.7%
平成21年	100.3	0.2%	103.3	0.7%	103.6	0.4%	103.6	0.2%	104.0	0.2%	101.9	1.7%
平成22年	100.0	▲0.3%	100.0	▲3.2%	100.0	▲3.5%	100.0	▲3.5%	100.0	▲3.8%	100.0	▲1.9%
平成23年	99.6	▲0.4%	98.4	▲1.6%	96.0	▲4.0%	95.9	▲4.1%	100.2	0.2%	99.2	▲0.8%
平成24年	99.7	0.1%	101.3	2.9%	104.8	9.2%	105.1	9.6%	100.0	▲0.2%	98.8	▲0.4%
平成25年	99.6	▲0.1%	100.8	▲0.5%	106.9	2.0%	107.3	2.1%	98.1	▲1.9%	97.1	▲1.7%
平成26年	103.4	3.8%	100.4	▲0.4%	100.1	▲6.4%	100.1	▲6.7%	101.7	3.7%	99.7	2.7%
平成27年1月	105.9	4.2%	98.8	▲0.3%	93.6	▲7.7%	93.3	▲8.3%	102.8	3.6%	101.4	4.4%
2月	105.5	4.1%	99.1	▲0.1%	93.2	▲7.9%	92.8	▲8.4%	102.9	3.5%	102.4	5.3%
3月	105.5	4.2%	99.0	▲0.4%	92.7	▲8.3%	92.3	▲8.9%	102.9	3.4%	102.7	5.3%
4月	106.5	2.6%	99.0	▲3.0%	92.1	▲10.8%	91.6	▲11.3%	103.0	0.9%	103.2	2.2%
5月	107.2	3.2%	99.1	▲3.0%	92.5	▲10.5%	92.1	▲11.0%	102.9	0.6%	103.3	2.4%
6月	106.3	2.5%	99.1	▲2.7%	92.3	▲9.5%	91.8	▲10.0%	103.1	0.8%	103.2	2.0%
7月	106.2	2.5%	99.6	▲1.8%	92.1	▲9.4%	91.6	▲9.9%	104.2	2.0%	103.8	3.2%
8月	107.1	2.8%	99.4	▲1.9%	91.7	▲9.2%	91.2	▲9.8%	104.6	2.1%	103.1	2.8%

- 資料：総務省「消費者物価指数」(平成22年基準)  
 注：1 表中の数値は、平成22年の平均価格を100として指数化したものである。  
 2 食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。  
 3 穀類は、米類(うるち米、もち米)、パン、めん類、他の穀類からなる。  
 4 平成17年から平成26年のデータは年平均、平成27年1月以降は月次データを用いている。

総務省が公表している小売物価統計によると、平成27年9月のうるち米の小売価格は、前年同月との比較で、単一原料米（コシヒカリ）は▲9%、単一原料米（コシヒカリ以外）は▲11%。

(2) 小売物価統計の推移

(図) 小売物価統計の推移



(表) 小売物価統計の推移

(単位：円/5kg 包装・消費税込み)

	うるち米				
	単一原料米 (コシヒカリ)	対前年 (同月)比	単一原料米 (コシヒカリ以外)	対前年 (同月)比	複数原料米
平成17年	2,804	-	2,375	-	2,040
平成18年	2,744	▲2.1%	2,341	▲1.4%	1,996
平成19年	2,670	▲2.7%	2,288	▲2.3%	1,950
平成20年	2,610	▲2.2%	2,270	▲0.8%	1,832
平成21年	2,531	▲3.0%	2,201	▲3.0%	1,812
平成22年	2,462	▲2.7%	2,136	▲3.0%	1,739
平成23年	2,399	▲2.5%	2,053	▲3.9%	1,649
平成24年	2,577	7.4%	2,223	8.3%	-
平成25年	2,567	▲0.4%	2,307	3.8%	-
平成26年	2,428	▲5.4%	2,173	▲5.8%	-
平成27年1月	2,311	▲6.3%	2,035	▲8.5%	-
2月	2,314	▲5.2%	1,981	▲11.1%	-
3月	2,279	▲5.9%	1,969	▲11.3%	-
4月	2,271	▲8.2%	1,972	▲13.4%	-
5月	2,265	▲9.3%	2,002	▲10.7%	-
6月	2,239	▲9.8%	1,970	▲11.7%	-
7月	2,263	▲8.5%	1,946	▲10.6%	-
8月	2,253	▲6.9%	1,931	▲10.6%	-
9月	2,275	▲8.9%	1,942	▲10.8%	-

資料：総務省「小売物価統計」

注1：東京都区部の数値である。

2：特売を除いた価格である。

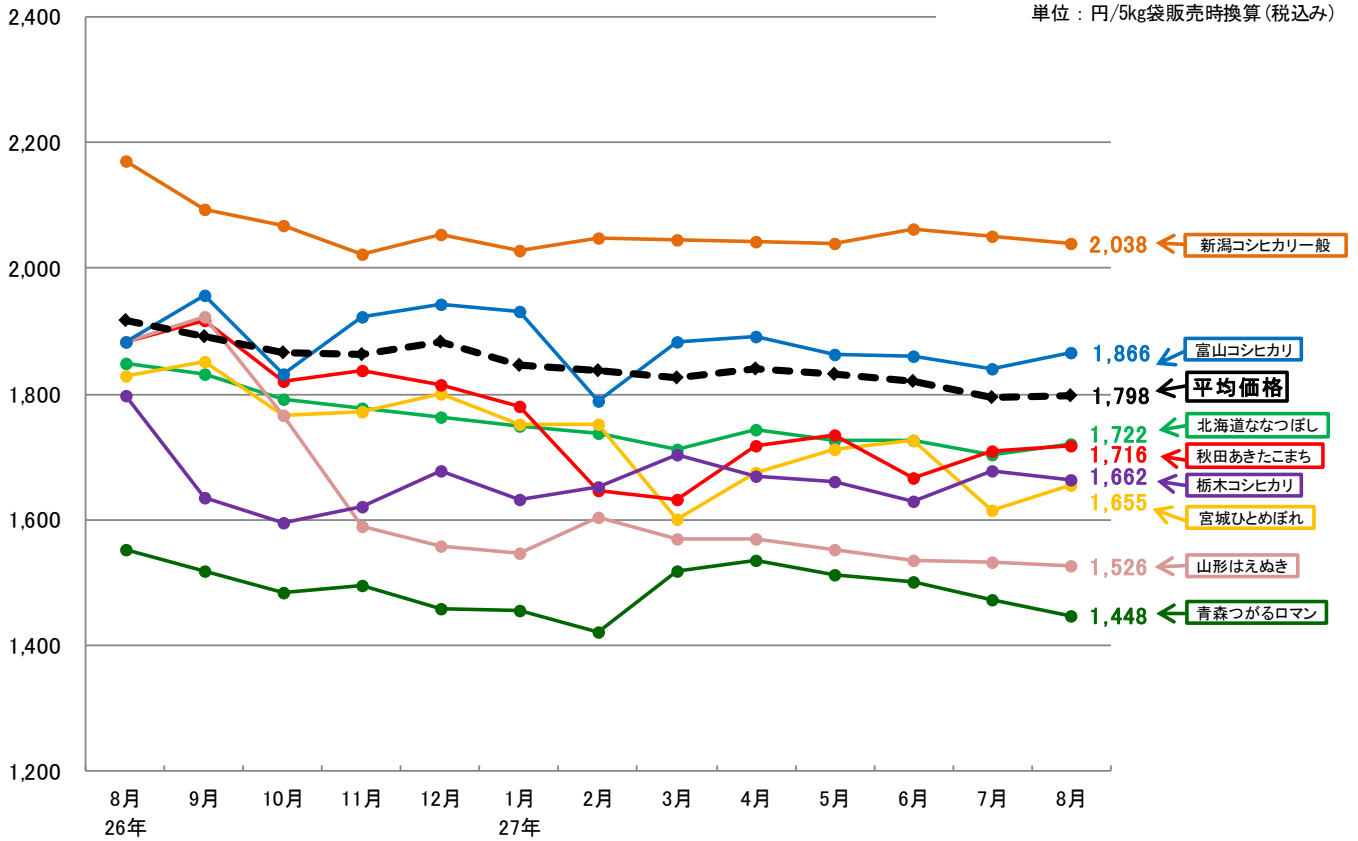
3：精米ベースである。

4：複数原料米については、平成23年12月をもって調査が終了した。

平成27年8月の小売価格（POSデータ）の平均価格は1,798円/5kgとなり、前月から横ばい。

(3) 小売価格の推移 (POSデータ)

(図) 小売価格の推移



(表) 小売価格の推移

単位：円/5kg袋販売時換算(消費税込み)

	品種銘柄								
	北海道 ななつぼし	青森 つがるロマン	宮城 ひとめぼれ	秋田 あきたこまち	山形 はえぬき	栃木 コシヒカリ	新潟 コシヒカリ一般	富山 コシヒカリ	全POS取引 平均価格
26年8月	1,848	1,551	1,828	1,882	1,882	1,797	2,171	1,882	1,918
9月	1,831	1,519	1,852	1,917	1,922	1,634	2,093	1,957	1,892
10月	1,790	1,486	1,767	1,819	1,765	1,596	2,067	1,830	1,865
11月	1,777	1,494	1,771	1,836	1,589	1,620	2,022	1,923	1,864
12月	1,762	1,459	1,799	1,816	1,559	1,678	2,054	1,943	1,883
27年1月	1,750	1,455	1,753	1,780	1,547	1,631	2,027	1,932	1,846
2月	1,738	1,422	1,753	1,646	1,605	1,652	2,047	1,789	1,838
3月	1,712	1,518	1,601	1,632	1,570	1,702	2,046	1,882	1,824
4月	1,743	1,534	1,674	1,718	1,571	1,670	2,043	1,890	1,839
5月	1,725	1,512	1,713	1,735	1,553	1,659	2,038	1,863	1,831
6月	1,725	1,500	1,726	1,665	1,535	1,629	2,061	1,859	1,819
7月	1,703	1,472	1,614	1,709	1,533	1,677	2,052	1,839	1,795
<b>8月</b>	<b>1,722</b>	<b>1,448</b>	<b>1,655</b>	<b>1,716</b>	<b>1,526</b>	<b>1,662</b>	<b>2,038</b>	<b>1,866</b>	<b>1,798</b>
対前月比	1.1%	▲1.7%	2.6%	0.4%	▲0.5%	▲0.9%	▲0.6%	1.4%	0.2%
対前年同月比	▲6.8%	▲6.6%	▲9.4%	▲8.8%	▲18.9%	▲7.5%	▲6.1%	▲0.9%	▲6.3%

資料：(株) KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注：1 (株) KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約970店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

2 POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

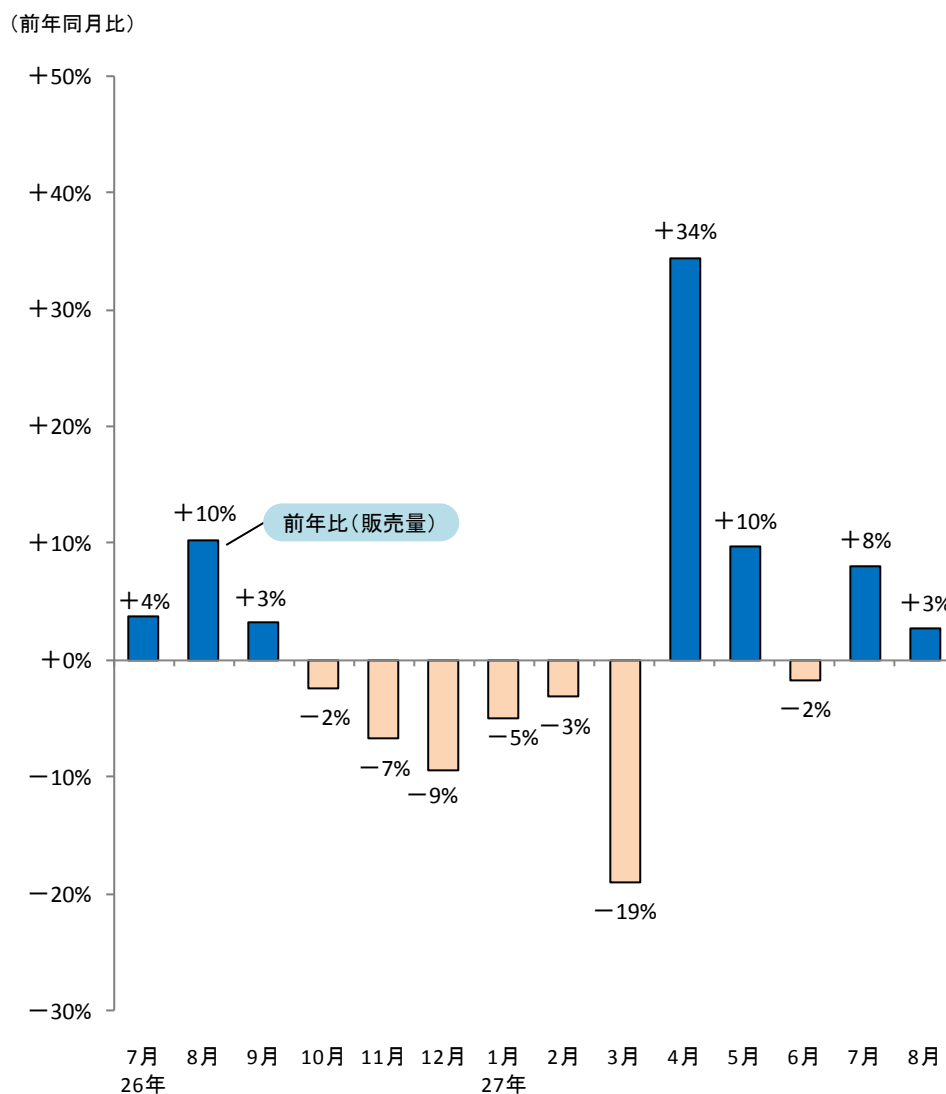
3 POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

4 平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

5 価格に含む消費税は8%である。

- 平成27年8月の小売店における精米販売量（POSデータ）は、前年同月比で+3%。

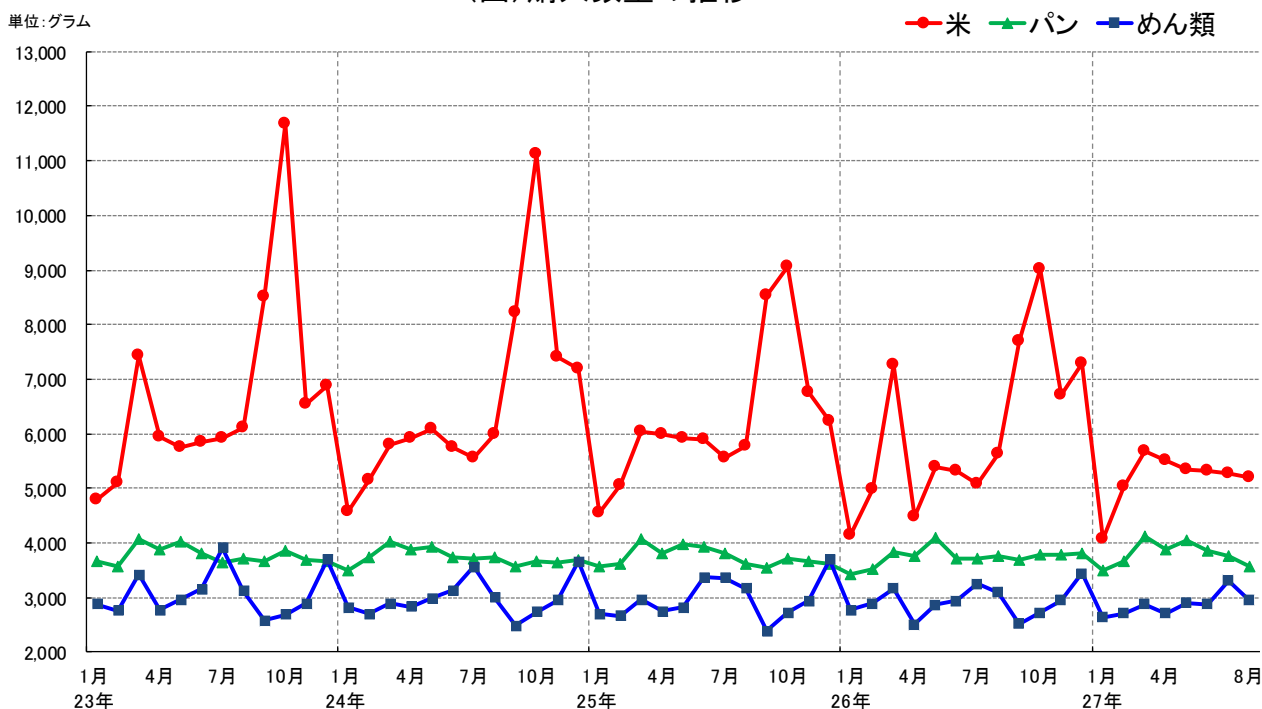
（参考）小売店における精米販売の状況（POSデータ）



- 注：1 各月の全POS取引の平均価格及び数量の前年比である。  
 2 留意点は前頁の表脚注を参照。

総務省が公表している家計調査によると、平成27年8月の米の購入数量は、前年同月との比較で92%、パンについては同94%、めん類については同95%。

(4) 購入数量の推移(家計調査) (図)購入数量の推移



(表)購入数量の推移

(単位：グラム)

	米		パン		めん類	
	購入数量	対前年 (同月)比	購入数量	対前年 (同月)比	購入数量	対前年 (同月)比
平成20年	88,550	103.8%	44,445	98.2%	35,899	101.2%
平成21年	85,110	96.1%	45,599	102.6%	36,615	102.0%
平成22年	83,010	97.5%	45,443	99.7%	37,000	101.1%
平成23年	80,580	97.1%	45,255	99.6%	36,931	99.8%
平成24年	78,780	97.8%	44,808	99.0%	35,819	97.0%
平成25年	75,170	95.4%	44,927	100.3%	35,560	99.3%
平成26年	73,050	97.2%	44,926	100.0%	35,176	98.9%
平成27年1月	4,060	97.8%	3,493	101.9%	2,640	95.4%
2月	5,030	101.0%	3,668	103.9%	2,710	93.8%
3月	5,690	78.4%	4,121	107.7%	2,879	90.9%
4月	5,500	123.0%	3,882	102.9%	2,714	108.4%
5月	5,350	99.4%	4,038	98.3%	2,905	101.4%
6月	5,320	99.8%	3,848	103.8%	2,873	97.9%
7月	5,260	103.5%	3,763	101.5%	3,313	101.9%
8月	5,200	92.4%	3,564	94.5%	2,950	95.4%

資料：総務省「家計調査」

注：1 二人以上の世帯の数値である。

2 平成20年から平成26年については、年間の購入数量を示す。

3 精米ベースである。

- 米穀機構が公表している「米の消費動向」(平成27年8月)によると、1人1ヵ月当たりの精米消費量は、前年同月との比較で▲14.0%。
- このうち、家庭内での消費量は前年同月との比較で▲14.4%、中・外食は同▲12.9%。

(5) 米の消費動向 (米穀機構による調査)

〔 ○ 本調査は、調査実施機関 (株)マクロミルのモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている (インターネット調査)。 〕

① 1人1ヵ月当たり精米消費量の推移

(上段:対前年同月比、下段:実数(精米g/人))

	平成25年10月		平成25年11月		平成25年12月		平成26年1月		平成26年2月		平成26年3月							
	▲%	内訳	▲%	内訳	▲%	内訳	▲%	内訳	▲%	内訳	▲%	内訳						
合計	▲8.2%	4,528	100.0%	▲9.6%	4,443	100.0%	▲11.2%	4,363	100.0%	▲7.4%	4,396	100.0%	▲5.7%	4,587	100.0%	▲7.0%	4,338	100.0%
家庭内	▲10.9%	3,048	67.3%	▲12.7%	2,972	66.9%	▲15.4%	2,863	65.6%	▲10.3%	2,977	67.7%	▲6.8%	3,196	69.7%	▲9.4%	2,896	66.8%
中・外食	▲2.0%	1,481	32.7%	▲2.6%	1,471	33.1%	▲2.0%	1,500	34.4%	▲0.7%	1,419	32.3%	▲3.1%	1,391	30.3%	▲1.8%	1,442	33.2%
中食	▲0.8%	866	19.1%	▲3.3%	829	18.7%	▲3.1%	850	19.5%	▲1.6%	823	18.7%	▲6.3%	794	17.3%	▲1.7%	813	18.7%
外食	▲3.6%	615	13.6%	▲1.4%	643	14.5%	▲0.8%	649	14.9%	+0.7%	596	13.6%	+1.2%	596	13.0%	▲2.0%	629	14.5%
	平成26年4月		平成26年5月		平成26年6月		平成26年7月		平成26年8月		平成26年9月							
合計	+4.3%	4,986	100.0%	+5.7%	4,834	100.0%	+1.5%	4,643	100.0%	+2.9%	4,500	100.0%	+3.6%	4,387	100.0%	+2.2%	4,495	100.0%
家庭内	+11.4%	3,529	70.8%	+9.3%	3,374	69.8%	+6.0%	3,232	69.6%	+9.5%	3,163	70.3%	+9.9%	3,053	69.6%	+6.5%	3,183	70.8%
中・外食	▲9.5%	1,457	29.2%	▲1.9%	1,460	30.2%	▲7.6%	1,411	30.4%	▲10.0%	1,337	29.7%	▲8.3%	1,334	30.4%	▲6.9%	1,312	29.2%
中食	▲7.1%	865	17.3%	▲4.5%	841	17.4%	▲9.3%	810	17.4%	▲11.4%	765	17.0%	▲7.3%	740	16.9%	▲6.3%	761	16.9%
外食	▲12.8%	592	11.9%	+1.8%	619	12.8%	▲5.2%	601	12.9%	▲8.0%	572	12.7%	▲9.5%	594	13.5%	▲7.9%	551	12.3%
	平成26年10月		平成26年11月		平成26年12月		平成27年1月		平成27年2月		平成27年3月							
合計	+2.1%	4,624	100.0%	+4.2%	4,629	100.0%	▲1.5%	4,299	100.0%	▲0.4%	4,380	100.0%	▲1.1%	4,537	100.0%	▲0.1%	4,333	100.0%
家庭内	+8.0%	3,291	71.2%	+10.5%	3,283	70.9%	+5.3%	3,015	70.1%	+5.1%	3,128	71.4%	+2.1%	3,264	71.9%	+6.3%	3,077	71.0%
中・外食	▲9.9%	1,334	28.8%	▲8.5%	1,346	29.1%	▲14.3%	1,285	29.9%	▲11.8%	1,252	28.6%	▲8.5%	1,273	28.1%	▲12.8%	1,257	29.0%
中食	▲11.7%	765	16.5%	▲9.7%	749	16.2%	▲16.4%	711	16.5%	▲14.6%	703	16.1%	▲11.7%	701	15.5%	▲15.5%	687	15.9%
外食	▲7.5%	569	12.3%	▲7.2%	597	12.9%	▲11.6%	574	13.4%	▲7.9%	549	12.5%	▲4.0%	572	12.6%	▲9.5%	569	13.1%
	平成27年4月		平成27年5月		平成27年6月		平成27年7月		平成27年8月									
合計	▲2.2%	4,877	100.0%	▲7.5%	4,472	100.0%	▲4.5%	4,436	100.0%	▲9.8%	4,058	100.0%	▲14.0%	3,774	100.0%	▲14.4%	3,612	100.0%
家庭内	▲5.0%	3,351	68.7%	▲10.3%	3,025	67.6%	▲5.5%	3,055	68.9%	▲12.1%	2,781	68.5%	▲14.4%	2,612	69.2%	▲12.9%	2,612	71.9%
中・外食	+4.7%	1,526	31.3%	▲0.9%	1,447	32.4%	▲2.1%	1,381	31.1%	▲4.5%	1,277	31.5%	▲12.9%	1,162	30.8%	▲13.0%	1,162	31.1%
中食	+5.0%	908	18.6%	+2.7%	864	19.3%	+3.6%	839	18.9%	▲3.0%	742	18.3%	▲13.0%	644	17.1%	▲12.8%	644	17.1%
外食	+4.4%	618	12.7%	▲5.8%	583	13.0%	▲10.0%	541	12.2%	▲6.3%	536	13.2%	▲12.8%	518	13.7%	▲12.8%	518	13.7%

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：1 27年8月分の有効調査世帯数は1,741世帯。

2 家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

3 集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成22年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

4 四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

米穀機構が公表している「米の消費動向」(平成27年8月)によると、精米購入時の入手経路、購入数量ともに「スーパーマーケット」が最も多く、次いで、小売店を通さない「家族・知人などから無償で入手」が多い。

## ② 精米購入時の動向

### (ア) 入手経路(複数回答)

(%)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他
平成23年度	0.7	45.9	3.7	4.2	0.4	8.6	1.4	3.8	1.3	6.8	6.4	23.5	2.2
平成24年度	1.0	45.1	4.3	3.4	0.3	7.8	1.8	4.2	1.8	7.0	7.4	22.9	2.0
平成25年度	0.7	47.4	3.8	2.8	0.3	7.1	1.6	3.8	1.8	6.8	10.0	20.8	1.6
平成26年度	1.2	48.7	4.1	2.4	0.2	8.2	1.5	3.5	2.0	6.7	8.7	19.5	2.6
平成27年4月	1.6	51.2	4.1	2.7	0.2	7.1	1.0	3.3	1.1	4.1	9.5	16.9	2.9
5月	2.2	49.9	3.4	2.7	0.1	6.8	0.5	3.6	1.3	5.6	8.4	19.6	2.7
6月	2.2	49.0	4.0	3.3	0.1	8.1	1.0	3.0	1.3	4.1	10.7	17.3	2.6
7月	2.9	50.1	4.3	1.6	0.05	7.8	0.5	4.5	1.8	5.1	9.7	15.5	2.7
8月	2.3	51.5	3.8	1.9	0.1	6.1	0.9	3.2	1.4	3.4	9.8	21.3	2.1

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：1 平成23～26年度は各年4月から翌年3月までの平均値。

2 27年8月分の有効調査世帯数は1,064世帯。

### (イ) 入手経路別の購入数量

(kg, %)

		デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	有効調査世帯数
27年4月	購入数量	87	4,405	396	315	11	541	139	314	115	958	980	2,029	1,057
	比率	0.8	42.8	3.8	3.1	0.1	5.3	1.4	3.1	1.1	9.3	9.5	19.7	
	世帯平均購入数量	5.3	8.2	9.2	11.0	6.4	7.2	12.7	9.0	10.3	22.0	9.8	11.4	
5月	購入数量	143	4,490	362	222	3	551	81	372	141	1,127	893	2,275	1,098
	比率	1.3	42.1	3.4	2.1	0.0	5.2	0.8	3.5	1.3	10.6	8.4	21.3	
	世帯平均購入数量	6.1	8.2	9.8	7.6	4.4	7.5	13.6	9.5	9.9	18.2	9.7	10.6	
6月	購入数量	155	5,283	426	376	8	780	147	449	153	893	1,306	2,107	1,321
	比率	1.3	43.7	3.5	3.1	0.1	6.5	1.2	3.7	1.3	7.4	10.8	17.4	
	世帯平均購入数量	5.3	8.2	8.1	8.7	4.7	7.3	11.2	11.3	9.3	16.4	9.2	9.2	
7月	購入数量	195	5,052	424	195	3	704	70	477	155	1,032	1,261	1,678	1,203
	比率	1.7	44.9	3.8	1.7	0.03	6.3	0.6	4.2	1.4	9.2	11.2	14.9	
	世帯平均購入数量	5.7	8.4	8.2	10.0	5.0	7.5	11.2	8.8	7.4	16.7	10.8	9.0	
8月	購入数量	168	4,331	331	196	3	512	118	293	129	636	1,046	2,388	1,064
	比率	1.7	42.7	3.3	1.9	0.03	5.0	1.2	2.9	1.3	6.3	10.3	23.5	
	世帯平均購入数量	6.9	7.9	8.2	9.5	5.0	7.8	12.6	8.6	8.6	17.7	10.0	10.5	
	前年同月比	▲16.2	▲1.2	▲0.0	▲14.7	▲62.1	▲17.0	▲2.8	▲7.6	▲4.5	▲17.2	▲18.6	▲1.1	
	前年同月比	▲20.7	▲6.0	▲10.9	20.3	108.3	▲2.5	17.8	▲9.5	▲6.5	▲15.3	▲9.9	2.9	

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：世帯平均購入数量は、精米を購入した世帯の平均購入数量。



- 米穀機構が公表している「米の消費動向」(平成27年8月)によると、精米購入時に重視する点は、先月同様価格・産地・品種の順となっている状況。
- 平成27年7月末の家庭内在庫数量は、6.2kgで前月から+0.1kg。また、平成23年以降の同時期との比較では平成24年度に次いで少ない状況。

(ウ) 重視する点(複数回答)

(%)

	産地	品種	年産	価格	(お味 いしさ)	適量感	安全性	無洗米	精米年月日	栽培方法	製造販売業者	販売店	その他
平成23年度	49.8	51.4	36.6	77.8	48.8	9.0	31.1	-	27.4	4.5	7.7	4.6	5.0
平成24年度	53.8	51.4	36.8	74.5	49.0	9.0	32.4	11.4	23.9	5.2	8	4.6	2.5
平成25年度	56.7	54.2	38.7	76.6	47.3	8.6	31.6	11.9	24.0	4.6	8.1	4.1	2.1
平成26年度	60.2	58	42.5	76.3	49.7	8.5	32.6	12.1	27.0	5.3	9	5.6	1.4
平成27年4月	57.8	56.6	36.8	75.2	47.7	7.0	30.5	10.1	24.1	4.5	8.4	4.7	3.3
5月	60.4	57.9	38.2	75.7	50.4	7.7	31.1	11.2	25.6	3.3	8.1	5.3	1.8
6月	58.5	58.1	42.0	76.8	47.2	8.6	29.7	10.8	26.3	3.9	7.6	4.5	2.2
7月	62.7	58.0	41.3	76.9	45.8	9.3	29.8	11.9	25.8	4.5	8.4	4.9	1.9
8月	61.4	59.9	42.7	78.3	46.7	9.5	28.5	11.5	28.0	5.3	8.7	5.9	1.7

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：1 平成23～26年度は各年4月から翌年3月までの平均値。

2 「無洗米」は平成24年度から選択肢に加えた。

3 27年8月分の有効調査世帯数は1,741世帯。

(エ) 家庭内の月末在庫数量

(kg/世帯)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23年度	月末在庫数量	6.8	7.0	7.0	6.7	6.9	6.9	8.3	7.9	8.3	7.6	7.5	7.2
	平均世帯人員	2.51	2.51	2.54	2.53	2.54	2.53	2.53	2.54	2.54	2.54	2.54	2.54
24年度	月末在庫数量	6.1	6.1	6.3	6.2	6.1	6.5	7.3	7.2	7.4	7.1	6.8	6.8
	平均世帯人員	2.42	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41
25年度	月末在庫数量	6.4	6.3	6.3	6.2	6.4	6.6	7.1	7.1	7.2	6.8	6.7	7.7
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.40	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41
26年度	月末在庫数量	6.8	6.8	6.5	6.3	6.5	6.8	7.3	7.5	7.8	7.1	6.8	6.6
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41
27年度	月末在庫数量	6.0	6.1	6.1	6.1	6.2							
	平均世帯人員	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40							

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数。

#### IV 生産段階の動向

##### (1) 平成27年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況

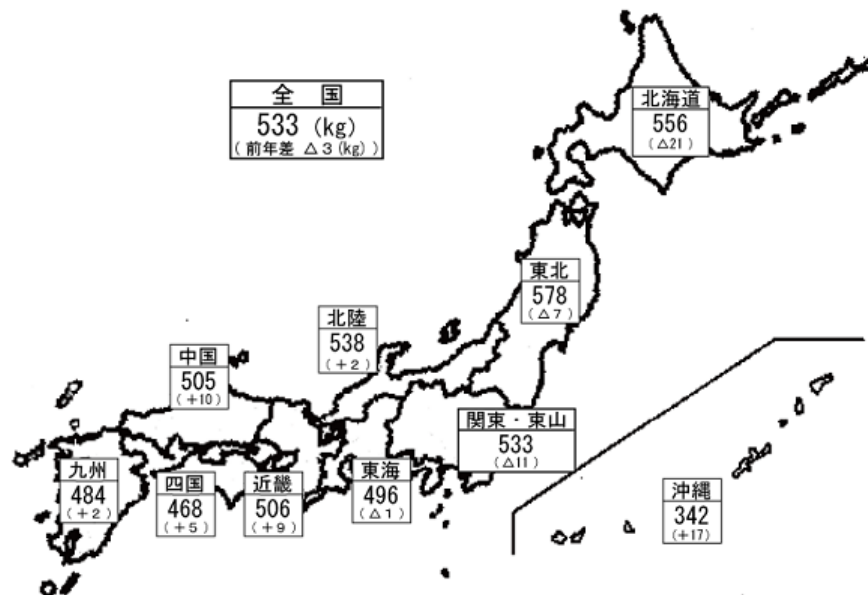
(平成27年10月2日公表の抜粋)

— 主食用作付見込面積は140万6,000ha（前年産に比べ6万8,000ha減少）の見込み  
10a 当たり予想収量は平年並みの533kg（前年産に比べ3kg減少）の見込み —

##### 【調査結果の概要】

- 1 平成27年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は162万3,000haとなり、前年産に比べ1万6,000haの減少が見込まれる。うち主食用作付見込面積は140万6,000haとなり、前年産に比べ6万8,000haの減少が見込まれる。
- 2 9月15日現在における水稻の作柄は、北海道から近畿では、登熟は一部の地域を除き8月中旬以降の日照不足等の影響により平年を下回っているものの、全もみ数が総じて平年並みないしやや多いとなっていることから、おおむね平年並み以上と見込まれる（10a 当たり予想収量は、北海道、東北及び関東・東山では作柄が良かった前年産に比べ減少）。  
一方、中国、四国及び九州では、6月以降の低温・日照不足等の影響により、全もみ数及び登熟が総じて平年を下回っていると見込まれる（10a 当たり予想収量は、中国、四国及び九州では作柄が悪かった前年産に比べ増加）。  
このため、全国の10a 当たり予想収量は平年並みの533kgとなり、前年産に比べ3kgの減少が見込まれる。
- 3 主食用作付見込面積に10a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は746万7,000tで、前年産に比べ41万5,000tの減少が見込まれる。

図1 全国農業地域別10a当たり予想収量(9月15日現在)



- 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積（平成27年9月15日現在）を除いた面積（見込み）である。
- 10a 当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。なお、農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は4ページを参照。
- この作柄は、その後の気象が平年並みに推移するものとして予測を行ったものである。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。なお、台風第15号、台風第18号及び平成27年9月関東・東北豪雨による影響は、現段階で把握できる被害について見込んでいる。

【調査結果】

1 平成27年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は162万3,000haで、前年産に比べ1万6,000haの減少が見込まれる。

なお、水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた主食用作付見込面積は140万6,000haで、前年産に比べ6万8,000haの減少が見込まれる。

2 9月15日現在における水稻の地域別の10a当たり予想収量は、北海道及び東北では、一時低温の時期はあったものの、生育期間を通じておおむね天候に恵まれたことにより、全もみ数は北海道を除いて平年を上回り、登熟もおおむね順調に推移していることから、北海道はやや良の556kg（作柄が良かった前年産に比べ21kg減少）、東北はやや良の578kg（同7kg減少）が見込まれる。

関東から近畿では、8月中旬までは高温・多照傾向で推移したことから、全もみ数は平年並みないしやや多くなったものの、登熟は8月中旬以降の低温・日照不足や台風等による影響がみられることから、北陸は平年並みの538kg（前年産に比べ2kg増加）、関東・東山は平年並みの533kg（同11kg減少）、東海は平年並みの496kg（同1kg減少）、近畿は平年並みの506kg（同9kg増加）が見込まれる。

中国、四国及び九州は、6月以降の断続的な低温・日照不足や台風等の影響により、全もみ数が平年並みないし少なく、登熟も平年を下回って推移しているため、中国はやや不良の505kg（作柄が悪かった前年産に比べ10kg増加）、四国はやや不良の468kg（同5kg増加）、九州はやや不良の484kg（同2kg増加）が見込まれる。

この結果、全国の10a当たり予想収量は平年並みの533kg（前年産に比べ3kg減少）が見込まれる。

3 主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は746万7,000t（前年産に比べ41万5,000t減少）が見込まれる。

表1 平成27年産水稻の作付面積及び9月15日現在の10a当たり予想収量  
（全国農業地域別）

全国 農業地域	作付面積（青刈り面積を含む。）			10a当たり予想収量		参 考	
	実 数	前年産との比較		実数 ①	前年産との比較 対 差	主食用作付 見込面積 ②	予想収穫量 （主食用） ③=①×②
		対 差	対 比				
	ha	ha	%	kg	kg	ha	t
全 国	1,623,000	△ 16,000	99	533	△ 3	1,406,000	7,467,000
北 海 道	110,500	△ 1,600	99	556	△ 21	100,100	556,600
東 北	415,200	△ 4,000	99	578	△ 7	339,500	1,957,000
北 陸	214,100	△ 1,400	99	538	2	184,100	991,500
関東・東山	304,300	△ 1,000	100	533	△ 11	264,200	1,408,000
東 海	102,700	△ 1,200	99	496	△ 1	93,100	461,700
近 畿	107,900	△ 1,600	99	506	9	101,900	516,300
中 国	114,500	△ 1,800	98	505	10	104,100	526,100
四 国	55,200	△ 1,300	98	468	5	51,700	242,200
九 州	198,000	△ 2,000	99	484	2	166,300	805,300
沖 縄	826	△ 38	96	…	…	826	2,550

- 注：1 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。  
 2 主食用作付見込面積及び予想収穫量（主食用）については都道府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。  
 3 沖縄県の10a当たり予想収量は第二期稲が出穂前であるため「…」で示しており、予想収穫量（主食用）の算出には10a当たり平年収量を用いた。

○ 平成27年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況は「農林水産統計」からの抜粋。詳しくは、下記にて御覧いただけます。  
 ホーム > 組織・政策 > 統計情報 > 分野別分類/作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など > 作物統計 > 作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼肥料作物、工芸農作物）  
 【 [http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kome/index.html](http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html) 】

図2 全国農業地域・都道府県別作況指数（9月15日現在）  
 【農家等が使用しているふるい目幅ベース】

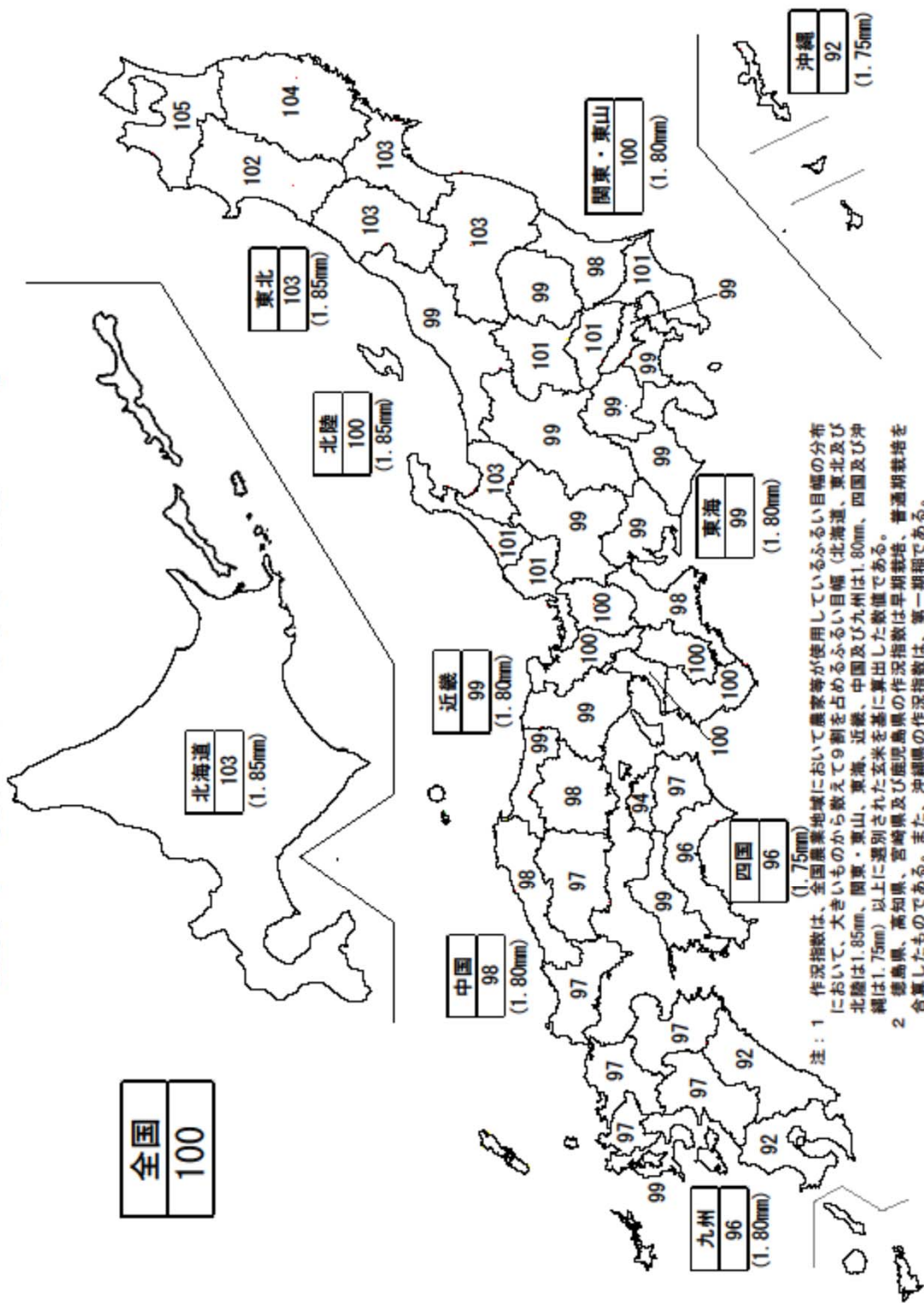


表2 平成27年産水稻の作付面積、10a当たり予想収量及び作柄概況(9月15日現在)

全 国 ・ 都道府県	作付面積(青刈り面積を含む。)			10a 当 た り 予 想 収 量  ①	(参考) 農家等が使用している ふるい目幅で選別			参 考  主食用 作付見込面積 ⑤	予 想 収 穫 量 (主食用) ⑥=①×⑤
	実 数	前年産との比較			10a 当 た り 予 想 収 量 ②	10a 当 た り 平 年 収 量 ③	作 況 指 数 ④=②/③		
		対 差	対 比						
全 国	1,623,000	△ 16,000	99	533	517	517	100	1,406,000	7,467,000
北 海 道	110,500	△ 1,600	99	556	536	522	103	100,100	556,600
青 森	51,400	△ 500	99	615	595	566	105	37,300	229,400
岩 手	57,000	△ 1,000	98	554	539	518	104	48,100	266,500
宮 城	73,700	△ 1,100	99	545	530	516	103	63,700	347,200
秋 田	92,900	△ 1,100	99	585	564	553	102	71,200	416,500
山 形	69,900	△ 800	99	614	598	578	103	57,700	354,300
福 島	70,300	△ 500	101	558	540	526	103	61,500	343,200
茨 城	77,900	200	100	514	505	515	98	68,400	351,600
栃 木	69,100	100	100	535	523	528	99	54,100	289,400
群 馬	18,100	△ 300	98	503	483	479	101	14,400	72,400
埼 玉	35,100	△ 400	99	494	481	476	101	31,700	156,600
千 葉	61,900	△ 100	100	539	530	525	101	55,200	297,500
東 京	156	△ 3	98	409	396	402	99	156	638
神 奈 川	3,150	0	100	492	473	478	99	3,130	15,400
新 潟	121,300	△ 400	100	538	519	523	99	102,400	550,900
富 山	39,500	△ 700	98	561	542	524	103	34,200	191,900
石 川	26,700	△ 300	99	522	510	504	101	23,600	123,200
福 井	26,400	△ 200	99	525	504	500	101	23,900	125,500
山 梨	5,050	△ 50	99	545	530	533	99	4,980	27,100
長 野	33,800	△ 500	99	613	600	609	99	32,200	197,400
岐 阜	25,200	△ 100	100	481	471	478	99	22,100	106,300
静 岡	17,500	△ 100	99	515	507	513	99	16,100	82,900
愛 知	30,000	△ 500	98	503	495	499	99	27,200	136,800
三 重	29,900	△ 500	98	490	479	488	98	27,700	135,700
滋 賀	33,200	△ 400	99	519	505	506	100	30,600	158,800
京 都	15,200	△ 200	99	510	500	501	100	14,400	73,400
大 阪	5,450	△ 100	98	497	478	479	100	5,440	27,000
兵 庫	38,200	△ 400	99	497	484	491	99	35,700	177,400
奈 良	8,980	△ 150	98	515	500	499	100	8,850	45,600
和 歌 山	6,900	△ 330	95	494	484	484	100	6,900	34,100
鳥 取	14,300	△ 200	99	512	501	504	99	12,400	63,500
島 根	19,500	△ 200	99	502	492	500	98	17,500	87,900
岡 山	32,600	△ 700	98	514	505	515	98	29,600	152,100
広 島	25,500	△ 500	98	510	500	513	97	24,000	122,400
山 口	22,400	△ 400	98	489	478	493	97	20,500	100,200
徳 島	13,100	△ 400	97	458	453	469	97	11,700	53,600
早期栽培	5,130	△ 180	97	450	447	459	97	...	...
普通栽培	7,970	△ 240	97	463	457	475	96	...	...
香 川	14,000	△ 500	97	473	464	493	94	13,500	63,900
愛 媛	15,000	△ 200	99	493	488	493	99	14,600	72,000
高 知	13,100	△ 200	98	443	439	456	96	11,900	52,700
早期栽培	7,560	△ 200	97	462	459	478	96	...	...
普通栽培	5,580	60	101	419	414	426	97	...	...
福 岡	39,400	△ 400	99	482	465	481	97	35,900	173,000
佐 賀	26,700	0	100	503	488	502	97	25,000	125,800
長 崎	13,500	△ 400	97	472	456	462	99	12,500	59,000
熊 本	44,000	△ 400	99	502	484	499	97	34,300	172,200
大 分	25,500	△ 200	99	491	465	481	97	21,700	106,500
宮 崎	23,600	△ 300	99	458	443	484	92	16,100	73,700
早期栽培	9,100	△ 110	99	411	399	471	85	...	...
普通栽培	14,500	△ 200	99	490	473	493	96	...	...
鹿 児 島	25,400	△ 200	99	455	433	470	92	20,900	95,100
早期栽培	6,680	20	100	396	383	435	88	...	...
普通栽培	18,700	△ 200	99	472	448	481	93	...	...
沖 縄	826	△ 38	96	...	...	305	...	826	2,550
第一期稲	556	△ 34	94	342	341	369	92	...	...
第二期稲	270	△ 6	98	...	...	...	...	...	...

注：1 ①10a当たり予想収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。  
 2 (参考)の農家等が使用しているふるい目幅で選別された②10a当たり予想収量、③10a当たり年収量及び④作況指数については、全国農業地域において農家等が使用しているふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるい目幅(北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm)以上に選別された玄米を基に算出した数値である。  
 3 沖縄県平均の10a当たり予想収量並びに(参考)の農家等が使用しているふるい目幅で選別された10a当たり予想収量及び作況指数は第二期稲が出穂前であるため「…」で示しており、沖縄県計の予想収量(主食用)の算出には10a当たり年収量を用いた。  
 4 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む。)から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等(備蓄米、加工用米、新規需要米等)の作付面積(平成27年9月15日現在)を除いた面積(見込み)である。  
 5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の早期・普通期別等の主食用作付見込面積は、作期別に備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

(2) 水稲作付面積及び収穫量等の年次別推移(全国)

年産	作付面積 (子実用) ha	10a当たり 収 量 kg	10a当たり 平年収量 kg	(参考)農家等が使用して いるふるい目幅で選別		作況 指数	収 穫 量 (子実用) t	(参考)		生産数量 目標 t
				10a当たり 収 量 kg	10a当たり 平年収量 kg			主 食 用 作付面積 ha	収 穫 量 (主食用) t	
18	1,684,000	507	529			96	8,546,000	...	...	8,330,000
19	1,669,000	522	529			99	8,705,000	...	...	8,280,000
20	1,624,000	543	530			102	8,815,000	1,596,000	8,658,000	8,150,000
21	1,621,000	522	530			98	8,466,000	1,592,000	8,309,000	8,150,000
22	1,625,000	522	530			98	8,478,000	1,580,000	8,239,000	8,130,000
23	1,574,000	533	530			101	8,397,000	1,526,000	8,133,000	7,950,000
24	1,579,000	540	530			102	8,519,000	1,524,000	8,210,000	7,930,000
25	1,597,000	539	530			102	8,603,000	1,522,000	8,182,000	7,910,000
26	1,573,000	536	530			101	8,435,000	1,474,000	7,882,000	7,650,000
27 (9月15日現在)	..	533		517	517	100	..	1,406,000	7,467,000	7,510,000

資料： 農林水産省「作物統計」、 「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」

- 注： 1 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。  
 2 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積である。  
 3 「…」は、事実不詳又は調査を欠くもの、「・・」は未公表であることを示す。  
 4 27年産は、9月15日現在の10a当たり予想収量。作況指数は、農家を使用しているふるい目幅で選別された10a当たり予想収量と10a当たり平年収量を用いて算定している。  
 4 生産数量目標は、食料・農業・農村政策審議会食糧部会で定めた数量目標。

(3) 水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a当たり収量及び収穫量(子実用)の年次別推移

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量としている。  
 農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

① ふるい目幅別重量分布状況

単位：%

年 産	区 分 合 計	ふるい目幅別重量割合					
		1.70mm	1.75mm	1.80mm	1.85mm	1.90mm	2.00mm 以 上
17年産	100.0	1.0	1.4	2.3	3.6	20.5	71.2
18年産	100.0	0.9	1.3	2.2	3.5	19.2	72.9
19年産	100.0	0.7	1.1	1.8	3.0	17.9	75.5
20年産	100.0	0.9	1.3	2.1	3.0	16.5	76.2
21年産	100.0	0.8	1.3	2.1	3.2	17.4	75.2
22年産	100.0	0.6	1.0	1.6	2.3	13.2	81.3
23年産	100.0	0.9	1.4	2.2	3.1	16.6	75.8
24年産	100.0	0.6	1.0	1.5	2.2	13.0	81.7
25年産	100.0	0.8	1.3	1.9	2.7	14.5	78.8
26年産	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	14.7	78.4
平均値	100.0	0.7	1.2	1.9	2.7	14.9	78.6
対平年差	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	▲ 0.2	▲ 0.2

資料： 農林水産省「作物統計」

- 注： 1 未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。  
 2 平均値は、直近5か年の重量割合の平均。  
 3 27年産は、予想収穫量（10月15日現在）の公表時に掲載予定。

## ② ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量(子実用)の推移

単位：kg(10a当たり収量)、トン(収穫量)

年産	区 分	選別ふるい目幅別収穫量及び10a当たり収量					
		1.70mm 選別	1.75mm 選別	1.80mm 選別	1.85mm 選別	1.90mm 選別	2.00mm 選別
17年産	10a当たり収量	532	527	519	507	488	379
18年産		507	502	496	485	467	370
19年産		522	518	513	503	488	394
20年産		543	538	531	520	503	414
21年産		522	518	511	500	483	393
22年産		522	519	514	505	493	424
23年産		533	528	521	509	492	404
24年産		10a当たり収量	540	537	531	523	511
	収 穫 量	8,519,000	8,468,000	8,383,000	8,255,000	8,067,000	6,960,000
25年産	10a当たり収量	539	535	528	517	503	425
	収 穫 量	8,603,000	8,534,000	8,422,000	8,259,000	8,027,000	6,779,000
26年産	10a当たり収量	536	532	524	513	499	420
	収 穫 量	8,435,000	8,368,000	8,249,000	8,081,000	7,853,000	6,613,000
	対前年比(%)	98	98	98	98	98	98

資料： 農林水産省「作物統計」

- 注： 1 ふるい目幅別の収穫量(子実用)については、平成24年産より集計・公表を行っている。  
 2 ふるい目幅別の10a当たり収量とは、全国の10a当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。  
 3 ふるい目幅別の収穫量(子実用)とは、全国の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。  
 4 27年産は、予想収穫量(10月15日現在)の公表時に掲載予定。

平成27年産の加工用米の取り組みは、近年、生産量が最も多かった26年産米に比べ▲1万トン程度。内訳は、うるち米が▲2.4万トン程度、もち米が+1.4万トン程度。また、近年の取り組みについては、全国流通、地域流通ともに増加しており、生産者と需要者が結びついた取組が着実に進展している状況。

## (5) 加工用米及び新規需要米の取組状況等

### ① 加工用米の生産量

(単位:トン)

	うるち米	もち米	合計	流通	
				全国流通	地域流通
平成16年産	117,837	4,404	122,241	121,719	522
17年産	123,996	4,738	128,734	127,160	1,574
18年産	140,596	7,996	148,592	146,529	2,064
19年産	152,145	10,659	162,804	160,670	2,134
20年産	138,895	10,154	149,048	142,803	6,246
21年産	134,389	6,779	141,168	122,771	18,397
22年産	190,883	21,945	212,829	134,958	77,870
23年産	122,699	31,856	154,555	46,087	108,468
24年産	148,695	32,190	180,885	65,821	115,064
25年産	178,411	29,471	207,882	82,534	125,348
26年産	232,315	34,053	266,368	110,914	155,455
27年産	208,199	48,318	256,518	...	...

資料：農林水産省「加工用米生産量」

注：1 「需要に応じた米生産の推進に関する要領」の規定により報告された生産集出荷数量。ただし、27年産は、需給調整のカウントとなる加工用米の取組として認定を受けた平成27年9月15日現在の値。

注：2 全国流通の値は、生産集出荷数量等のうち、取組主体が全国生産出荷団体であるものの合計値。

注：3 地域流通の値は、生産集出荷数量等のうち、取組主体が都道府県出荷団体、認定方針作成者及び農業者であるものの合計値。

注：4 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。また、「…」については、現在集計中。

### ② 新規需要米の用途別認定状況

(単位:トン、ha)

用途区分	平成20年産		平成21年産		平成22年産		平成23年産		平成24年産		平成25年産		平成26年産		平成27年産	
	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積
米粉用米	566	108	13,041	2,401	27,796	4,957	40,311	7,324	34,521	6,437	21,071	3,965	18,161	3,401	22,925	4,245
飼料用米	8,020	1,410	23,264	4,123	81,237	14,883	183,033	33,955	183,431	34,525	115,350	21,802	178,486	33,881	421,077	79,766
WCS用稲 (稲発酵飼料用稲)	-	9,089	-	10,203	-	15,939	-	23,086	-	25,672	-	26,600	-	30,929	-	38,226
バイオエタノール用米	2,426	303	2,314	295	2,940	397	2,998	415	2,793	450	2,594	414	2,373	384	0	0
輸出用米	391	74	926	164	2,184	388	1,626	287	2,524	454	2,825	507	6,092	1,092	8,482	1,547
酒造用米	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4,354	859	7,096	1,387
その他 (わら専用稲、青刈り用稲等)	982	1,330	1,108	956	694	508	852	501	857	553	659	457	1,074	527	15	283
合計	12,386	12,314	40,654	18,142	114,851	37,072	228,820	65,569	224,127	68,091	142,499	53,744	210,540	71,073	459,596	125,454

資料：農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」

注：1 WCS用稲、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため計画生産量はなし。

注：2 平成27年産は平成27年9月15日現在の値。

注：3 「酒造用」は、「需要に応じた米生産の推進に関する要領」に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米を指す。

注：4 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。



③ 加工用米・新規需要米等の取組状況(平成27年産)

(単位:トン)

	加工用米			新規需要米			政府備蓄米	合計
	うるち米	もち米		飼料用米	輸出用米	その他		
北海道	19,774	12,393	7,381	12,523	220	383	14,080	46,980
青森	6,817	5,964	854	41,130	222	14	20,450	68,633
岩手	6,929	6,374	555	22,043	422	279	8,000	37,674
宮城	4,165	3,682	483	25,834	64	331	11,000	41,394
秋田	59,883	40,862	19,021	16,540	660	2,217	25,500	104,800
山形	19,610	18,412	1,198	22,301	838	1,047	13,530	57,327
福島	2,049	2,039	10	19,530	24	75	20,000	41,677
茨城	8,405	8,059	346	36,698		144	1,480	46,727
栃木	10,802	10,790	13	48,874	11	962	11,170	71,819
群馬	5,735	5,709	26	8,659	2	1,248		15,644
埼玉	913	908	5	13,559	0	1,032	640	16,144
千葉	7,681	4,522	3,159	21,362	1	390	1,641	31,075
東京						0		0
神奈川				79				79
新潟	35,008	25,017	9,991	18,523	3,417	10,826	32,400	100,174
富山	5,832	4,741	1,091	3,407	369	844	12,840	23,292
石川	4,218	3,720	499	2,731	577	394	4,020	11,940
福井	2,779	2,591	188	3,729	300	115	640	7,564
山梨	265	265		71		10		346
長野	4,586	4,239	347	2,345	172	239	770	8,113
岐阜	1,255	1,235	20	11,627	1	180	740	13,802
静岡	773	772	0	4,595	8	3	50	5,429
愛知	2,419	2,248	170	8,775	523	277	1,083	13,077
三重	1,300	1,280	21	7,007	381	180	810	9,678
滋賀	6,492	6,125	366	3,386	185	440	1,600	12,103
京都	2,860	2,777	83	558		44		3,462
大阪				14		24		38
兵庫	3,827	3,659	168	885	36	4,284	324	9,356
奈良				310		122		432
和歌山				17				17
鳥取	933	933		5,694		12	1,320	7,960
島根	1,767	1,700	66	5,675	1	67	100	7,609
岡山	2,854	2,758	96	6,176	1	1,196	3,170	13,396
広島	2,233	2,199	34	1,992	3	814	300	5,342
山口	5,121	5,121		2,996	1	82	340	8,539
徳島	167	167		4,666		74	830	5,737
香川	427	427		1,869	1	61		2,357
愛媛	26	26		1,177		23	340	1,567
高知	326	326		4,090		56	23	4,494
福岡	2,295	2,248	48	7,552	26	429	328	10,630
佐賀	693	594	98	1,841		39	806	3,379
長崎	43	43		766	0	40	45	895
熊本	5,451	3,646	1,805	6,679	12	862	590	13,593
大分	515	504	11	6,931	3	87	240	7,776
宮崎	5,524	5,524		2,218		64		7,806
鹿児島	3,766	3,601	165	3,643	3	27		7,438
沖縄								
合計	256,518	208,199	48,318	421,077	8,482	30,037	250,000	966,113

資料：農林水産省「平成27年産加工用枚の都道府県別の取組計画認定状況」(H27年9月15日現在)、「平成27年産新規需要米の都道府県別の取組計画認定状況」(平成27年9月15日現在)、「国内産政府備蓄米の買入札の結果」(平成27年産)

注：1 政府備蓄米の合計は、買入対象米穀の産地の指定無し分58,800トンを含んでいる。

注：2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。— 52 —

- 26年産米の27年3月31日現在の検査数量は、水稻うるち玄米で488万トンとなっており、1等米比率は81.2%。
- また、27年産米の27年8月31日現在の検査数量は、水稻うるち玄米で22万トン。

(6) 水稻うるち玄米の検査結果

検査数量及び等級比率(年産別)

(単位:トン、%)

年産別	検査数量	等級別数量				等級比率			
		1等	2等	3等	規格外	1等	2等	3等	規格外
17	5,047,547	3,788,571	1,000,515	168,455	90,006	75.1	19.8	3.3	1.8
18	4,776,481	3,746,166	822,163	112,475	95,677	78.4	17.2	2.4	2.0
19	4,805,870	3,826,432	795,452	95,082	88,903	79.6	16.6	2.0	1.8
20	5,093,440	4,073,571	849,087	76,542	94,240	80.0	16.7	1.5	1.9
21	4,818,603	4,102,807	582,137	48,396	85,263	85.1	12.1	1.0	1.8
22	4,859,642	3,013,076	1,570,194	152,813	123,559	62.0	32.3	3.1	2.5
23	4,753,193	3,840,127	759,339	60,000	93,727	80.8	16.0	1.3	2.0
24	5,041,489	3,953,978	910,522	82,760	94,229	78.4	18.1	1.6	1.9
25	5,205,717	4,112,147	905,866	96,289	91,415	79.0	17.4	1.8	1.8
26(注2)	4,880,137	3,964,552	771,226	64,103	80,256	81.2	15.8	1.3	1.6
27(注3)	219,739	160,160	52,249	6,197	1,134	72.9	23.8	2.8	0.5

資料：農林水産省とりまとめ

注：1 等級比率は、1等であれば農産物検査法に基づく検査の結果、1等に格付けされた割合である。

2 26年産米については、平成27年3月31日現在(速報値)。

3 27年産米については、平成27年8月31日現在(速報値)。

(参考)うるち米検査数量の推移(累計)

単位:千トン

年産	当年						翌年			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月
平成23年	11	167	1,488	3,490	3,928	4,082	4,186	4,302	4,413	4,753
平成24年	13	223	1,732	3,750	4,156	4,313	4,411	4,532	4,657	5,041
平成25年	23	265	1,869	3,806	4,248	4,433	4,537	4,661	4,793	5,206
平成26年	12	229	1,789	3,785	4,276	4,470	4,595	4,720	4,880	
参考:前年比	52%	86%	96%	99%	101%	101%	101%	101%	102%	
平成27年	11	220								
参考:前年比	93%	96%								

注：1 各月末時点の検査数量である。

2 生産年の7月から翌年3月までは速報値、翌年10月は確定値である。

## V 飼料用米の推進、飼料用米の需要量等

### (1) 飼料用米のマッチングの取組状況、配合飼料メーカーへの飼料用の供給等

#### 飼料用米のマッチングの取組状況

- 27年産飼料用米については、畜産農家から新たに210件、約5万トンの供給希望が寄せられており、生産要望のある耕種農家とのマッチングを実施。さらに、全農グループ飼料会社において60万トン(MA米・備蓄米含む)、日本飼料工業会において63万トン(中・長期的には約200万トン)の需要があるなど、配合飼料メーカーからの要望もあり、農林水産省としてもこれらのマッチング活動を推進。
- 27年産飼料用米の生産・利用拡大に向けては、全国、地方ブロック、各県(地域)段階において推進体制を整備し、生産・流通・利用にかかる各種課題解決に向けた取組を総合的に推進。

#### ○ 27年産に係る飼料用米の需要量

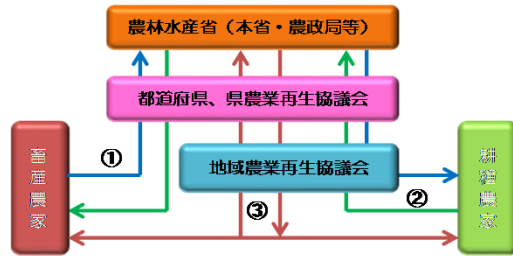
- 畜産農家の新規需要量: 210件(約5万トン)  
(平成27年7月31日現在の報告分)
- 全農グループ飼料会社: 年間60.0万トン  
(使用可能数量: MA米・備蓄米含む)
- (協)日本飼料工業会組合員工場: 年間63.4万トン  
(MA米・備蓄米を含まない)

#### ○ 飼料用米に関する飼料メーカーの需要見込量 (平成27年4月)

- 平成27年4月に日本飼料工業会が実施した組合員の飼料用米の需要量調査結果
- ・ 平成27年産の需要量は約63万トン。  
(中長期的にみた需要量は200万トン弱。)

#### ○ マッチング活動の取組体制

- ① 新たに飼料用米の供給を希望する畜産農家の連絡先や希望数量・価格等の取引条件を聞き取り、需要者情報としてとりまとめ、産地側(地域再生協・耕種農家等)へ提供
- ② 地域(再生協)における飼料用米の作付面積や数量を聞き取り、産地情報として取りまとめ、利用側(畜産農家等)へ提供
- ③ 各関係機関が連携し、マッチング活動を推進

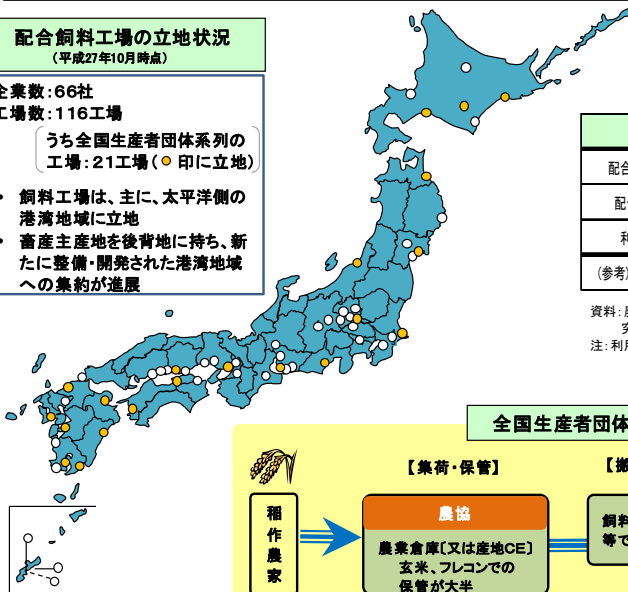


#### 配合飼料メーカーへの飼料用米の供給について

- 耕種農家は、農協に出荷することで、自ら需要先の確保を図る必要がなく、飼料用米の生産に取組可能。
- 農協は、CEや耕種農家が乾燥した飼料用米を地域の農業倉庫等で保管。
- 農協と出荷契約を締結した全国団体は、飼料メーカーの要望に応じ、工場近くの営業倉庫等で開袋・バラ化作業を行い、工場に搬入。
- 飼料メーカーは、とうもろこしの代替として飼料用米を配合し、畜産農家に出荷(工場は、在庫として保有せず、計画的に受入・配合)。
- 飼料工場では、次の課題をクリアすれば、受入量の増加に対応可能。
  - ・ 配合飼料の主原料(とうもろこし等)と同等またはそれ以下の価格での供給
  - ・ 工場への長期的かつ計画的な供給と集荷・流通の円滑化(例えば、半年程度前から供給量の調整を行い、計画的に搬入)

#### 配合飼料工場の立地状況 (平成27年10月時点)

- 企業数: 66社
- 工場数: 116工場
- うち全国生産者団体系列の工場: 21工場(●印に立地)
- ・ 飼料工場は、主に、太平洋側の港湾地域に立地
- ・ 畜産主産地を後背地に持ち、新たに整備・開発された港湾地域への集約が進展



#### 畜種別のコメの利用可能量(試算)

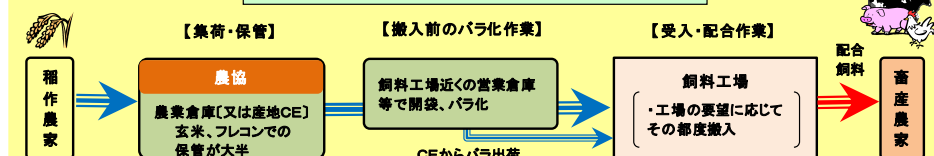
【※家畜の生理や畜産物に影響を与えることなく給与可能と見込まれる量】

区分	採卵鶏	ブロイラー	養豚	乳牛	肉牛	合計
配合飼料生産量	623万 <sup>ト</sup>	381万 <sup>ト</sup>	559万 <sup>ト</sup>	299万 <sup>ト</sup>	430万 <sup>ト</sup>	2,292万 <sup>ト</sup>
配合可能割合	20%	50%	15%	10%	3%	
利用可能量	125万 <sup>ト</sup>	191万 <sup>ト</sup>	84万 <sup>ト</sup>	30万 <sup>ト</sup>	13万 <sup>ト</sup>	442万 <sup>ト</sup>
(参考)25年度使用量	17万 <sup>ト</sup>	17万 <sup>ト</sup>	12万 <sup>ト</sup>	3万 <sup>ト</sup>	2万 <sup>ト</sup>	51万 <sup>ト</sup>

資料: 農林水産省調べ(生産量は飼料メーカー間取り、配合可能割合は畜産栄養有識者からの聞き取り及び研究報告をもとに試算)

注: 利用可能量は、平成26年度の配合飼料生産量に配合可能割合を乗じて算出。

#### 全国生産者団体による飼料用米の集荷・流通体制



(2) 飼料用米の需要量について

- 畜産側の平成27年産に係る飼料用米の需要量は、
  - ① 全農グループ飼料会社：年間60.0万トン（使用可能数量：MA米・備蓄米含む）、
  - ② (協)日本飼料工業会組合員工場：年間63.4万トン（MA米・備蓄米を含まない）、
  - ③ 畜産農家の新規需要量：210件、5.0万トン（平成27年7月31日現在の報告分。追加情報は随時更新）
- 上記の地域別内訳、問い合わせ先は別表1・2・3のとおり。

別表1 全農グループ飼料会社の飼料用米の使用可能数量(平成26年12月現在)

地区	年間使用 可能数量 (千トン)	備考
北海道	88	ホクレンくみあい飼料
東北	82	J A全農北日本くみあい飼料
関東	89	J A東日本くみあい飼料・科学飼料研究所
北陸	24	J A東日本くみあい飼料
東海	27	〃
近畿・中国	46	J A西日本くみあい飼料
四国	32	〃
北九州	49	ジェイエイ北九州くみあい飼料
南九州	162	南日本くみあい飼料・科学飼料研究所
計	600	

※使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。

※実際の使用にあたっては搬入方法等により制限される可能性がある。

※問い合わせ先：J A全農 営農販売企画部飼料用米対策課 TEL:03-6271-8279

別表2 日本飼料工業会組合員の工場の飼料用米需要量（平成27年4月調査）

都道府県	地区	需要量 (千トン：単年度)	(参考) 中長期需要量 <sup>注3</sup> (千トン：単年度)
北海道	釧路、紋別、十勝、割牧、小樽	33	147
青森県	八戸	146	147
岩手県	釜石	18	57
宮城県	石巻・仙台	26	101
茨城県	鹿島	91	360
千葉県	千葉	10	41
静岡県	清水	2	4
愛知県	名古屋・豊橋	43	204
岐阜県	岐阜	0	3
三重県	松坂	0 <sup>注2</sup>	0
兵庫県	神戸	18	49
岡山県	水島	44	214
広島県	広島	8	8
香川県	坂出	6	6
福岡県	門司	45	61
熊本県	八代	3	32
鹿児島	鹿児島	142	530
計		634	1,964

注1) 輸入トウモロコシ価格以下であることが前提の需要量

注2) 三重県については190トンの需要がある。

注3) 新たな設備投資等を含め、中長期的にみた日本飼料工業会組合員飼料メーカーの需要量。

注4) 上記の需要量には、MA米、備蓄米は含まない。

注5) 四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

※(協)日本飼料工業会は「飼料用米ダイヤル」を設置し、飼料用米を生産して売りたい産地の生産者や集荷業者、JA、飼料用米を使用したい傘下の全国の飼料メーカー(工場)との仲介を実施。

※問い合わせ先：「飼料用米ダイヤル」TEL:03-3583-8031 E-mail:Esamai@jafma.or.jp

別表3 畜産農家の27年産飼料用米の新規需要量及びマッチング状況  
(平成27年7月31日現在)

都道府県	新規需要量		確保済み	
	件数	数量(トン)	件数	数量(トン)
<b>合計</b>	<b>210</b>	<b>50,225</b>	<b>83</b>	<b>17,304</b>
北海道	5	1,241	2	230
宮城県	2	2,500	2	1,160
茨城県	32	7,158	5	5,534
栃木県	5	1,060	2	520
群馬県	6	1,510	1	70
千葉県	7	2,378	5	1,752
神奈川県	6	2,191		
山梨県	14	629	2	23
長野県	19	337	14	206
静岡県	2	400	2	380
愛知県	11	1,524	7	710
京都府	1	120		
兵庫県	7	4,144	1	120
奈良県	5	1,531	2	402
島根県	8	693	8	412
広島県	8	3,000	7	1,809
香川県	4	1,340	3	140
愛媛県	21	2,386	6	101
福岡県	5	235		
佐賀県	2	700		
長崎県	3	400	1	150
熊本県	2	1,400		
大分県	6	2,433	3	213
宮崎県	21	3,914	5	583
鹿児島県	1	1,800		
沖縄県	2	21		
その他	5	5,180	5	2,789

\* 供給先が確保されていない新たな需要及びマッチング状況について、都道府県から報告のあった件数・数量を記載(現在とりまとめ中の都道府県もあり)

\* 追加の希望があれば随時更新

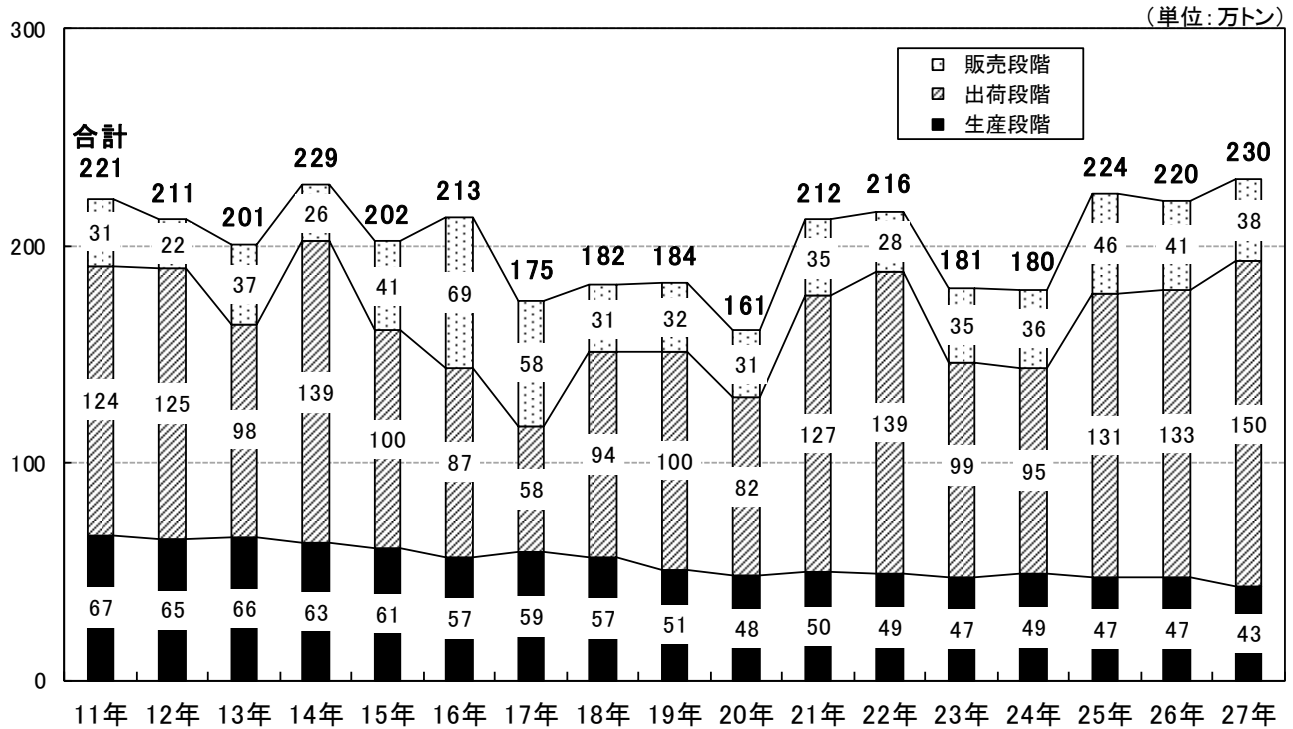
\* 確保済みの件数については、一部確保済みの場合も含む。

\* 県名の公表を希望しない県については、「その他」の欄にまとめて記載。

\* 問い合わせ先: 生産局畜産部畜産振興課 TEL: 03-3502-5993

## VI 主食用米等の需給見通し（平成27年7月の米の基本指針(平成27年7月31日)）

### (1) 民間流通における6月末在庫の推移



注：1 うるち玄米及びもち玄米の値である。

2 各年の民間在庫量において、

① 平成16年以降については、年間玄米取扱数量500トン以上の業者（販売・出荷段階）の数量である。

② 平成15年については、販売段階の在庫量は、旧登録卸売業者の年間玄米取扱数量500トン以上、旧登録小売業者の1,000トン以上の業者の数量、出荷段階の在庫量は、年間玄米取扱数量500トン以上の業者の数量である。

③ 平成14年以前については推計値であり、販売段階の在庫量は、卸在庫量に小売在庫量（推計）を加えた数量、出荷段階の在庫量は、系統在庫量に非系統在庫量（推計）を加えた数量である。

なお、生産段階の在庫量は、「生産者の米穀現在高等調査」（平成22年以降は「生産者の米穀在庫等調査」）を基に算出した在庫量から精米在庫量（推計）を控除した玄米在庫量である。

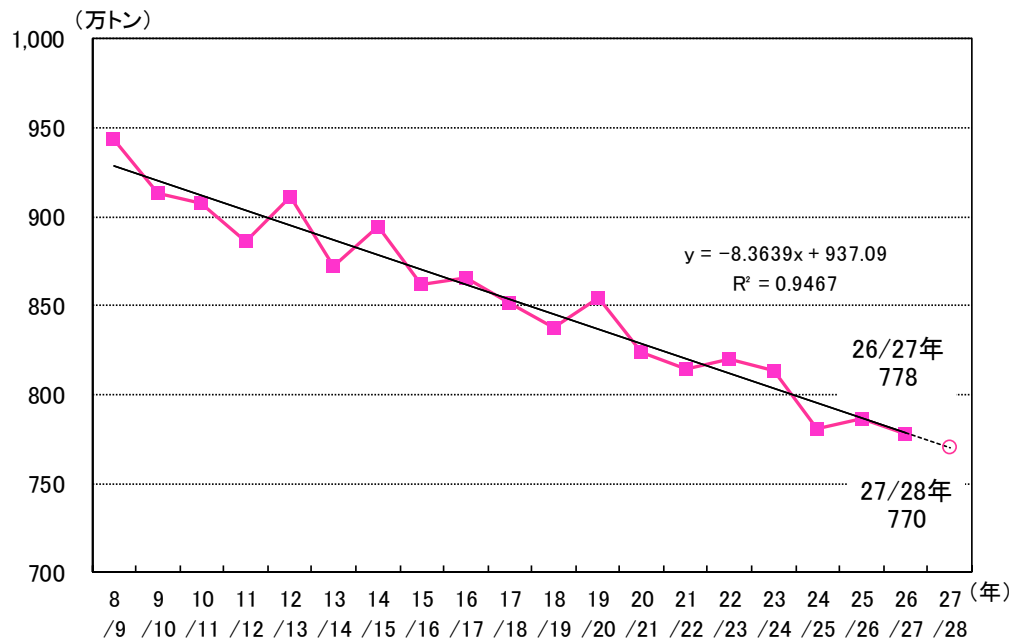
3 平成26年の出荷段階の在庫量は、米穀機構の買入数量35万トンを含んでいない。

4 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

### (2) 主食用米等の需要実績の推移

(単位: 万トン)

年	x	需要量(y)
8/9	1	943.8
9/10	2	912.9
10/11	3	907.3
11/12	4	885.9
12/13	5	911.5
13/14	6	872.1
14/15	7	894.7
15/16	8	861.6
16/17	9	865.4
17/18	10	851.7
18/19	11	837.5
19/20	12	854.5
20/21	13	823.6
21/22	14	814.1
22/23	15	820.0
23/24	16	813.3
24/25	17	781.1
25/26	18	786.6
26/27	19	777.9 (速報値)
27/28	20	769.8 (推計値)



(3) 平成27年7月から平成28年6月の主食用米等の需給見通し

(単位:万トン)

		生産数量 目標	自主的取組 参考値
平成27年6月末民間在庫量	A	230	230
平成27年産米生産数量目標等	B	751	739
平成27/28年主食用米等供給量計	C=A+B	981	969
平成27/28年主食用米等需要量	D	770	770
平成28年6月末民間在庫量	E=C-D	211	199

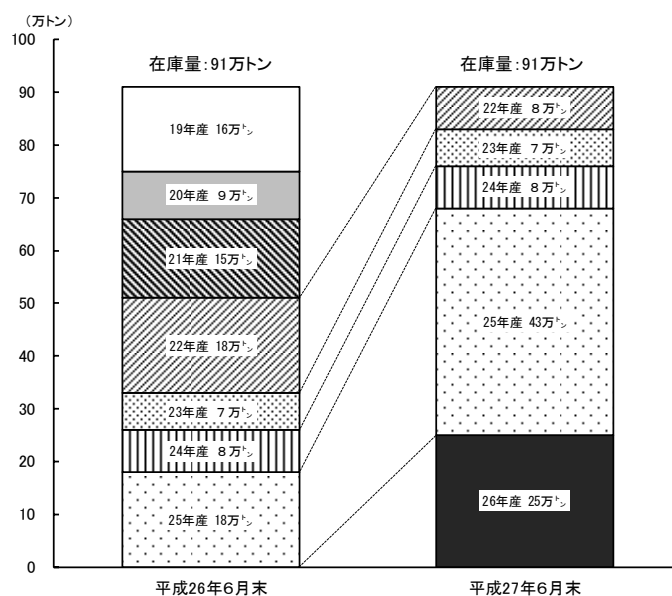
注：自主的取組参考値（739万トン）については、仮にこれだけ生産すれば、平成28年6月末の民間在庫量が過去の平均水準に近づくこととなるものとして設定したものの。

(4) 平成27/28年の備蓄運営、政府備蓄米の在庫状況

平成27/28年の備蓄運営

(単位:万トン)

平成27年6月末備蓄量	A	91
平成27年産米買入契約数量	B	25
平成27/28年非主食用販売量	C	17~25
平成28年6月末備蓄量	D=A+B-C	91~99



注：国産うるち玄米の数量である。

(5) 平成27年産米の生産数量目標（全国）（平成27年3月の基本指針より）

近年の生産数量目標の推移

(単位:万トン)

年産	21	22	23	24	25	26	27
生産数量目標 (自主的取組参考値)	815	813	795	793	791	765	751 (739)
前年差	±0	▲ 2	▲ 18	▲ 2	▲ 2	▲ 26	▲ 14 (▲ 26)

注：平成27年産米については、生産数量目標の設定に併せ、仮にこれだけ生産すれば、平成28年6月末の民間在庫が過去の平均水準（199万トン）に近づくこととなるものとして、全国の自主的取組参考値739万トンを設定しました。

【参 考】

米穀の需給に関する詳細は、「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」に掲載しています。  
 農林水産省ホーム > 組織・政策 > 審議会 > 食料・農業・農村政策審議会 > 食糧部会 >  
 食料・農業・農村政策審議会食糧部会 配布資料（27年7月31日開催）  
<http://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/syokuryo/150731/index.html>



表 平成27年産米の都道府県別の生産数量目標等

(単位:トン、ha)

都道府県	生産数量目標	自主的取組		
		面積換算値	参考値	面積換算値
北海道	547,330	101,920	538,580	100,290
青森	242,460	41,520	238,580	40,850
岩手	271,210	50,880	266,880	50,070
宮城	348,620	65,780	343,050	64,730
秋田	417,540	72,870	410,860	71,700
山形	344,500	58,000	338,990	57,070
福島	339,550	63,230	334,130	62,220
茨城	337,370	64,630	331,980	63,600
栃木	298,690	55,310	293,920	54,430
群馬	75,670	15,320	74,460	15,070
埼玉	151,270	30,870	148,850	30,380
千葉	246,490	46,070	242,550	45,340
東京	770	190	760	180
神奈川	14,400	2,920	14,170	2,870
新潟	521,290	96,540	512,960	94,990
富山	185,650	34,570	182,680	34,020
石川	123,630	23,820	121,650	23,440
福井	125,460	24,170	123,460	23,790
山梨	27,430	5,010	26,990	4,930
長野	194,000	31,240	190,900	30,740
岐阜	111,270	22,800	109,490	22,440
静岡	82,920	15,920	81,600	15,660
愛知	134,970	26,620	132,820	26,200
三重	143,510	28,700	141,210	28,240
滋賀	160,450	30,970	157,880	30,480
京都	75,930	14,860	74,720	14,620
大阪	26,220	5,300	25,800	5,210
兵庫	180,440	35,800	177,560	35,230
奈良	41,690	8,130	41,030	8,000
和歌山	34,850	7,040	34,290	6,930
鳥取	66,110	12,860	65,060	12,660
島根	90,000	17,680	88,560	17,400
岡山	158,550	30,140	156,020	29,660
広島	129,970	24,850	127,890	24,450
山口	108,760	21,580	107,020	21,230
徳島	58,540	12,350	57,600	12,150
香川	70,240	14,080	69,120	13,850
愛媛	73,920	14,840	72,740	14,610
高知	50,070	10,880	49,270	10,710
福岡	182,470	36,570	179,550	35,980
佐賀	138,420	26,520	136,210	26,090
長崎	62,850	13,150	61,840	12,940
熊本	189,310	36,760	186,290	36,170
大分	117,690	23,400	115,810	23,020
宮崎	93,600	18,830	92,100	18,530
鹿児島	111,070	23,000	109,290	22,630
沖縄	2,860	930	2,820	910
全国計	751万トン	142万ha	739万トン	140万ha

Ⅶ 備蓄米及びMA米の動向

(1) 国内産政府備蓄米の買入予定数量及び買入入札の結果

① 平成27年産政府備蓄米の都道府県別優先枠及び買入入札の結果

(単位：トン)

買入対象米穀 の産地	都道府県別 優先枠	買入入札の結果								27年産 落札 合計数量
		落札数量								
		第1回 平成27年 1月27日実施	第2回 2月10日実施	第3回 2月24日実施	第4回 3月10日実施	第5回 3月24日実施	第6回 4月21日実施	第7回 5月19日実施	第8回 6月23日実施	
北海道	14,080	1,125	1,060	11,895	0	0				14,080
青森	20,450	14,696	5,754	0	0	0				20,450
岩手	8,000	8,000	0	0	0	0				8,000
宮城	11,000	246	10,754	0	0	0				11,000
秋田	25,500	23,279	2,221	0	0	0				25,500
山形	13,530	13,530	0	0	0	0				13,530
福島	20,000	20,000	0	0	0	0				20,000
茨城	1,480	625	855	0	0	0				1,480
栃木	11,170	11,170	0	0	0	0				11,170
群馬										
埼玉	640	90	550	0	0	0				640
千葉	2,830	949	509	46	74	63				1,641
東京都										
神奈川県										
新潟	32,400	32,400	0	0	0	0				32,400
富山	12,840	12,840	0	0	0	0				12,840
石川	4,020	4,020	0	0	0	0				4,020
福井	640	640	0	0	0	0				640
山梨										
長野	770	770	0	0	0	0				770
岐阜	740	10	730	0	0	0				740
静岡	100	30	20	0	0	0				50
愛知	1,810	0	400	0	683	0				1,083
三重	810	810	0	0	0	0				810
滋賀	1,600	97	1,503	0	0	0				1,600
京都										
大阪										
兵庫	560	30	270	9	0	15				324
奈良	30	0	0	0	0	0				0
和歌山										
鳥取	1,320	0	1,320	0	0	0				1,320
島根	100	100	0	0	0	0				100
岡山	3,170	3,170	0	0	0	0				3,170
広島	1,010	0	300	0	0	0				300
山口	340	0	340	0	0	0				340
徳島	1,520	20	300	232	180	98				830
香川	530	0	0	0	0	0				0
愛媛	340	10	330	0	0	0				340
高知	80	0	0	0	0	23				23
福岡	460	0	328	0	0	0				328
佐賀	830	0	0	0	792	14				806
長崎	80	0	30	15	0	0				45
熊本	590	206	384	0	0	0				590
大分	240	0	240	0	0	0				240
宮崎										
鹿児島										
沖縄										
都道府県別枠計	195,610	148,863	28,198	12,197	1,729	213				191,200
指定なし	54,390	54,390	0	0	0	0	2,708	518	1,184	58,800
合計	250,000	203,253	28,198	12,197	1,729	213	2,708	518	1,184	250,000

② 国内産備蓄米の買入入札の結果（落札結果）（平成23～26年産）  
（単位：トン）

買入対象米穀 の産地	23年産	24年産	25年産	26年産
北海道	7,000	5,768	14,058	14,080
青森		2,388	20,028	20,450
岩手	5,683	5,149	7,600	8,000
宮城		3,952	7,428	11,000
秋田	11,274	9,595	25,411	25,500
山形	3,900	7,690	12,500	13,530
福島		52	11,074	20,000
茨城		90	1,478	1,480
栃木		1,848	11,163	11,170
群馬				
埼玉			600	640
千葉		99	2,650	2,830
東京				
神奈川				
新潟		9,614	30,948	32,400
富山	6,200	7,920	12,831	12,840
石川		810	4,000	4,020
福井		1,300	632	640
山梨				
長野		93	758	770
岐阜			735	740
静岡			62	100
愛知			1,803	1,380
三重		699	807	810
滋賀			1,572	1,600
京都				
大阪				
兵庫			554	435
奈良			30	
和歌山				
鳥取			1,320	1,320
島根			95	100
岡山		150	2,974	3,170
広島	1,017	603	1,002	1,010
山口	3,003	785	336	340
徳島			1,443	1,520
香川	585		500	530
愛媛	422	345	336	340
高知			76	68
福岡	120	120	454	386
佐賀	188	190	830	830
長崎			80	20
熊本			583	590
大分			240	240
宮崎				
鹿児島				
沖縄				
都道府県別総計	39,392	59,260	178,991	194,879
指定なし	28,246	24,130	4,101	55,121
合計	67,638	83,390	183,092	250,000

(2) MA米（一般・SBS）の動向

① MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

（単位：万玄米トン）

	米 国	タ イ	中 国	オースト ラリア	その他	合 計	うち一般輸入	
							うち一般輸入	うちSBS輸入※
平成7年度	19	11	3	9	1	43	42	1
平成8年度	23	14	4	9	1	51	49	2
平成9年度	29	15	5	9	1	60	54	6
平成10年度	31	15	8	11	3	68	55	12
平成11年度	34	16	9	12	2	72	59	12
平成12年度	36	17	10	12	2	77	63	12
平成13年度	36	15	14	11	1	77	66	10
平成14年度	36	15	11	10	4	77	71	5
平成15年度	36	15	11	9	5	76	65	10
平成16年度	36	19	10	2	10	77	66	9
平成17年度	36	19	8	2	12	77	66	10
平成18年度	36	18	8	5	10	77	65	10
平成19年度	36	24	8	-	1	70	59	10
平成20年度	43	26	7	-	1	77	66	10
平成21年度	36	33	7	-	1	77	66	10
平成22年度	36	35	2	4	1	77	73	4
平成23年度	36	24	6	7	4	77	66	10
平成24年度	36	28	5	6	1	77	66	10
平成25年度	36	35	0	4	2	77	70	6
平成26年度	36	33	6	1	1	77	75	1
平成27年度 (9月末現在)	5	5	1	-	-	12	12	1

資料： 農林水産省「米をめぐる関係資料」  
※SBS輸入数量の単位は万実トン。

- 注： 1 各年度の輸入契約数量の推移。  
2 ラウンドの関係で合計が一致しないことがある。  
3 実トンと玄米トンのため合計は一致しないことがある。

（参考）MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1～0.2千トン程度

② 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果(平成27年度)

(単位：トン)

販売期間	うるち	販売期間	もち
平成27年4～6月分	13,301	平成27年4～7月分	2,882
4月分	522	/	
5月分	368		
6月分	979		
小計	15,170	小計	2,882
合計	18,052		

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

③ SBS輸入米の見積合わせ結果(平成27年度)

(単位：実トン)

		アメリカ		タイ		中国		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 (平成27年9月16日)	一般米	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	砕精米	220	100	200	108	0	0	0	0	628
合計	一般米	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	砕精米	220	100	200	108	0	0	0	0	628
平成22年度計 (参考)	一般米	2,904	2,228	1,880	120	2,936	0	538	0	10,606
	砕精米	16,438	640	9,010	0	532	0	0	0	26,620
平成23年度計 (参考)	一般米	7,490	5,324	2,038	80	50,463	0	17,155	0	82,550
	砕精米	10,124	990	2,320	3,384	632	0	0	0	17,450
平成24年度計 (参考)	一般米	34,076	2,290	1,536	72	27,640	0	24,386	0	90,000
	砕精米	4,032	576	2,898	364	524	0	1,606	0	10,000
平成25年度計 (参考)	一般米	14,686	4,396	3,346	144	174	0	17,993	0	40,739
	砕精米	576	388	7,375	308	540	0	10,913	0	20,100
平成26年度計 (参考)	一般米	662	2,418	2,732	72	80	0	1,326	0	7,290
	砕精米	0	724	2,540	252	700	0	100	0	4,316

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」の平成22～27年度

## (参考1)米の安定取引研究会報告書の概要

### 米の安定取引研究会報告書の概要について

平成27年3月30日  
農林水産省

- 農林水産業・地域の活力創造プランに基づき、米の「安定取引の一層の推進」等を進めるため、昨年12月より、米の集荷業者、卸・小売業者、中食・外食業者からなる研究会を立ち上げ。
- これまで5回にわたり議論が行われ、平成27年3月30日、安定取引の必要性とその拡大のための対応方向が報告書として取りまとめられた。

#### 報告書の概要

##### 事前契約(安定取引)の拡大の必要性

- 米については、民間取引において需給動向等により価格が決定することが基本であるが、作柄による供給変動等により大幅な価格変動が生じている。
- 播種前契約、複数年契約などの事前契約(安定取引)は、価格変動を一定の幅に収めることができるとともに、行政による生産数量目標の配分に頼らない生産体制を目指す米政策の見直しの実現にも資する。

##### 安定取引の拡大に向けた対応

- 価格が作柄などの需給動向以外の不透明な要因で大幅に変動すれば、安定取引の拡大自体に支障が生ずるとの意見が多く示された。
- 概算金は、作柄等が明らかでない7～8月ごろに明確な根拠が示されず大きく変動する形で設定され、市場価格にも影響を与えているが、その透明化が重要との意見が多く示された。
- このため、生産者が営農計画を作成する6月頃の段階で、例えば、「過去3ヶ年平均」や「5中3平均」など透明性の高いものとして概算金を決定することが望ましいとの意見が多く示された。また、その前提として、需給の安定を図ることが重要との意見や、作柄や需給動向が想定と大きく異なる場合は所要の補正を行えるようにすることが望ましいとの意見も示された。
- 相対取引基準価格についても、同様の考え方で当初の水準を設定し、実際の作柄や需給動向が明らかになった後にそれらも踏まえつつ、取引当事者が納得する形で実際の取引が行われていくことが望ましいとの意見が多く示された。

##### 現物市場の活性化

- 米の取引については、長期間品質が劣化しにくい等の商品特性から、相対取引が流通の相当部分を占めてきたところであり、現物市場については、こうした特性を踏まえ、今後も、スポット取引の場や相場の参考にする場として活用したいとの意見、多様な受渡方法を取り込んでいくなど活用しやすいものとなるよう創意工夫が進められることや丁寧な情報提供等が必要であるとの意見も示された。

「米の安定取引研究会」に関する資料、概要、報告書(全体版)については、  
農林水産省ホームページに掲載しています。

ホーム > 組織・政策 > 政策統括官 > 米(稲)・麦・大豆 > 審議会・懇談会等 > 米の安定取引研究会  
【[http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/kome\\_antei\\_torihiki/index.html](http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/kome_antei_torihiki/index.html)】

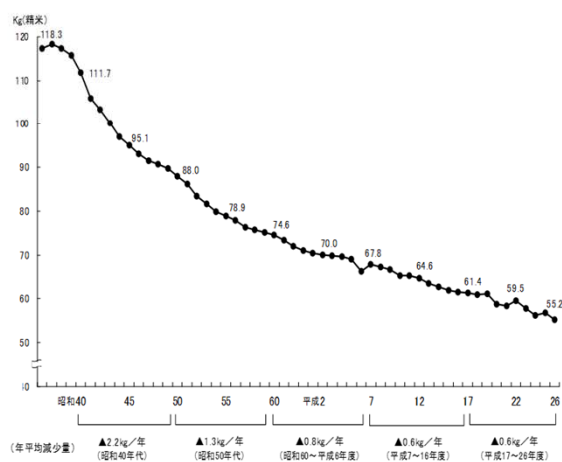
# 米をめぐる状況について

平成27年9月  
農林水産省

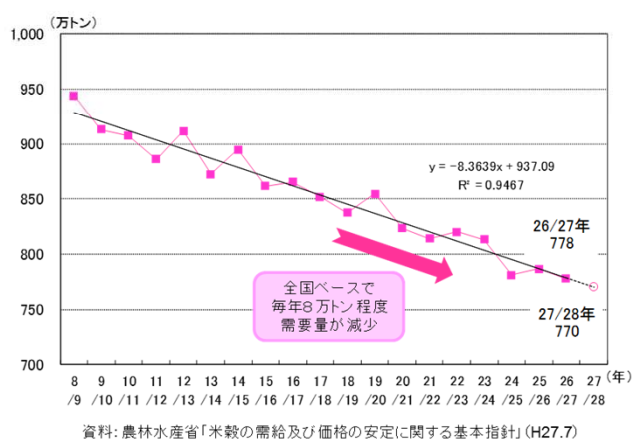
## 米の消費に関する動向

- 米の1人当たりの年間消費量は、昭和37年度をピークに一貫して減少傾向にある。具体的には、37年度には118kgの米を消費していたのが、平成26年度には、その半分程度の55kgにまで減少している。
- また、米の全国ベースでの需要量は毎年約8万トンずつの減少傾向にある。

### ○米の年間1人あたり消費量の推移



### ○米の需要量の推移



1

資料「米をめぐる状況について」(平成27年9月)の全体版は、  
農林水産省ホームページに掲載しています。  
ホーム > 組織・政策 > 政策統括官 > 米(稲)・麦・大豆 > 注目情報 >  
米に関する各種資料について > 米をめぐる参考資料  
【[http://www.maff.go.jp/j/seisan/kikaku/kome\\_siryou.html](http://www.maff.go.jp/j/seisan/kikaku/kome_siryou.html)】

(参考3)平成26年産ナラシ対策の支払実績(平成27年7月31日現在)

全 国 都 道 府 県	加入件数  (件)	支払件数  (件)	補てん総額  (億円)	(参考1) ※ 米の10a当たり 補てん単価  (円/10a)	(参考2) ※ 米加入面積10haの 場合の補てん額の推計  (万円)	
全 国	69,741	58,375	516.42	22,157	221	
北 海 道	18,830	11,495	84.93	10,836	108	
東 北	青 森 県	2,060	1,984	21.16	22,652	226
	岩 手 県	2,003	1,945	23.36	20,533	205
	宮 城 県	2,689	2,407	24.37	20,376	203
	秋 田 県	6,177	6,044	60.49	23,535	235
	山 形 県	5,177	5,098	37.24	19,159	191
	福 島 県	2,041	1,999	18.73	22,179	221
関 東	茨 城 県	1,509	1,402	11.24	21,708	217
	栃 木 県	2,956	2,882	27.10	22,355	223
	群 馬 県	478	465	5.45	19,126	191
	埼 玉 県	377	335	3.18	19,852	198
	千 葉 県	175	164	2.04	21,645	216
	東 京 都	—	—	—	17,297	172
	神 奈 川 県	67	67	0.13	20,910	209
	山 梨 県	47	42	0.21	19,188	191
	長 野 県	605	568	10.89	25,819	258
静 岡 県	151	149	2.40	19,932	199	
北 陸	新 潟 県	9,028	8,662	54.23	14,538	145
	富 山 県	1,280	1,126	25.74	23,420	234
	石 川 県	1,145	1,068	14.35	22,075	220
	福 井 県	882	762	10.53	21,854	218
東 海	岐 阜 県	468	395	6.75	20,271	202
	愛 知 県	360	158	1.61	18,436	184
	三 重 県	585	409	4.19	20,921	209
近 畿	滋 賀 県	1,357	1,149	13.05	21,685	216
	京 都 府	178	164	1.09	20,279	202
	大 阪 府	6	5	0.01	20,836	208
	兵 庫 県	682	676	1.89	19,599	195
	奈 良 県	11	10	0.02	21,447	214
	和 歌 山 県	4	4	0.00	20,694	206
中 国 ・ 四 国	鳥 取 県	156	134	1.92	20,744	207
	島 根 県	441	436	5.26	21,315	213
	岡 山 県	304	289	2.87	20,591	205
	広 島 県	311	303	4.46	21,021	210
	山 口 県	657	529	3.87	20,097	200
	徳 島 県	32	30	0.22	19,249	192
	香 川 県	319	278	3.75	20,176	201
	愛 媛 県	290	263	1.46	19,818	198
九 州	高 知 県	70	65	0.38	19,686	196
	福 岡 県	1,069	488	2.51	15,853	158
	佐 賀 県	1,092	872	11.98	21,176	211
	長 崎 県	173	106	0.57	17,114	171
	熊 本 県	861	718	3.26	20,128	201
	大 分 県	919	670	2.40	19,842	198
沖 縄	宮 崎 県	1,290	1,154	2.59	21,657	216
	鹿 児 島 県	411	388	2.50	20,390	203
沖 縄 県	18	18	0.05	11,807	118	

(注1) 加入件数は、平成26年7月31日時点の積立金納付者の件数である。

(注2) ラウンドの関係で合計数値は一致しない場合がある。

※ 米の10a当たり補てん単価及び米加入面積10haの場合の補てん額の推計は、20%コースの場合。米のみで試算したものであり、実際の支払では、麦・大豆等との合算相殺がある。また、(参考2)の米加入面積10haの場合の補てん額の推計は、表記上、1万円未満は切り捨てている。



(参考4) 麦・大豆の需要情報

(1) 27年産麦の産地別銘柄別入札結果

27年産国内産麦の入札の結果、取引の基準となる指標価格(加重平均)(税込)は、麦種別平均で、小麦49,770円/トン、小粒(六条)大麦47,595円/トン、大粒(二条)大麦45,740円/トン、はだか麦47,712円/トン。

(単位:円、トン)

麦種	産地	銘柄	地域区分	税込			税別				上場数量 (6)	申込数量 (7)	落札数量	落札 残数量	申込倍率 (7)÷(6)
				基準価格 (1)	指標価格 (加重平均) (2)	対比 (2)÷(1)	基準価格 (3)	指標価格 (4)	前年産 指標価格 (5)	前年産 対比 (4)÷(5)					
小麦	北海道	春よ恋	全地区	60,053	54,116	90.1%	55,605	50,107	55,884	89.7%	12,060	1,700	1,700	10,360	0.1
小麦	北海道	キタノカオリ	全地区	61,271	55,429	90.5%	56,732	51,323	57,017	90.0%	2,780	1,040	1,040	1,740	0.4
小麦	北海道	きたほなみ	全地区	48,670	50,266	103.3%	45,065	46,543	45,291	102.8%	142,350	238,990	142,350	0	1.7
小麦	北海道	ゆめちから	全地区	50,062	46,167	92.2%	46,354	42,747	46,587	91.8%	17,350	4,520	4,520	12,830	0.3
小麦	北海道	はるきらり	全地区	50,962	45,904	90.1%	47,187	42,504	47,424	89.6%	1,570	1,160	1,160	410	0.7
小麦	岩手	ゆきちから	全地区	37,237	35,823	96.2%	34,479	33,169	34,652	95.7%	900	800	750	150	0.9
小麦	宮城	シラネコムギ	全地区	36,078	33,903	94.0%	33,406	31,392	33,574	93.5%	620	710	510	110	1.1
小麦	茨城	さとのそら	全地区	32,410	34,433	106.2%	30,009	31,882	30,160	105.7%	3,420	5,720	3,420	0	1.7
小麦	栃木	さとのそら	全地区	39,725	35,777	90.1%	36,782	33,127	36,967	89.6%	640	320	320	320	0.5
小麦	群馬	つるびかめ	全地区	50,032	52,113	104.2%	46,326	48,253	46,559	103.6%	1,200	2,020	1,200	0	1.7
小麦	群馬	さとのそら	全地区	45,419	41,819	92.1%	42,055	38,721	42,266	91.6%	5,120	3,620	3,620	1,500	0.7
小麦	埼玉	さとのそら	全地区	41,067	37,708	91.8%	38,025	34,915	38,216	91.4%	4,830	3,980	3,840	990	0.8
小麦	岐阜	農林61号	全地区	50,274	50,589	100.6%	46,550	46,842	46,784	100.1%	1,140	1,640	840	300	1.4
小麦	岐阜	イワイノダイチ	全地区	47,806	49,232	103.0%	44,265	45,585	44,487	102.5%	1,080	2,310	1,080	0	2.1
小麦	愛知	農林61号	全地区	52,370	50,115	95.7%	48,491	46,403	48,735	95.2%	910	1,360	910	0	1.5
小麦	愛知	きぬあかり	全地区	51,291	48,576	94.7%	47,492	44,978	47,731	94.2%	5,280	5,140	3,740	1,540	1.0
小麦	滋賀	農林61号	全地区	58,896	54,351	92.3%	54,533	50,325	54,807	91.8%	3,900	3,120	2,260	1,640	0.8
小麦	滋賀	ふくさやか	全地区	54,971	54,588	99.3%	50,899	50,544	51,155	98.8%	1,120	1,730	1,120	0	1.5
小麦	兵庫	シロガネコムギ	全地区	48,621	51,569	106.1%	45,019	47,749	45,245	105.5%	650	1,220	650	0	1.9
小麦	香川	さぬきの夢2009	全地区	72,832	69,423	95.3%	67,437	64,281	67,776	94.8%	1,430	2,980	1,430	0	2.1
小麦	福岡	シロガネコムギ	全地区	54,174	53,063	97.9%	50,161	49,132	50,413	97.5%	6,010	5,380	4,290	1,720	0.9
小麦	福岡	チクゴイズミ	全地区	66,960	52,678	78.7%	62,000	48,776	62,312	78.3%	5,710	1,700	1,700	4,010	0.3
小麦	福岡	ミナミノカオリ	全地区	61,916	50,982	82.3%	57,330	47,206	57,618	81.9%	1,950	910	910	1,040	0.5
小麦	佐賀	シロガネコムギ	全地区	49,554	50,952	102.8%	45,883	47,178	46,114	102.3%	6,470	7,760	6,470	0	1.2
小麦	佐賀	チクゴイズミ	全地区	62,880	56,593	90.0%	58,222	52,401	58,515	89.6%	4,320	1,980	1,980	2,340	0.5
小麦	大分	チクゴイズミ	全地区	61,072	55,131	90.3%	56,548	51,047	56,832	89.8%	1,200	430	430	770	0.4
—	—	—合 計—	—	49,257	49,770	101.0%	45,608	46,083	45,837	100.5%	234,010	302,240	192,240	41,770	1.3
小粒(六条)大麦	宮城	シュンライ	全地区	39,301	39,301	100.0%	36,390	36,390	36,390	100.0%	540	530	440	100	1.0
小粒(六条)大麦	宮城	ミノリムギ	全地区	40,162	40,162	100.0%	37,187	37,187	37,187	100.0%	220	370	220	0	1.7
小粒(六条)大麦	茨城	カシマムギ	全地区	47,319	47,319	100.0%	43,814	43,814	43,814	100.0%	550	560	550	0	1.0
小粒(六条)大麦	茨城	カシマゴール	全地区	44,953	44,953	100.0%	41,623	41,623	41,623	100.0%	1,060	1,060	1,060	0	1.0
小粒(六条)大麦	栃木	シュンライ	全地区	40,448	40,580	100.3%	37,452	37,574	37,452	100.3%	1,250	2,030	1,250	0	1.6
小粒(六条)大麦	群馬	シュンライ	全地区	40,923	40,975	100.1%	37,892	37,940	37,892	100.1%	460	970	460	0	2.1
小粒(六条)大麦	富山	ファイバースノウ	全地区	50,754	50,754	100.0%	46,994	46,994	46,994	100.0%	2,410	2,940	2,410	0	1.2
小粒(六条)大麦	石川	ファイバースノウ	I地区	48,021	48,021	100.0%	44,464	44,464	44,464	100.0%	590	1,260	590	0	2.1
小粒(六条)大麦	福井	ファイバースノウ	全地区	51,076	51,076	100.0%	47,293	47,293	47,293	100.0%	4,200	5,420	4,200	0	1.3
小粒(六条)大麦	長野	ファイバースノウ	全地区	42,085	42,317	100.6%	38,968	39,182	38,968	100.5%	300	1,020	300	0	3.4
小粒(六条)大麦	兵庫	シュンライ	全地区	44,990	45,149	100.4%	41,657	41,805	41,657	100.4%	350	410	350	0	1.2
—	—	—合 計—	—	47,568	47,595	100.1%	44,044	44,069	44,044	100.1%	11,930	16,570	11,830	100	1.4
大粒(二条)大麦	茨城	ミカモゴールド	全地区	30,322	30,872	101.8%	28,076	28,585	28,076	101.8%	760	570	550	210	0.8
大粒(二条)大麦	栃木	サチホゴールド	全地区	32,419	32,271	99.5%	30,018	29,881	30,018	99.5%	720	520	520	200	0.7
大粒(二条)大麦	岡山	ミハルゴールド	全地区	50,388	52,222	103.6%	46,656	48,354	46,656	103.6%	300	380	300	0	1.3
大粒(二条)大麦	岡山	スカイゴールド	全地区	50,608	51,542	101.8%	46,859	47,724	—	—	570	510	490	80	0.9
大粒(二条)大麦	佐賀	ニシノホシ	全地区	47,011	48,894	104.0%	43,529	45,272	43,529	104.0%	920	1,390	920	0	1.5
大粒(二条)大麦	佐賀	サチホゴールド	全地区	44,636	47,462	106.3%	41,330	43,946	41,330	106.3%	4,350	7,450	4,350	0	1.7
—	—	—合 計—	—	43,600	45,740	104.9%	40,370	42,352	37,150	114.0%	7,620	10,820	7,130	490	1.4
はだか麦	香川	イチバンボシ	全地区	50,101	46,871	93.6%	46,390	43,399	46,390	93.6%	780	910	780	0	1.2
はだか麦	愛媛	マンネンボシ	全地区	50,932	47,229	92.7%	47,159	43,731	47,159	92.7%	1,250	1,960	1,250	0	1.6
はだか麦	大分	トノカゼ	全地区	52,469	49,327	94.0%	48,582	45,673	48,582	94.0%	860	880	780	80	1.0
—	—	—合 計—	—	51,128	47,712	93.3%	47,341	44,178	47,341	93.3%	2,890	3,750	2,810	80	1.3

資料:(一社)全国米麦改良協会「平成27年産民間流通麦の入札における落札決定状況(公表)」

注:1 基準価格及び指標価格は円/1<sup>ト</sup>当たりの価格であり、税込とは消費税(地方消費税を含む)相当額を含めた額である。

2 建値条件は、ばら、1等、産地倉庫在姿である。

3 基準価格及び指標価格の「合計」欄は、本年産の産地・銘柄毎の基準価格又は指標価格を落札数量で加重平均したものである。

4 小麦の基準価格は、前年産の指標価格に当該年産の第1回入札時点での輸入麦の政府売渡価格の変動率(0.995)を乗じた価格である。









## (参考5) 野菜等の需給情報

- 農林水産省は、我が国の主要な野菜について需要に即した生産を図るため、毎年、次期作の夏秋野菜及び冬春野菜の需要量、供給量、作付面積に関するガイドラインを策定しています。
- 全国出荷団体等は、このガイドラインを踏まえ供給計画を策定し、この計画に即した野菜の出荷に努めることとしています。

### I. 平成27年度 夏秋野菜等の需給ガイドライン

#### 1. 需要量

種別	主な出荷時期	①需要量(トン)	②平成25年産(トン)	①/②
夏秋キャベツ	平成27年7月から10月まで	329,100	330,700	▲0.5%
夏秋きゅうり	平成27年7月から11月まで	262,700	254,700	3.1%
秋冬さといも	平成27年6月から平成28年3月まで	172,600	167,000	3.4%
夏だいこん	平成27年7月から9月まで	212,000	211,300	0.3%
夏秋トマト	平成27年7月から11月まで	293,200	291,800	0.5%
夏秋なす	平成27年7月から11月まで	177,700	176,400	0.7%
秋にんじん	平成27年8月から10月まで	259,500	258,000	0.6%
秋冬ねぎ	平成27年10月から平成28年3月まで	239,900	238,600	0.5%
夏はくさい	平成27年7月から9月まで	132,900	144,900	▲8.3%
夏秋ピーマン	平成27年6月から10月まで	62,400	62,600	▲0.3%
夏秋レタス	平成27年6月から10月まで	202,400	230,000	▲12.0%

(注) 需要量は、過去10カ年(平成16年度～平成25年度。Ⅱで最新のデータが平成26年度の場合は平成17年度～平成26年度。)の一人当たり需要量の推移から回帰式等により推計年次の一人当たり需要量を推計し、これに当該年次の推計人口を乗じることにより、推計。なお、需要量は純食料(人間の消費に直接利用可能な食料の形態)ベースで推計。

#### 2. 国内産供給量

種別	③国内産供給量(収穫量)(トン)	④平成25年産(トン)	③/④
夏秋キャベツ	462,400	464,100	▲0.4%
夏秋きゅうり	274,500	266,900	2.9%
秋冬さといも	166,600	161,600	3.1%
夏だいこん	246,600	246,100	0.2%
夏秋トマト	348,300	345,400	0.8%
夏秋なす	204,300	202,900	0.7%
秋にんじん	188,200	183,800	2.4%
秋冬ねぎ	305,400	302,000	1.1%
夏はくさい	166,300	181,300	▲8.3%
夏秋ピーマン	63,200	62,400	1.3%
夏秋レタス	247,100	281,300	▲12.2%

(注) 1. で見込んだ需要量を歩留り率及び(1-減耗率)で除し、輸出入動向を勘案して推計。

#### 3. 作付面積

種別	⑤作付面積(ha)	⑥平成25年産(ha)	⑤/⑥
夏秋キャベツ	10,100	10,100	0.0%
夏秋きゅうり	8,520	8,430	1.1%
秋冬さといも	13,200	13,000	1.5%
夏だいこん	6,620	6,490	2.0%
夏秋トマト	8,290	8,120	2.1%
夏秋なす	8,610	8,570	0.5%
秋にんじん	6,160	5,900	4.4%
秋冬ねぎ	14,500	14,400	0.7%
夏はくさい	2,570	2,550	0.8%
夏秋ピーマン	2,310	2,280	1.3%
夏秋レタス	8,660	8,940	▲3.1%

(注) 2. で見込んだ国内産供給量を過去10カ年の単収の推移から回帰式等により推計した単収で除して推計。

### II. 平成27年度 冬春野菜等の需給ガイドライン

#### 1. 需要量

種別	主な出荷時期	⑦需要量(トン)	⑧平成25(26)年産(トン)	前年比(⑦/⑧)
春キャベツ ※	28年4月から6月まで	270,900	278,500	▲2.7%
冬キャベツ	27年11月から28年3月まで	423,700	440,300	▲3.8%
冬春きゅうり	27年12月から28年6月まで	298,300	300,600	▲0.8%
春だいこん ※	28年4月から6月まで	193,500	193,600	▲0.1%
秋冬だいこん	27年10月から28年3月まで	854,500	837,400	2.0%
たまねぎ ※	28年4月から29年3月まで	1,306,000	1,370,000	▲4.7%
うち北海道産 ※	28年4月から29年3月まで	694,500	734,100	▲5.4%
うち都府県産 ※	28年4月から29年3月まで	611,600	636,000	▲3.8%
冬春トマト	27年12月から28年6月まで	311,600	339,000	▲8.1%
冬春なす	27年12月から28年6月まで	103,800	105,100	▲1.2%
春夏にんじん ※	28年4月から7月まで	273,700	298,600	▲8.3%
冬にんじん	27年11月から28年3月まで	350,200	348,600	0.5%
春ねぎ ※	28年4月から6月まで	70,200	71,200	▲1.4%
夏ねぎ ※	28年7月から9月まで	75,200	77,500	▲2.9%
春はくさい ※	28年4月から6月まで	89,600	92,500	▲3.1%
秋冬はくさい	27年10月から28年3月まで	487,000	488,900	▲0.4%
ばれいしょ ※	28年4月から29年3月まで	1,804,000	1,822,000	▲1.0%
冬春ピーマン	27年11月から28年5月まで	75,100	78,000	▲3.7%
ほうれんそう ※	28年4月から29年3月まで	250,300	246,500	1.5%
春レタス ※	28年4月から5月まで	92,500	94,500	▲2.1%
冬レタス	27年11月から28年3月まで	150,200	155,000	▲3.1%

(注) ※は、平成28年産のガイドライン値(2. 3. も同様)。

2. 国内産供給量

種別	⑨国内産供給量 (収穫量)(トン)	⑩平成25(26) 年産(トン)	⑨/⑩
春キャベツ ※	376,600	387,000	▲2.7%
冬キャベツ	583,300	597,400	▲2.4%
冬春きゅうり	303,900	308,000	▲1.3%
春だいこん ※	222,500	223,500	▲0.5%
秋冬だいこん	998,900	979,200	2.0%
たまねぎ ※	1,102,000	1,169,000	▲5.7%
うち北海道産 ※	638,700	691,900	▲7.7%
うち都府県産 ※	463,100	477,100	▲2.9%
冬春トマト	370,000	402,700	▲8.1%
冬春なす	116,000	118,300	▲1.9%
春夏にんじん ※	164,800	172,800	▲4.6%
冬にんじん	256,300	249,300	2.8%
春ねぎ ※	84,300	85,200	▲1.1%
夏ねぎ ※	90,100	92,900	▲3.0%
春はくさい ※	112,100	115,700	▲3.1%
秋冬はくさい	609,300	611,900	▲0.4%
ばれいしょ ※	1,167,000	1,196,000	▲2.4%
冬春ピーマン	74,400	77,300	▲3.8%
ほうれんそう ※	261,200	250,300	4.4%
春レタス ※	112,800	115,400	▲2.3%
冬レタス	178,300	179,900	▲0.9%

3. 作付面積

種別	⑪作付面積(ha)	⑫平成25(26)年 産(ha)	⑪/⑫
春キャベツ ※	9,050	9,180	▲1.4%
冬キャベツ	14,800	15,100	▲2.0%
冬春きゅうり	3,040	2,990	1.7%
春だいこん ※	4,660	4,670	▲0.2%
秋冬だいこん	23,000	22,400	2.7%
たまねぎ ※	24,100	25,300	▲4.7%
うち北海道産 ※	12,500	13,700	▲8.8%
うち都府県産 ※	11,600	11,600	0.0%
冬春トマト	3,920	3,940	▲0.5%
冬春なす	1,150	1,130	1.8%
春夏にんじん ※	4,440	4,510	▲1.6%
冬にんじん	8,160	8,070	1.1%
春ねぎ ※	3,430	3,500	▲2.0%
夏ねぎ ※	5,000	5,060	▲1.2%
春はくさい ※	1,860	1,890	▲1.6%
秋冬はくさい	13,400	13,400	0.0%
ばれいしょ ※	79,500	79,700	▲0.3%
冬春ピーマン	751	759	▲1.1%
ほうれんそう ※	21,500	21,300	0.9%
春レタス ※	4,270	4,320	▲1.2%
冬レタス	7,810	7,820	▲0.1%

Ⅲ. 今後の生育、出荷及び価格見通し(平成27年10月)について

品目	主産地 (書きは昨年10月の 入荷シェア)	今後の生育及び出荷見通し	価格見通し (平成(直近5か年平均) 比)	
			10月前半	10月後半
だいこん	北海道(32%) 青森(30%) 千葉(24%)	北海道、東北及び関東の産地において、生育が順調であることから、出荷数量、価格ともに平成並みで推移する見込み。	平成並み で推移	平成並み で推移
にんじん	北海道(92%)	北海道の産地において、生育が順調であることから、出荷数量、価格ともに平成並みで推移する見込み。	平成並み で推移	平成並み で推移
はくさい	長野(72%) 茨城(18%)	前月は、主要な産地において、8月下旬以降の気温低下等の影響により、生育低下が発生したことから、出荷数量が平成を下回ったため、価格は高値で推移。 10月前半は、主要な産地において、生育が順調であることから、出荷数量、価格ともに平成並みで推移する見込み。 なお、10月後半は、生育が順調であり、出荷数量も十分と見込まれるが、直近5か年において安値で推移したため、価格の直近5か年の平均比では、高値水準となる見込み。	平成並み に回復	高値水準 で推移
キャベツ	群馬(51%) 千葉(21%) 茨城(10%)	前月は、関東の主要な産地において、8月上旬以降の降雹(ひょう)、8月下旬以降の気温低下等の影響により、生育低下が発生したことから、出荷数量が平成を下回ったため、価格は高値で推移。 10月前半は、関東の主要な産地において、出荷数量、価格ともに回復傾向であるものの、前月までの気温低下による生育低下の影響が残ることから、価格は平成を上回る見込み。 10月後半は、関東の主要な産地において、10月後半の出荷分の生育が順調であることから、出荷数量、価格ともに平成並みに回復する見込み。	高値水準 で推移	平成並み に回復
ほうれんそう	群馬(40%) 栃木(17%) 茨城(15%)	関東の産地において、生育が順調であることから、出荷数量、価格ともに平成並みで推移する見込み。	平成並み で推移	平成並み で推移
ねぎ	青森(25%) 北海道(15%) 秋田(14%) 山形(10%)	前月は、東北の産地において、7月上旬以降の少雨の影響により、細身での出荷となったことから、出荷数量が平成を下回ったため、価格は高値で推移。 10月前半は、東北の産地において、出荷数量、価格ともに回復傾向であるものの、引き続き細身での出荷となる見込みであるため、価格は平成を上回る見込み。 10月後半は、東北の産地において、天候が順調に推移すれば、出荷数量、価格ともに平成並みに回復する見込み。	高値水準 で推移	平成並み に回復
レタス	茨城(57%) 長野(29%)	10月は、産地が関東の高冷地から平地に切り替わる時期。 前月は、関東の高冷地の産地において、8月下旬以降の気温低下及び降雨の影響により、生育低下が発生したことから、出荷数量が平成を下回ったため、価格は高値で推移。 10月は、関東の高冷地の産地において、前月までの生育低下の影響が残ることに加え、関東の平地の産地において、8月下旬の気温低下及び9月上旬の降雨の影響により、出荷数量が平成を下回るため、価格は平成を上回る見込み。	高値水準 で推移	高値水準 で推移
きゅうり	埼玉(23%) 群馬(21%) 福島(16%) 茨城(12%)	10月は、産地が東北から関東に切り替わる時期。 前月は、東北の産地において、生育期の8月中旬以降の降雨及び8月下旬以降の気温低下の影響により、着果不良等が発生したことから、出荷数量が平成を下回ったため、価格は高値で推移。 10月前半は、関東の産地において、出荷数量、価格ともに回復傾向であるものの、前月までの着果不良等の影響が残ることから、価格は平成を上回る見込み。 10月後半は、関東の産地において、生育が順調であるため、天候が順調に推移すれば、出荷数量、価格ともに平成並みに回復する見込み。	高値水準 で推移	平成並み に回復
なす	高知(28%) 栃木(22%) 群馬(17%) 茨城(16%)	10月は、産地が関東から四国に切り替わる時期。 前月は、関東の産地において、8月下旬以降の気温低下等の影響により、肥大不足等が発生したことから、出荷数量が平成を下回ったため、価格は高値で推移。 10月は、関東の産地において、前月までの肥大不足等の影響が残ることに加え、四国の産地においても、8月下旬以降の日照時間の減少等の影響により、樹勢が低下したことから、出荷数量が平成を下回るため、価格は平成を上回る見込み。	高値水準 で推移	高値水準 で推移
トマト	千葉(24%) 茨城(16%) 福島(13%)	関東の産地において、生育が順調であることから、出荷数量、価格ともに平成並みで推移する見込み。	平成並み で推移	平成並み で推移
ピーマン	茨城(57%) 岩手(17%)	前月は、関東及び東北の産地において、8月上旬の高温、8月下旬以降の日照時間の減少等の影響により、樹勢が低下したことから、出荷数量が平成を下回ったため、価格は高値で推移。 10月は、関東及び東北の産地において、前月までの樹勢低下の影響が残ることから、出荷数量が平成を下回るため、価格は平成を上回る見込み。	高値水準 で推移	高値水準 で推移
ばれいしょ	北海道(99%)	北海道の産地において、生育が順調であることから、出荷数量、価格ともに平成並みで推移する見込み。	平成並み で推移	平成並み で推移
さといも	埼玉(52%) 千葉(25%)	関東の産地において、生育が順調であることから、出荷数量、価格ともに平成並みで推移する見込み。	平成並み で推移	平成並み で推移
たまねぎ	北海道(95%)	北海道の産地において、生育が順調であることから、出荷数量、価格ともに平成並みで推移する見込み。	平成並み で推移	平成並み で推移

注:「平成並み」とは、平成との比率が80%以上、120%未満であることを示している。